OKI
PRINTING SOLUTIONS

C3530 MFP ユーザーズマニュアル

セットアップ編

このマニュアルは、以下の製品に対応しています。

C3530 MFP

○ このマニュアルには、MFPを安全に使用していただくための注意事項が書かれています。MFPをご使用になる前に、必ず本マニュアルをお読みください。
○ 本マニュアルをMFPのそばに置いて、ご使用ください。

安全にお使いいただくために

本製品を安全に使用していただくために、ご使用前に必ずユーザーズマニュアル（本書）をお読みください。

安全上の注意表示

⚠警告　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があることを示しています。

⚠注意　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があることを示しています。

一般的な注意

⚠警告	
	MFP 内部の安全スイッチに触れないでください。 高電圧が発生し感電のおそれがあります。また、ギヤが回転するのでケガのおそれがあります。
	MFP の近くで強燃性スプレーを使用しないでください。 MFP 内部には高温になる部分があるので火災のおそれがあります。
	カバーが異常に熱くなったり、煙が出たり、変なにおいがしたり、異常な音がする場合は、電源プラグをコンセントから抜いてお客様相談センターへ連絡してください。 火災のおそれがあります。
	水などの液体が MFP 内部に入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いてお客様相談センターへ連絡してください。 火災のおそれがあります。
	クリップなどの異物を MFP 内部に落とした場合は、電源プラグをコンセントから抜いて異物を取り出してください。取り出せない場合は、お客様相談センターへ連絡してください。 感電、火災、ケガのおそれがあります。
	ユーザーズマニュアルに指示している以外の操作や分解は行わないでください。 感電、火災、ケガのおそれがあります。
	MFP を落下させたり、カバーを傷つけた場合は、電源プラグをコンセントから抜いてお客様相談センターへ連絡してください。 感電、火災、ケガのおそれがあります。
	電源コード、MFP ケーブル、アース線は、ユーザーズマニュアルで指示されている以外の接続は行わないでください。 火災のおそれがあります。
	通気口に物を差し込まないでください。 感電、火災、ケガのおそれがあります。
	水の入ったコップなどを MFP の上にのせないでください。 感電、火災のおそれがあります。
	MFP のカバーを開けたときは、定着器ユニットに触れないでください。 やけどのおそれがあります。
	トナーカートリッジ、イメージドラムカートリッジを火の中に投じないでください。粉じん爆発によりやけどのおそれがあります。
	UPS（無停電電源）を使用した場合の動作は保証していません。無停電電源は使用しないでください。 火災のおそれがあります。

⚠注意	
	電源投入時および印刷中は、用紙の排出部に近づかないでください。 ケガをするおそれがあります。

本書の見方

表　記

本書では、次のように表記している場合があります。

- Microsoft® Windows Vista™ 64-bit Edition operating system 日本語版 → Windows Vista(64bit版) ※
- Microsoft® Windows Vista™ Edition operating system 日本語版 → WindowsVista
- Microsoft® Windows Server™ 2003 x64 Edition operating system 日本語版 → Windows Server 2003(x64版) ※
- Microsoft® Windows® XP x64 Edition operating system 日本語版 → WindowsXP(x64版) ※
- Microsoft® Windows Server™ 2003 operating system 日本語版 → Windows Server 2003 ※
- Microsoft® Windows® XP operating system 日本語版 → WindowsXP ※
- Microsoft® Windows® 2000 operating system 日本語版 → Windows2000
- Windows Server 2003、WindowsXP、Windows2000 の総称→ Windows

※ 特に記載がない場合は、Windows Vista、Windows Server 2003 と WindowsXP には 64bit 版も含みます。

マーク

注 MFP を正しく動作させるための注意や制限です。誤った操作をしないため、必ずお読みください。

メモ MFP を使用するときに知っておくと便利なことや参考になることです。お読みになることをお勧めします。

諸注意

紙幣、有価証券などの印刷について

紙幣、有価証券などを MFP で印刷すると、その印刷物の使用如何に拘わらず、法律に違反し、罰せられます。
関連法律　刑法　第 148 条、第 149 条、第 162 条
通貨及証券模造取締法　第 1 条、第 2 条　等

電波障害防止について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

高調波規制について

この装置は、「高調波ガイドライン適合品」です。

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。
また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがありますが、当社といたしましては一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

エネルギースターについて

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

商標について

Microsoft、Windows、Windows Server および Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国及び、その他の国における登録商標または商標です。
Apple、Macintosh、および Mac OS は、米国 Apple Inc. の米国及び、その他の国における登録商標または商標です。
Nuance、ScanSoft、PaperPort は、Nuance Communications, Inc. の登録商標または商標です。
Adobe および Reader は、米国及びその他の国々で登録された Adobe Systems Incorporated の登録商標または商標です。
その他各社名、製品名は各社の登録商標または商品名です。

本書について

1. 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは固くお断りします。
2. 本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
3. 本書の内容については万全を期して作成致しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気付きの点がありましたらお買い求めの販売店にご連絡ください。
4. 本書の内容に関して、運用上の影響につきましては 3 項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

マニュアルの版権について

使用許諾契約

お客様が MFP のパッケージ内の製品をご使用になる前に同意して頂いたソフトウェア使用許諾契約書の内容です。

お客様へのお願い

MFP のパッケージ内の製品をご使用になる前に、この本契約書を必ずお読み下さい。
お客様がこのパッケージ内の製品をご使用された場合には、本契約に同意いただいたものとみなします。
もし、本契約書の条項を承認いただけない場合には、速やかにお客様が購入された販売店に返却して下さい。

株式会社沖データ（以下「沖データ」といいます）は、お客様に対し下記条項に基づきこのパッケージに収納されているソフトウェア（ただし、Adobe Reader、及び ScanSoft PaperPort は除くものとし、以下「本ソフトウェア」といいます。）を非独占的に使用する権利を許諾します。沖データは本ソフトウェアをお客様に使用許諾する権利を有しております。

1. 使用範囲
   お客様は、本ソフトウェアに対応する沖データ MFP を所有する場合に限り、当該 MFP に直接またはネットワークを通じて接続される複数のコンピュータにプログラムをインストールして、本ソフトウェアを使用することができます。また、お客様は、バックアップの目的として本ソフトウェアを 1 部複製することができます。

2. 財産権および義務
   (1) 本ソフトウェアおよびその複製物の著作権、版権、所有権は沖データまたは沖データのライセンサーにあります。本ソフトウェアの構成、編成、コードは沖データ及び沖データのライセンサーの業務上の重要な機密事項及び機密情報にあたります。本ソフトウェアは米国及び日本国の著作権法ならびに国際条約及びその使用される国において適用される法律の保護を受けており、書籍その他の著作物と同じに扱われなければなりません。
   (2) 第 1 条に定めた複製を除いて、本ソフトウェアの一部または全部の複製、貸与、レンタル、リース、譲渡、使用許諾することはできません。
   (3) お客様は本ソフトウェアを、修正、改変、翻訳、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルしないことに同意します。
   (4) お客様は本ソフトウェアのファイル名を変更しないことに同意します。
   (5) お客様には本契約で認められた権利を除き、本ソフトウェアに関するいかなる権利も付与されません。

3. 期間
   (1) お客様への本ソフトウェアの使用許諾は、本契約が解除されるまで有効です。
   (2) お客様は、本ソフトウェアおよびその複製物を全て破棄および消去することにより、本契約を解除することができます。
   (3) お客様が本契約の条件に違反した場合には、沖データは、お客様に対してライセンス契約の解除を行うことがあります。この様な解除が行われた場合には、お客様は本ソフトウェアおよびその複製物の全てを破棄および消去し、本ソフトウェアの使用を中止するものとします。

4. 保証
   (1) 沖データ及び沖データのライセンサーは、本ソフトウェアに関して、以下のことを含む一切の保証をするものではありません。
   ・本ソフトウェアを使用する事によってお客様の要望する性能または結果が　得られること。
   ・本ソフトウェアに瑕疵がないこと。
   ・第三者の権利を侵害していないこと。
   ・特定の目的に適合していること。
   (2) 本ソフトウェアは、予告なく改良、変更することがあります。

5. 責任の限定
   沖データ及び沖データのライセンサーは、本ソフトウェアによって生じる、いかなる直接的、間接的、派生的な損害、損失に対しても、沖データがたとえそのような損害の発生の可能性について知らされていたとしても、また、それらの損害についての請求が不法行為 (過失を含むがこれに限定されない) に基づくものであれ、その他の如何なる法律上の根拠に基づくものであれ、お客様に対して一切責任を負わないものとします。また、本ソフトウェアまたは本ソフトウェアに関連して生じた、第三者からなされるいかなる請求についても、沖データ及び沖データのライセンサーはお客様に対して一切責任を負担しないものとします。

6. 準拠法
   本ソフトウェアについての使用許諾契約に関しては、契約の成立も含め日本法を準拠法とします。

7. 契約の有効性
   本契約の一部が無効で法的拘束力がないとされた場合には、本契約の他の部分の有効性には影響を与えず、他の部分は有効かつ法的拘束力をもつものとします。

8. 輸出管理
   本ソフトウェアは、米国および日本国の輸出管理法、その他の関連法令・規則で禁止されている国へは輸出されないものとし、またかかる法令・規則で禁止されている態様で使用されないものとします。 お客様は、適切な米国 及び日本政府の輸出許可を得ずに本ソフトウェアや本ソフトウェアから作られた製品を輸出､再輸出しないことに同意します。もし､お客様がこの条項に違反された場合､自動的にこの契約は解除されるものとします。

9. 完全な合意
   お客様は、本契約を読んでこれを理解したこと、および本契約がお客様に対する本ソフトウェアのライセンスについて沖データとお客様との間の事前の口頭、書面またはその他の通信手段による一切の合意に優先するお客様と沖データとの間の完全かつ唯一の合意であることを確認します。また本契約に基づくお客様の義務は、本契約に基づいてライセンスされる権利の保有者すべてに対する義務を構成するものとします。

10. Notice to U.S. Government End Users（米国政府機関のエンドユーザへの注意 ）
    All Software provided to the U.S. Government pursuant to solicitations issued on or after December 1, 1995 is provided with the commercial license rights and restrictions described elsewhere herein. All Software provided to the U.S. Government pursuant to solicitations issued prior to December 1, 1995 is provided with "Restricted Rights" as provided for in FAR, 48 CFR 52.227-14 (JUNE 1987) or DFAR, 48 CFR 252.227-7013 (OCT 1988), as applicable.
    本条項中で使用される "Software" とは、本契約中で定義される本ソフトウェアを指すものとします。

*****

なお、本ソフトウェアには、個別に使用許諾契約を有するものが含まれている場合がありますが、個別の使用許諾契約に同意された場合には、そのソフトウェアに関してはそれぞれの個別の使用許諾契約が優先されるものとします。

※ Adobe Reader の使用について
Adobe Reader は沖データがアドビシステムズ社との契約に基づきお客様に配布するものです。お客様は Adobe Reader に含まれているエンドユーザ使用許諾契約書に同意することにより、アドビシステムズ社から Adobe Reader の使用を許諾されることになります。

※ ScanSoft PaperPort の使用について
ScanSoft PaperPort は沖データが Nuance 社との契約に基づきお客様に配布するものです。お客様は ScanSoft PaperPort に含まれているエンドユーザ使用許諾契約書に同意することにより、Nuance 社から ScanSoft PaperPort の使用を許諾されることになります。

目次

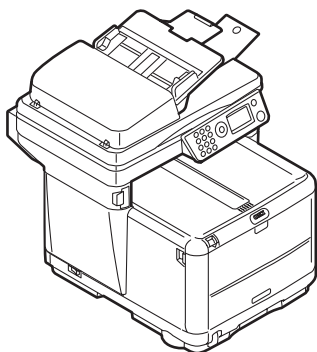
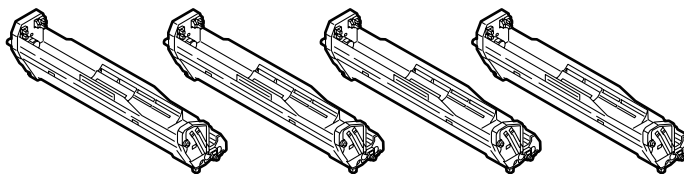
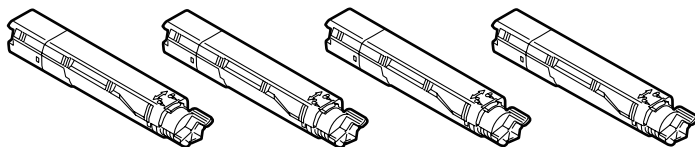
1 設置します

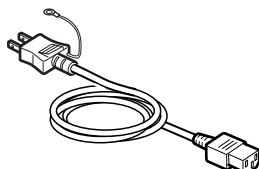
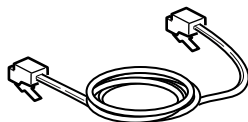
製品の確認

製品が揃っていることを確認してください。

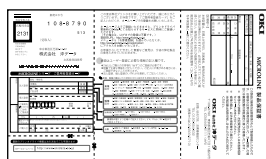
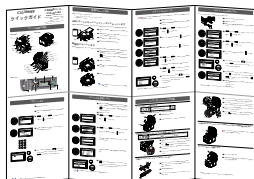
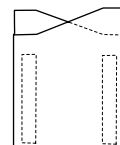
⚠注意 ケガをするおそれがあります。⚠

このMFPは重量が約29Kgありますので、2人以上で持ち上げてください。

☐ MFP（本体）

☐ イメージドラムカートリッジ
（シアン、マゼンタ、イエロー、ブラック各1個ずつ）

☐ スタータトナーカートリッジ
（シアン、マゼンタ、イエロー、ブラック各1個ずつ）

注 スタータトナーカートリッジをイメージドラムカートリッジに取り付けた状態で、MFP内部にセットされています。

☐ 電源コード

☐ 電話機コード

☐ MFP ソフトウェア CD-ROM

☐ ユーザーズマニュアル CD-ROM

☐ 保証書・ご愛用者登録カード

☐ クイックガイド

☐ クイックガイド専用袋

☐ ユーザーズマニュアル（セットアップ編）（本書）

☐ コア
イーサネット用 1個
USB用 1個
TEL/LINE用 2個

注
・ イーサネットケーブル、USBケーブルは添付されていません。お使いのコンピュータに合わせて別途用意してください。
・ 梱包箱、緩衝材等はMFPを輸送するときなどに使います。捨てずに保管してください。

設置条件

動作環境

- 次の温度、湿度を満足する場所に設置してください。
  - 周囲温度　：　10 〜 32゜C
  - 周囲湿度　：　20 〜 80%RH（相対湿度）
  - 最大湿球温度　：　25℃
- 結露しないように注意してください。
- 周囲湿度が 30% 以下の場所に設置する場合は、加湿器または静電気防止マットなどを使用してください。

設置に関する注意

⚠警告

- 高温や火気の近くには設置しないでください。
- 化学反応を起こすような場所（実験室など）には設置しないでください。
- アルコール、シンナーなどの引火性溶液の近くには設置しないでください。
- 小さなお子さまの手の届く所には設置しないでください。
- 不安定な場所（ぐらついた台や傾いた所など）には設置しないでください。
- 湿気やほこりの多い場所、直射日光の当たる場所には設置しないでください。
- 潮風、腐食性ガスの環境には設置しないでください。
- 振動が多い場所には設置しないでください。

⚠注意

- MFP の通気口をふさぐような場所には設置しないでください。
- 毛足の長いジュータンやカーペットの上には直接設置しないでください。
- 密室などの通気性、換気性の悪い場所には設置しないでください。
- 強い磁界やノイズの発生源から離して設置してください。
- モニタやテレビから離して設置してください。
- MFP を移動するときは、MFP の両側を持ってください。
- この MFP は重量が約 29kg ありますので、2 人以上で持ち上げてください。

設置スペース

- MFP の足が乗る大きさの平らな机の上に置いてください。
- MFP の周りに十分なスペースを取ってください。

平面図

側面図

MFP 各部の名前

【MFP 正面】

原稿トレイ
原稿カバー
ADF
(オートドキュメント
フィーダー)
操作パネル　詳細は「操作パネルについて」(52ページ) をご覧ください。
トップカバー
原稿台
手差しガイド
USBメモリ
インターフェイス
電源スイッチ
手差しトレイ
OPENボタン
フロントカバー
用紙カセット（トレイ）
センサー
ロックスイッチ

【MFP 内部】

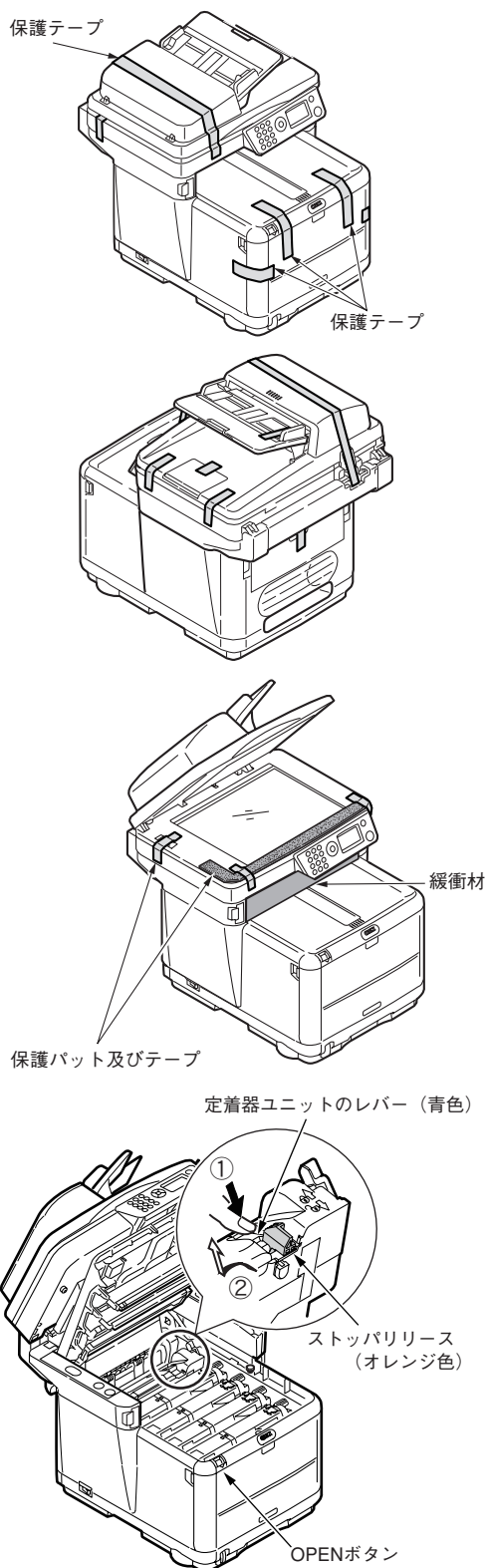
排出ローラ
定着器ユニット
スタータトナーカートリッジ
(C シアン(青色))
スタータトナーカートリッジ
(M マゼンタ(赤色))
スタータトナーカートリッジ
(Y イエロー(黄色))
スタータトナーカートリッジ
(K ブラック(黒色))
LEDヘッド（4ヶ所）
イメージドラムカートリッジ
(C シアン(青色))
イメージドラムカートリッジ
(M マゼンタ(赤色))
イメージドラムカートリッジ
(Y イエロー(黄色))
イメージドラムカートリッジ
(K ブラック(黒色))
用紙残量表示

【MFP 背面】

通気口
ファクス用コネクタ
インタフェース部
電源コネクタ
USBインタフェース
コネクタ
ステータスランプ
プッシュスイッチ
ネットワークインタフェース
コネクタ (100/10BASE)
用紙サポータ
フェイスアップスタッカ

付属品を取り付けます

1 保護具を取り外します。

注 保護パット、緩衝材、ストッパリリースは MFP を輸送するときなどに使います。必ず保管してください。

保護テープ

保護テープ

❶ 保護テープをはがします。

❷ 原稿カバーを開け、保護テープをはがし、保護シートを外します。

❸ 原稿カバーを閉じ、原稿台を両手で持ち上げます。

緩衝材

保護パット及びテープ

❹ 緩衝材を取り外します。

定着器ユニットのレバー（青色）

①

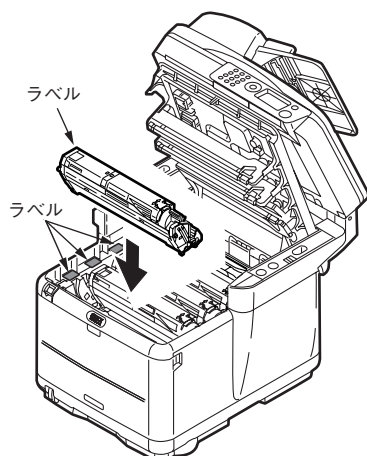
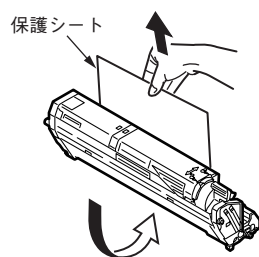
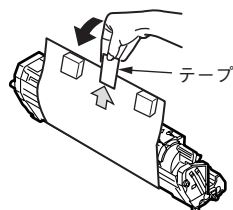
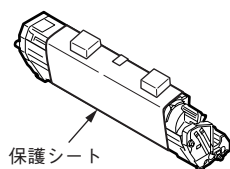
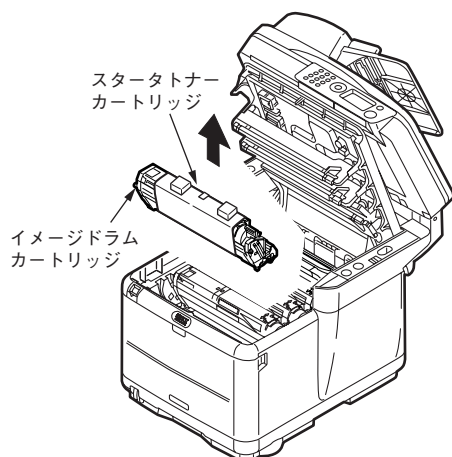
②

ストッパリリース
（オレンジ色）

OPENボタン

❺ OPEN ボタンを押して、トップカバーを開けます。定着器ユニットのレバー（青色）を矢印①の方向へ押し下げながら、ストッパリリース（オレンジ色）を矢印②の方向へ取り外します。

2 イメージドラムカートリッジをセットします。

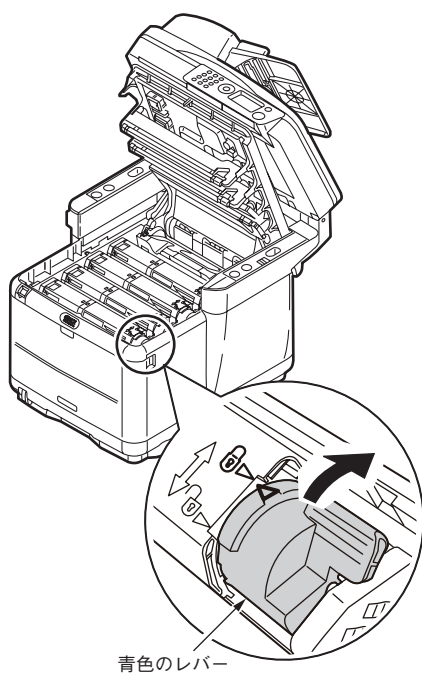
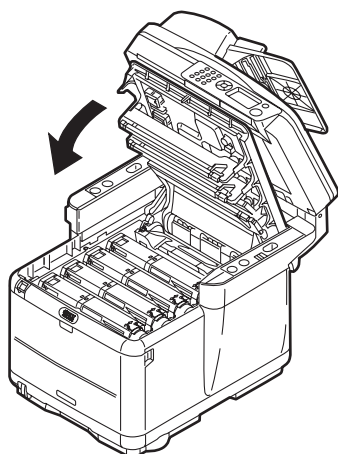
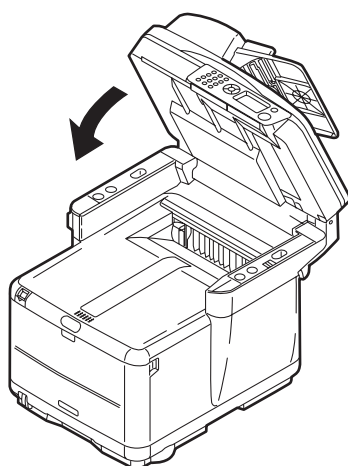
注
- イメージドラム（緑の筒の部分）は、非常に傷つきやすいため取り扱いには十分注意してください。
- イメージドラムカートリッジは、直射日光や強い光（約 1500 ルクス以上）に当てないでください。室内の照明の下でも 5 分間以上は放置しないでください。

❶ スタータトナーカートリッジを付けたまま、イメージドラムカートリッジ（4 個）を静かに取り出します。

注 ここでは、スタータトナーカートリッジの青いレバーは動かさないでください。

❷ 保護シートを止めているテープをはがし、矢印の方向に引き抜きます。

❸ イメージドラムカートリッジのラベルの色と MFP のラベルの色を合わせます。

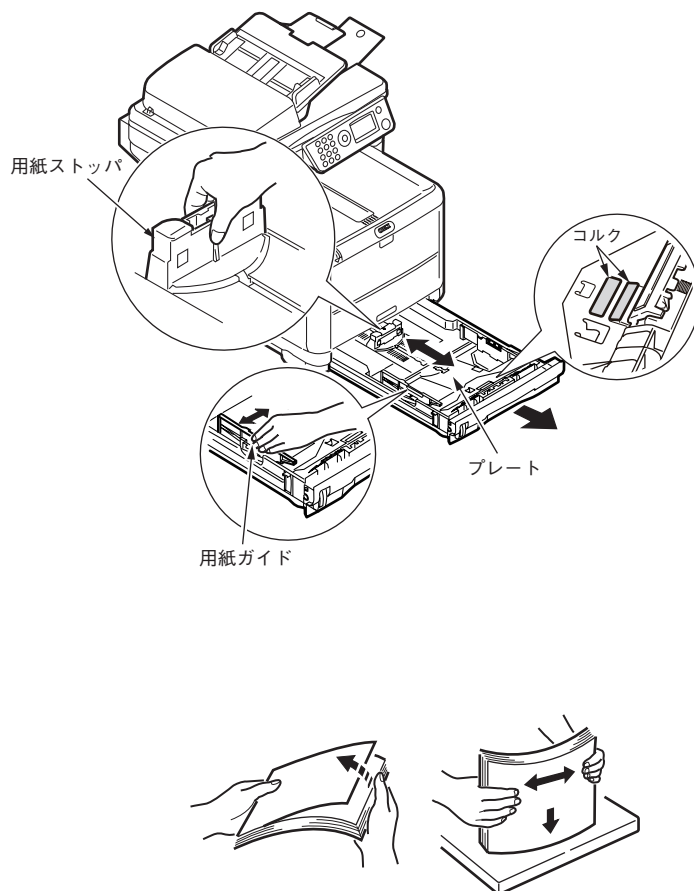
❹ イメージドラムカートリッジ（4 個）を静かに戻します。

青色のレバー

❺ トナーカートリッジのレバー（青色、4ヶ所）を矢印の方向に移動し、🔓▷ の位置にレバーの◁を合わせます。

❻ トップカバーを閉めます。

❼ 原稿台を元の位置に戻します。原稿台を上から押さえ、プリンタ部に固定します。

メモ スタータトナー（製品購入時に添付されているトナーカートリッジ）は、A4, 5% の印刷密度の場合、約 1000 枚印刷可能です。

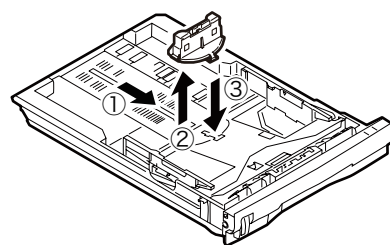
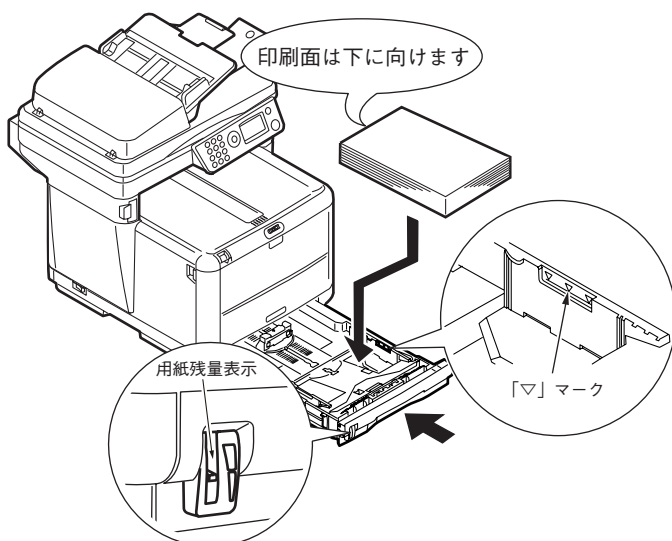
注 最初にスタータトナーを使用し、[＊トナー無し]（＊には、シアン、マゼンタ、イエロー、ブラックのいずれかが表示されます。）になってから、通常のトナーカートリッジを使用してください。通常のトナーカートリッジを使用した後は、スタータトナーは使用できなくなります。

3 用紙カセットに用紙をセットします。

メモ 用紙については、2 章「印刷に使用できる用紙」（55 ページ）を参考にしてください。
MFP に適していない用紙の場合、MFP が故障するおそれがあります。

❶ 用紙カセットを引き出します。

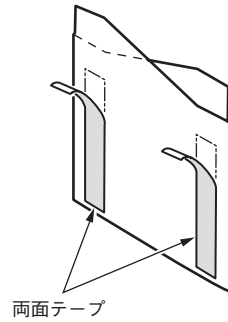
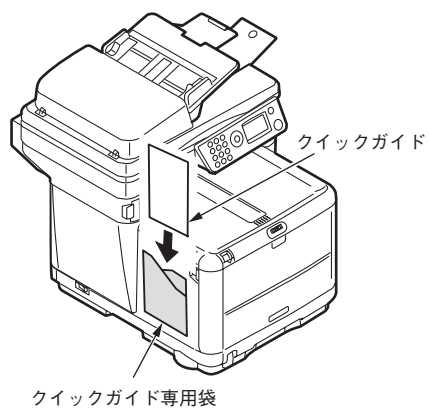
注 プレートについているコルクは、はがさないでください。

❷ 用紙ガイドと用紙ストッパを用紙サイズに合わせ、確実に固定します。

注 A6 サイズの用紙、はがきをセットする場合は、用紙ストッパを手前まで移動し、一度外してから、図の位置に取り付け直します。

❸ 用紙をよくさばき、上下左右をそろえます。

❹ 印刷面を下に向けて、用紙ガイドの「▽」マークを越えないようにセットします。（連量 70kg 紙で 250 枚、はがきは 50 枚）

❺ 用紙カセットを MFP に戻します。

クイックガイドを取り付けます

1 クイックガイドを取り付けます。

❶ クイックガイド専用袋裏側の両面テープ（2ヶ所）をはがします。

❷ 専用袋をMFPに貼り付けます。

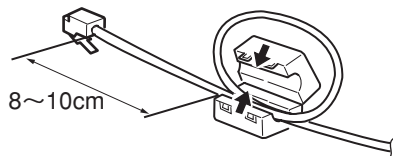
❸ クイックガイドを専用袋に収納します。

電話機コードを接続します

お使いの環境によって、電話機コードの接続のしかたが異なります。次の図を参考に、ご自身の環境に合うように接続してください。

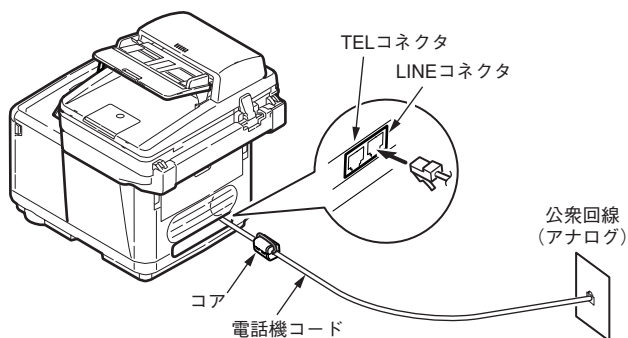
注
・ISDN 回線には接続できません。ISDN 回線に接続するには、ターミナルアダプタが必要になります。
・必ず添付の電話機コードを使用してください。添付以外の電話機コードを使用すると誤作動することがあります。

1 電話機コードにコアを取り付ける。

8～10cm

❶電話機コードの、MFP に差し込む側の図の位置に、本体に添付されている TEL/LINE 用のコアを取り付けます。

2 お使いの環境に合った接続を行います。

公衆回線に接続する場合 (ファクス専用(本機に電話機を接続しない場合)として使う場合)

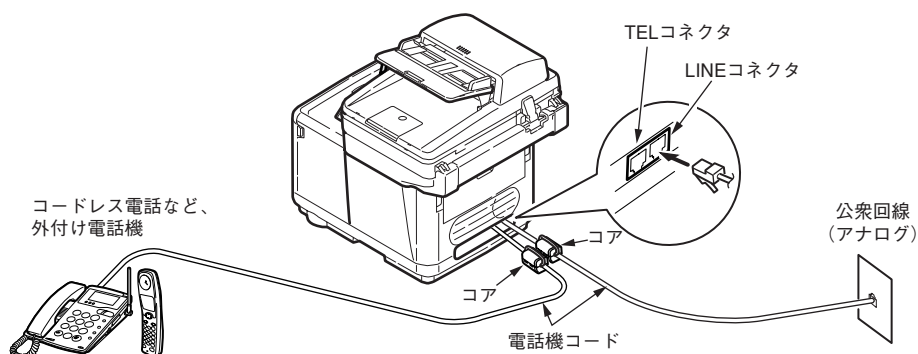
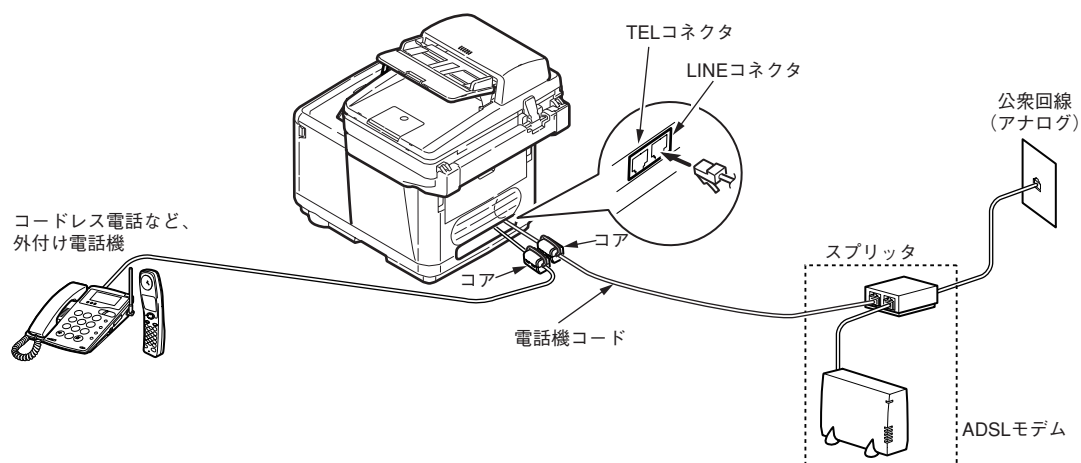
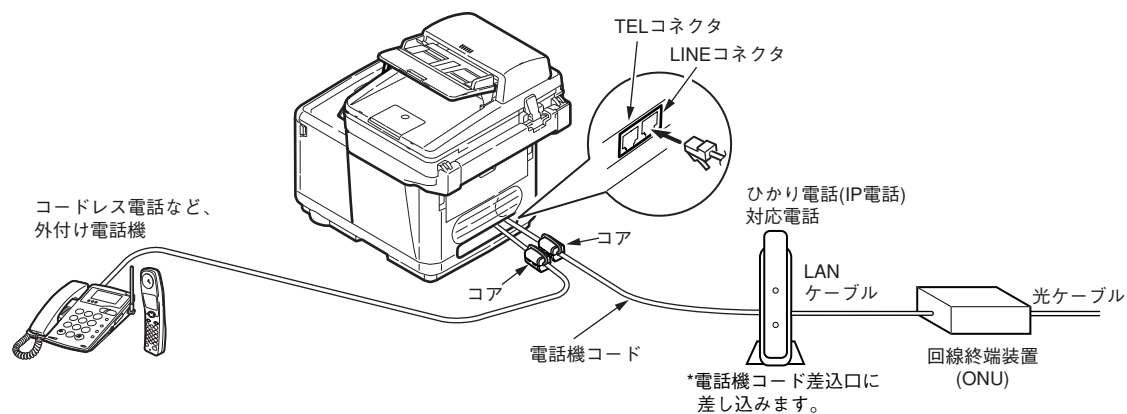
TELコネクタ
LINEコネクタ
公衆回線 (アナログ)
コア
電話機コード

公衆回線に接続する場合 (本機に電話機を接続する場合)

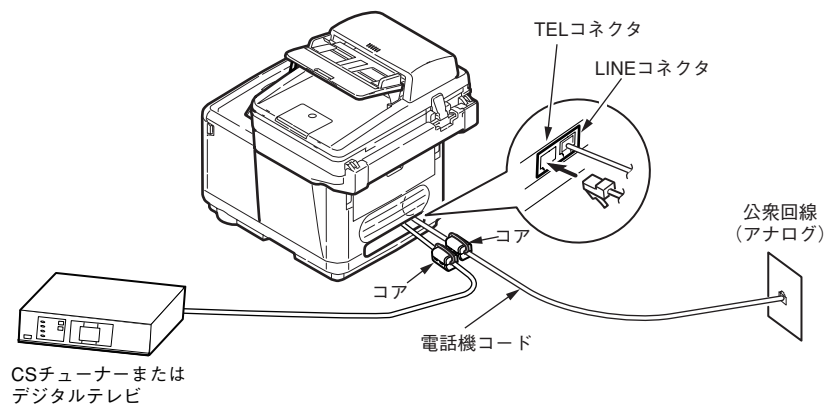
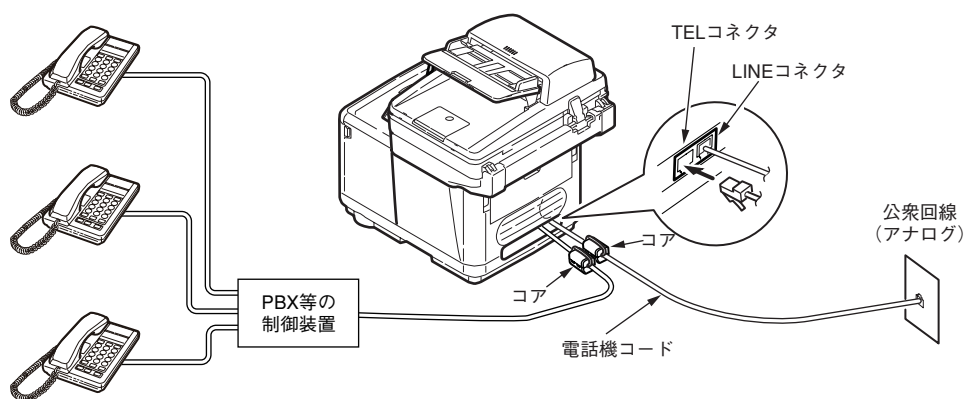
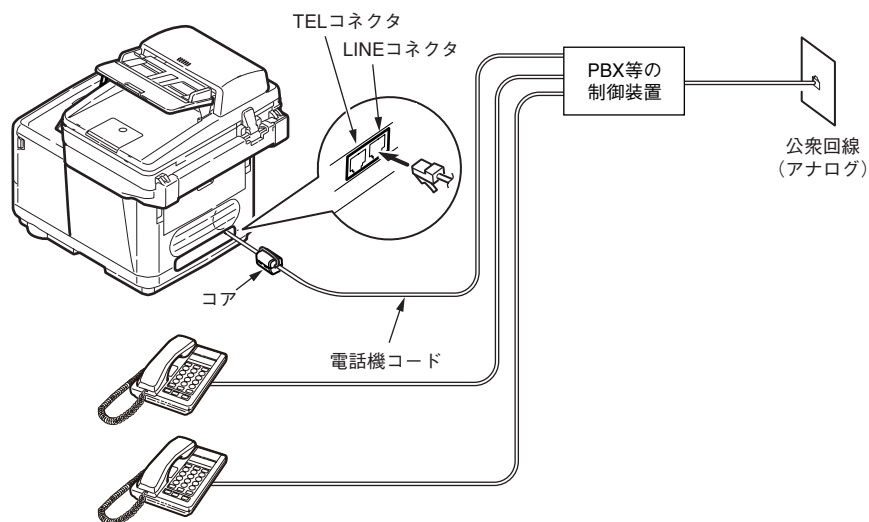
TELコネクタ
LINEコネクタ
コードレス電話など、外付け電話機
公衆回線 (アナログ)
コア
コア
電話機コード

ADSL 環境に接続する場合

TELコネクタ
LINEコネクタ
公衆回線
（アナログ）
コードレス電話など、
外付け電話機
コア
スプリッタ
コア
電話機コード
ADSLモデム

ひかり電話（IP電話）に接続する場合

TELコネクタ
LINEコネクタ
コードレス電話など、
外付け電話機
ひかり電話(IP電話)
対応電話
コア
LAN
ケーブル
光ケーブル
コア
電話機コード
回線終端装置
(ONU)
*電話機コード差込口に
差し込みます。

CS チューナーやデジタルテレビを接続する場合

TELコネクタ
LINEコネクタ
公衆回線
（アナログ）
コア
コア
電話機コード
CSチューナーまたは
デジタルテレビ

構内交換機(PBX)、ホームテレホン、ビジネスホンを接続する場合

内線電話として接続する場合

電源を入れます

電源の条件

- 以下の条件を守ってください。
  交流（AC）　：　100V ± 10%
  電源周波数　：　50Hz または 60Hz ± 2%
- 電源が不安定な場合は、電圧調整器などを使用してください。
- 本 MFP の最大消費電力 980W です。電源容量に十分余裕があることを確認してください。
- UPS（無停電電源）を使用した場合の動作は保証していません。無停電電源は使用しないでください。

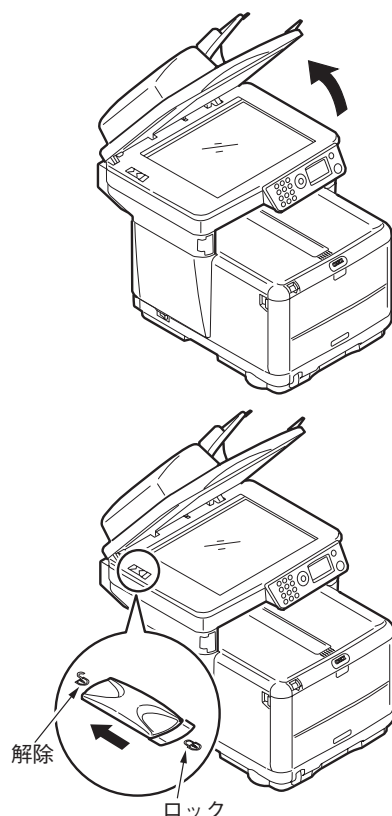
⚠警告　火災や感電のおそれがあります。

- 電源コード、アース線の取り付け、取り外しは必ず電源スイッチを OFF にしてから行ってください。
- アース線は必ず専用のアース端子に接続してください。アースが取れない場合はお買い求めの販売店にご相談ください。
- 水道管、ガス管、電話線のアース、避雷針などには絶対に接続しないでください。
- 電源コードの抜き差しは必ず電源プラグを持って行ってください。
- 電源プラグは確実にコンセントの奥まで差し込んでください。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
- 電源コードは踏まれない場所に設置し、電源コードの上には物を置かないでください。
- 電源コードをたばねたり、結んだりして使用しないでください。
- 破損した電源コードを使用しないでください。
- たこ足配線はしないでください。
- 本 MFP と他の電気製品を同じコンセントに接続しないでください。特に、空調機、複写機、シュレッダなどと同時に接続すると、電気的ノイズによって MFP が誤動作することがあります。やむを得ず同じコンセントに接続するときは、市販のノイズフィルタかノイズカットトランスを使用してください。
- 添付の電源コードを使用し、直接コンセントに差し込んでください。他の製品用の電源コードを本 MFP に使用しないでください。
- 延長コードは使用しないでください。やむを得ず使用する場合は、定格 12A 以上のものを使用してください。
- 延長コードを使用すると、AC 電圧降下により、MFP が正常に動作しない場合があります。
- 印刷中に電源を切ったり電源プラグを抜かないでください。
- 連休や旅行で長期間使用しない場合は、電源コードを抜いてください。
- 添付の電源コードを他の製品に使用しないでください。

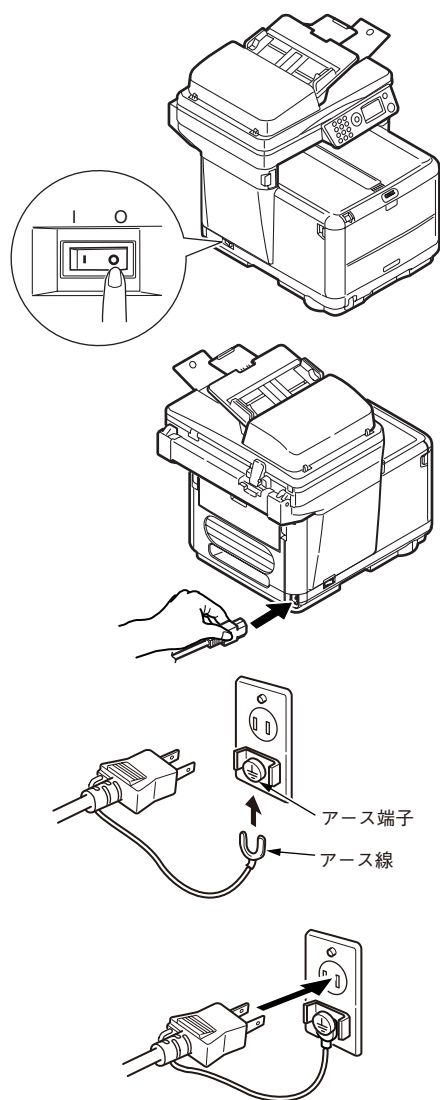
注 電源を入れる前に原稿台に原稿をセットしたり、原稿カバーを開けたまま電源を入れると、原稿が正しく読み込めないことがあります。

1 スキャナのロックを解除します。

❶ 原稿カバーを開けます。

解除
ロック

❷ 原稿台の左側にあるセンサーロックスイッチを（アンロック）の方向にスライドさせ、スキャナのロックを解除します。

❸ 原稿カバーを静かに閉じます。

2 電源コードを接続します。

❶ 電源スイッチが OFF（○）になっていることを確認します。

❷ 電源コードを MFP に差し込みます。

❸ アース線をコンセントのアース端子に接続します。

アース端子

アース線

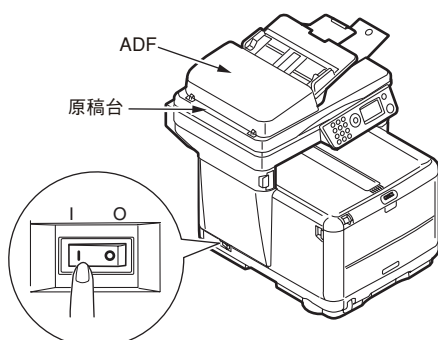
⚠警告	感電のおそれがあります。	⚡

必ずアース線を接続してください。

❹ 電源プラグをコンセントに差し込みます。

3 電源スイッチを入れます。

ADF

原稿台

❶ 原稿台に原稿がないことを確認します。

❷ ADF の原稿トレイに原稿がないこと、ADF のカバーが閉じていることを確認します。

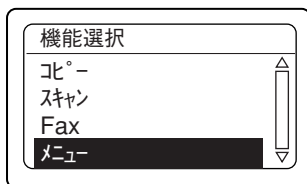
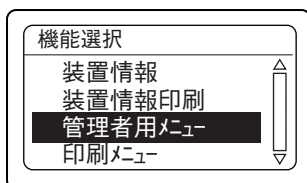
❸ 電源スイッチの ON（ | ）を押します。

機能選択画面が表示されると、MFP をお使いいただけます。

C3530MFP の基本設定を行います

以下の基本設定をします。

1. 日付・時刻を合わせます
2. 本機の電話番号を設定します
3. 送信者名を設定します
4. 回線を設定します
5. ダイヤルトーンの検出を設定します

1 日付・時刻を合わせます

機能選択
ｺﾋﾟｰ
ｽｷｬﾝ
Fax
ﾒﾆｭｰ

❶ 操作パネルの キーを３回押し、［メニュー］を選択し、 キーを押します。

機能選択
装置情報
装置情報印刷
管理者用ﾒﾆｭｰ
印刷ﾒﾆｭｰ

❷ キーを２回押し、［管理者用メニュー］を選択し、 キーを押します。

管理者用ﾒﾆｭｰ
パスワード入力

❸「パスワード入力」と数秒表示した後、パスワード入力画面になるので、次の方法で［aaaaaa］と入力します。

メモ　［aaaaaa］は工場出荷時に設定されているパスワードです。

*
決定
a b c d e f g h i
j k l m n o p q r
s t u v w x y z

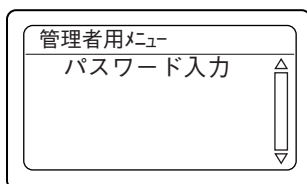
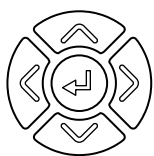
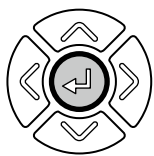
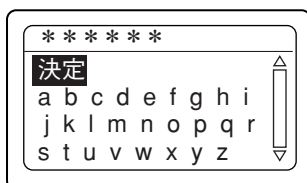
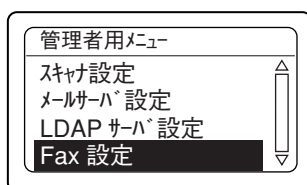
を２回押し、［a］を選択し、 を押します。
左のような画面になります。

******
決定
a b c d e f g h i
j k l m n o p q r
s t u v w x y z

❹ 続けて、 キーを５回押します。
（左のような画面になります。* が６個表示されました。）

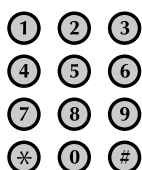
******
決定
a b c d e f g h i
j k l m n o p q r
s t u v w x y z

❺ を１回押して［決定］を選択し、 キーを押します。

管理者用ﾒﾆｭｰ
ｽｷｬﾅ設定
ﾒｰﾙｻｰﾊﾞ設定
LDAP ｻｰﾊﾞ設定
Fax 設定

❻ 左の画面を表示するので、∨キーを 6 回押し、[Fax 設定] を選択します。

Fax 設定
現在時刻設定
基本設定
Fax 回線設定

❼ ＞キーを 2 回押し、[現在時刻設定] 画面を表示します。

現在時刻設定
2007/05/25
10:09

❽ テンキーを使い、年月日を入力します。

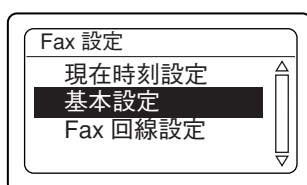
年を入力します。＞キーを押し、月へ移動します。月を入力します。＞キーを押し、日へ移動します。日を入力します。＞キーを押し、時へ移動します。時を入力します。＞キーを押して分へ移動し、入力します。

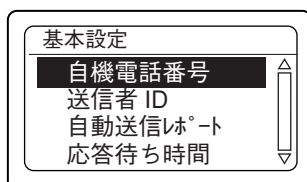
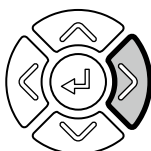
メモ　間違って入力したときは、＜キーを押して戻り、入力し直します。

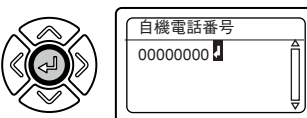
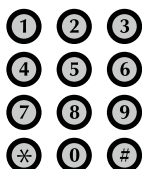
現在時刻設定
2007/05/25
10:09

❾ 入力が終わったら、↵キーを押します。

2 本機の電話番号を設定します。

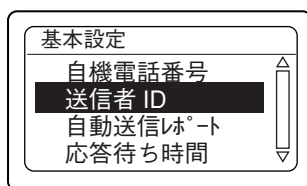
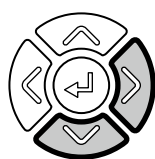
Fax 設定
現在時刻設定
基本設定
Fax 回線設定

❶ [Fax 設定] 画面を表示しているので、∨キーを 1 回押して [基本設定] を選択し、＞キーを押します。

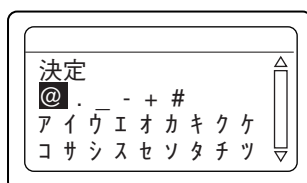
基本設定
自機電話番号
送信者 ID
自動送信ﾚﾎﾟｰﾄ
応答待ち時間

❷ [自機電話番号] が選択されていることを確認し、＞キーを 1 回押して、[自機電話番号] 画面を表示します。

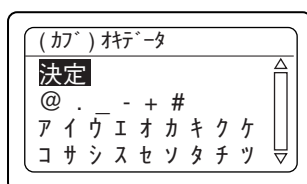
自機電話番号
00000000

❸ テンキーを使い、本機の電話番号を入力し、↵キーを入力します。

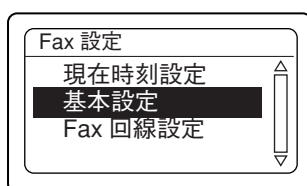
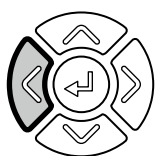
3 送信者名を設定します。

送信者名は、送信したファクスに印刷されます。

基本設定
自機電話番号
送信者 ID
自動送信ﾚﾎﾟｰﾄ
応答待ち時間

❶［基本設定］画面を表示しているので、 キーを押して［送信者 ID］を選択し、 キーを押します。

決定
@ . _ - + #
ア イ ウ エ オ カ キ ク ケ
コ サ シ ス セ ソ タ チ ツ

❷入力画面になるので、 キーを 2 回押し、カーソルを文字のところへ移動します。

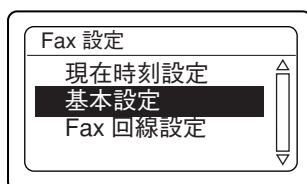
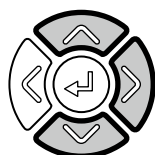
(ｶﾌﾞ)ｵｷﾃﾞｰﾀ
決定
@ . _ - + #
ア イ ウ エ オ カ キ ク ケ
コ サ シ ス セ ソ タ チ ツ

❸ キーを使い、文字を選択し、 キーを押して決定します。 入力が終わったら、 キーまたは キーを数回押して［決定］を選択し、 キーを押します。
文字の入力方法の詳細は「操作パネルから文字を入力するとき」（53 ページ）をご覧ください。

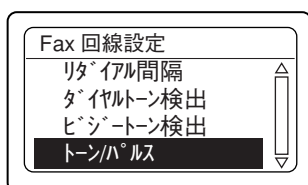
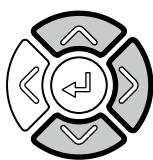
Fax 設定
現在時刻設定
基本設定
Fax 回線設定

❹ キーを 1 回押し、［Fax 設定］画面を表示します。

4 回線を設定します。

プッシュ回線をご契約の方は、以下の設定は不要です。「5　ダイヤルトーンの検出を設定します」（24 ページ）へ進みます。
ダイヤル回線をご契約の方は、以下の設定を行います。

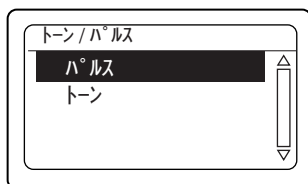
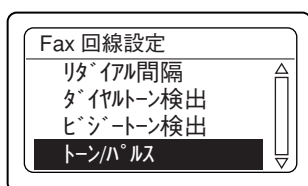
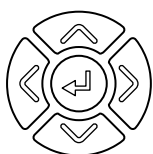
Fax 設定
現在時刻設定
基本設定
Fax 回線設定

❶［Fax 設定］画面になっていることを確認します。

Fax 設定
現在時刻設定
基本設定
Fax 回線設定

キーまたは キーを数回押して［Fax 回線設定］を選択し、 キーを押します。

Fax 回線設定
ﾘﾀﾞｲｱﾙ間隔
ﾀﾞｲﾔﾙﾄｰﾝ検出
ﾋﾞｼﾞｰﾄｰﾝ検出
ﾄｰﾝ/ﾊﾟﾙｽ

❸ キーまたは キーを数回押して［トーン / パルス］を選択し、キーを押します。

ﾄｰﾝ / ﾊﾟﾙｽ
ﾊﾟﾙｽ
ﾄｰﾝ

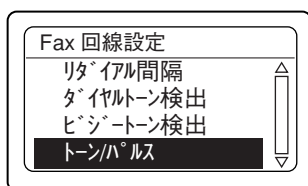
❹ キーを押して［パルス］を選択し、キーを押します。

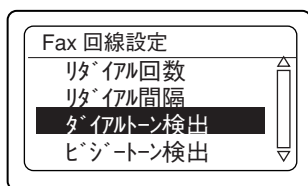
Fax 回線設定
ﾘﾀﾞｲｱﾙ間隔
ﾀﾞｲﾔﾙﾄｰﾝ検出
ﾋﾞｼﾞｰﾄｰﾝ検出
ﾄｰﾝ/ﾊﾟﾙｽ

❺ 左の画面を表示します。

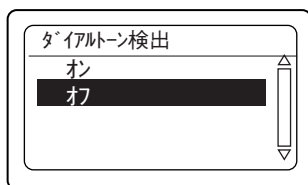
5 ダイヤルトーンの検出を設定します。

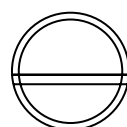
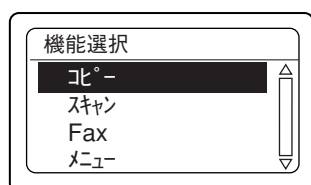
「電話機コードを接続します」（16 ページ）で、電話機コードを次のように接続した場合は、以下の設定を行います。

・構内交換機（PBX）、ホームテレホン、ビジネスホンを接続する場合
・内線電話として接続する場合
・上記以外の方法で接続している場合は、設定を行う必要はありません。

Fax 回線設定
ﾘﾀﾞｲｱﾙ間隔
ﾀﾞｲﾔﾙﾄｰﾝ検出
ﾋﾞｼﾞｰﾄｰﾝ検出
ﾄｰﾝ/ﾊﾟﾙｽ

❶［Fax 回線設定］画面を表示していることを確認します。

Fax 回線設定
ﾘﾀﾞｲｱﾙ回数
ﾘﾀﾞｲｱﾙ間隔
ﾀﾞｲｱﾙﾄｰﾝ検出
ﾋﾞｼﾞｰﾄｰﾝ検出

❷ キーまたは キーを数回押して［ダイヤルトーン検出］を選択し、キーを押します。

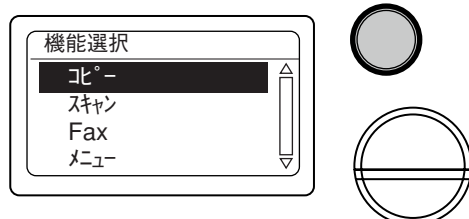
ﾀﾞｲｱﾙﾄｰﾝ検出
ｵﾝ
ｵﾌ

❸ キーを押して［オフ］選択し、キーを押します。

機能選択
ｺﾋﾟｰ
ｽｷｬﾝ
Fax
ﾒﾆｭｰ

❹ ストップボタンを押して機能選択画面を表示します。

これで C3530MFP の基本設定は完了です。

電源を切ります

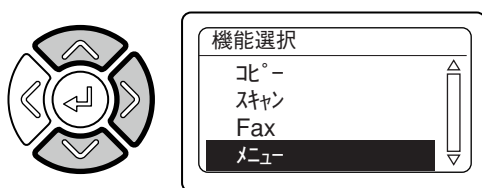
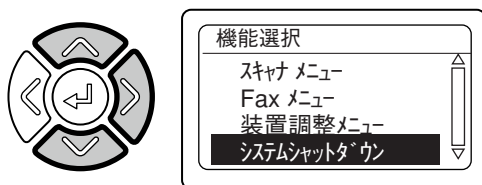
注 いきなり電源を切ると、プリンタに損傷を与え、使用不能になることがあります。

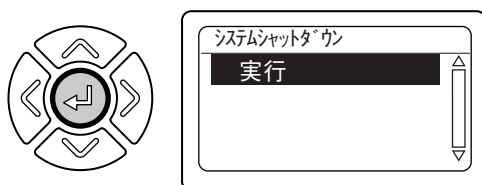
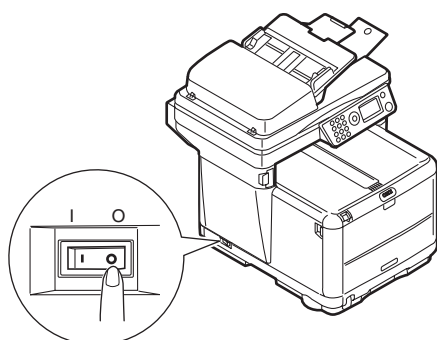
必ず以下の方法で電源を切ってください。

機能選択
コピー
スキャン
Fax
メニュー

❶ 機能選択画面を表示していることを確認します。機能選択画面を表示していないときは、ストップボタンを押し、機能選択画面を表示します。

機能選択
コピー
スキャン
Fax
メニュー

❷ 操作パネルの キーまたは キーを押して［メニュー］を選択し、キーを押します。

機能選択
スキャナ メニュー
Fax メニュー
装置調整メニュー
システムシャットダウン

❸ キーまたは キーを押して［システムシャットダウン］を選択し、キーを押します。

システムシャットダウン
実行

❹［実行］が選択されているので、キーを押します。

❺ 操作パネルに［電源を切ってください］と表示されたら、電源スイッチのOFF(〇)を押します。

注
- 印刷中は電源を切らないでください。
- 電源コードを外すときは、最初にコンセントから電源プラグを抜き、次にアース線を外してください。
- 連休や旅行で長期間使用しない場合は、電源コードを抜いてください。また、定着器にストッパリリースを取り付けてください。

設定内容ページ印刷をします

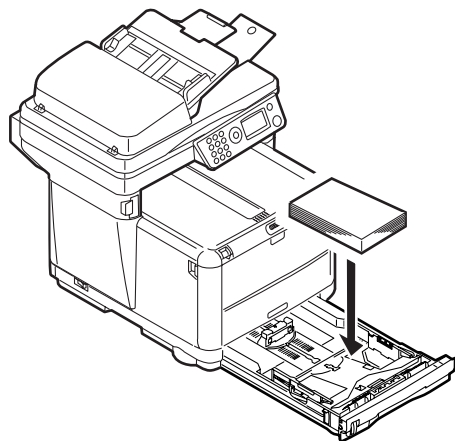
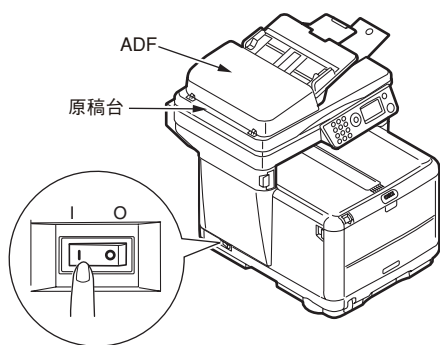
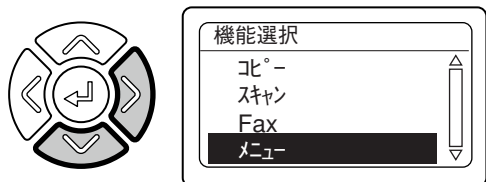
C3530MFP が正常に動作することを確認するために、設定内容ページを印刷します。
設定内容ページとは、装置の情報を印刷したものです。

❶ 用紙カセットに、印刷面を下にして、A4 用紙をセットします。
詳しい手順は 14 ページを参照して下さい。

❷ MFP の電源を入れます。

ADF
原稿台
I　O

❸ 操作パネルの キーを 3 回押し、［メニュー］を選択し、 キーを押します。

機能選択
ｺﾋﾟｰ
ｽｷｬﾝ
Fax
ﾒﾆｭｰ

❹ キーを 1 回押し、［装置情報印刷］を選択し、 キーを押します。

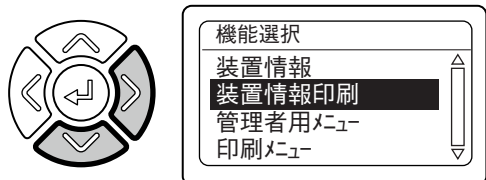
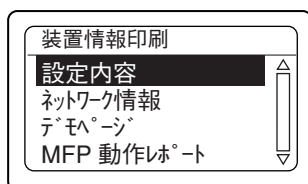
機能選択
装置情報
装置情報印刷
管理者用ﾒﾆｭｰ
印刷ﾒﾆｭｰ

装置情報印刷
設定内容
ネットワーク情報
デモページ
MFP 動作レポート

❺［設定内容］が選択されているので、キーを押します。

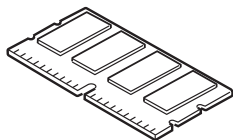
設定内容
実行

❻［実行］が選択されているので、キーを押します。

設定内容ページ（2 枚）が印刷されます。

（設定内容ページのサンプル）

オプション品について

増設メモリ

MFP のメモリ容量を増やしたい時に工場出荷時に取り付けてあるメモリと交換します。操作パネルに、複雑な印刷データでメモリ不足のエラー［メモリオーバーフロー］や、部単位印刷で［丁合印刷エラーです］が表示されるときに追加します。

増設メモリ（型名 :MEM-256D（256MB））

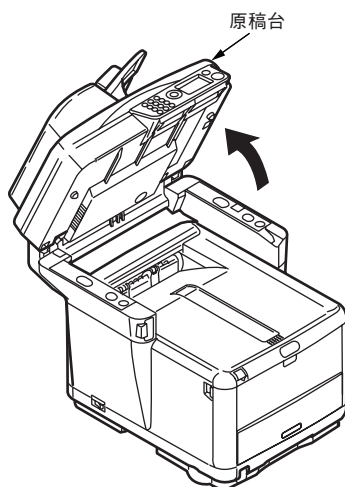
注

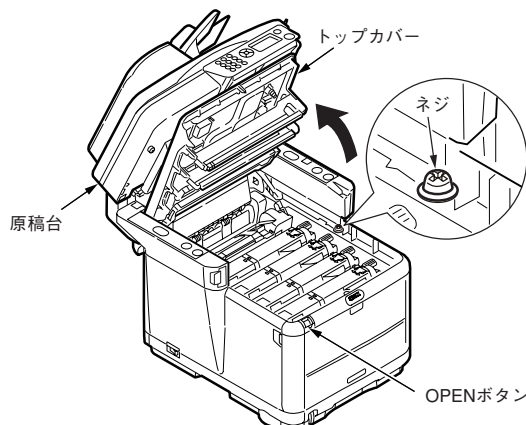
- 必ず沖データ純正品を使用してください。沖データ純正品以外を使用した場合、動作の保証はできません。
- 増設メモリ用スロットは 1 スロットです。
- 標準で増設メモリ用スロットに 64MB が搭載されています。

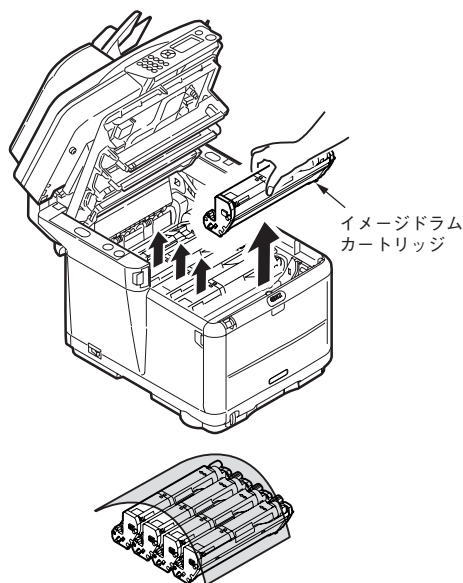
1 MFP の電源を OFF にし、電源コード、ケーブルを取り外します。

注 電源を ON のまま取り付けると、MFP または増設メモリが故障するおそれがあります。

2 トップカバーを開けます。

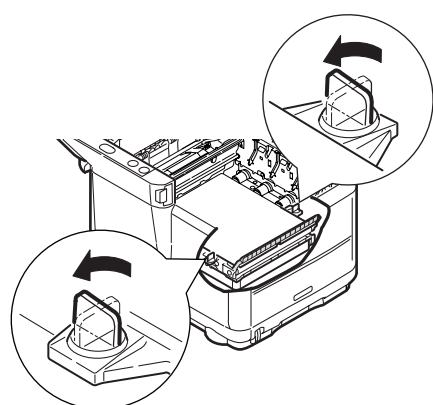
❶ 原稿台を持ち上げます。

❷ OPEN ボタンを押し、トップカバーを開けます。

❸ ネジに手を触れて、静電気を逃がします。

3 イメージドラムカートリッジを取り外します。

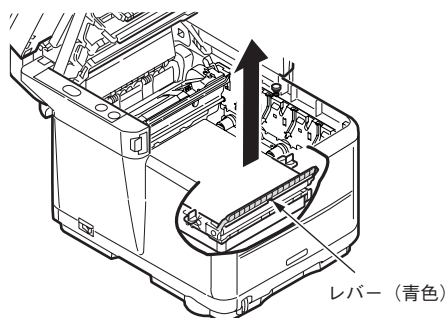
注
- イメージドラム（緑の筒の部分）は、非常に傷つきやすいため、取り扱いには十分注意してください。
- イメージドラムカートリッジは直射日光や強い光（約 1500 ルクス以上）に当てないでください。室内の照明の下でも 5 分間以上は放置しないでください。

イメージドラム
カートリッジ

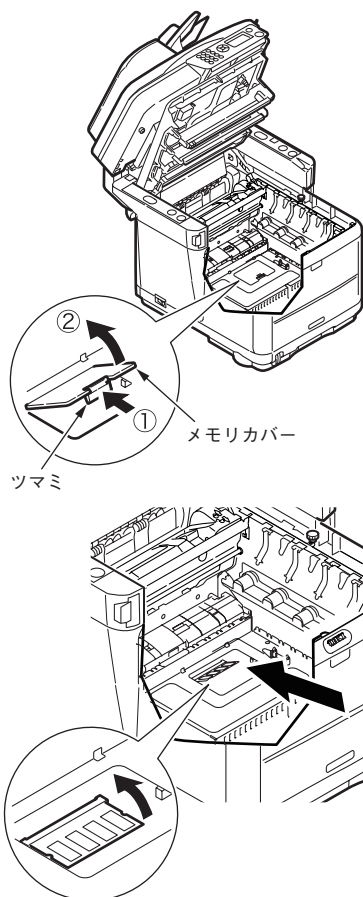
❶ イメージドラムカートリッジ 4 本を取り出します。

❷ 取り出したイメージドラムに黒い紙をかぶせます。

4 ベルトユニットを取り外します。

❶ ロックレバー（青色、2 ヶ所）を の方向に回転し、ロックを解除します。

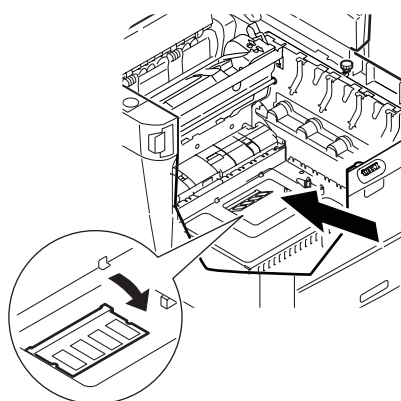
❷ ベルトユニットのレバー（青色）を持ち、静かに取り出します。

レバー（青色）

5 取り付けてあるメモリを外します。

ツマミ
メモリカバー

❶ メモリカバーのツマミを矢印の方向へ押してロックを解除し、メモリカバーを開けます。

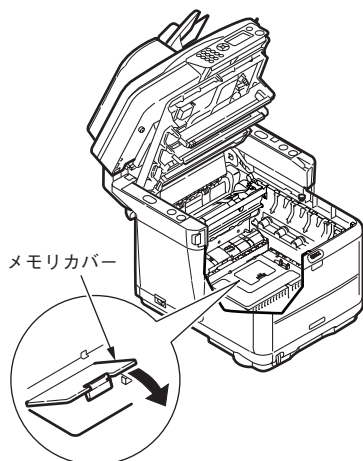
❷ メモリを矢印の方向に起こし、外します。

6 メモリを取り付けます。

注 電子部品やコネクタ端子には触らないでください。

❶ メモリを袋から取り出す前に、袋を金属部に接触させて静電気を除去します。

❷ メモリを差し込む向きを確認します。
メモリの切り欠き部分がスロットのコネクタと一致するようにします。

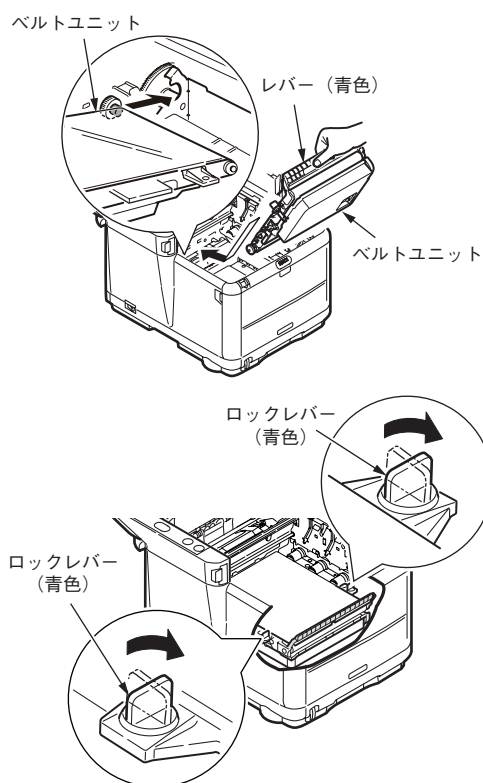
❸ 空きスロットにメモリを斜めに差し込み、基板側に倒します。

7 メモリカバーを閉じます。

メモリカバー

❶ メモリカバーを閉じます。

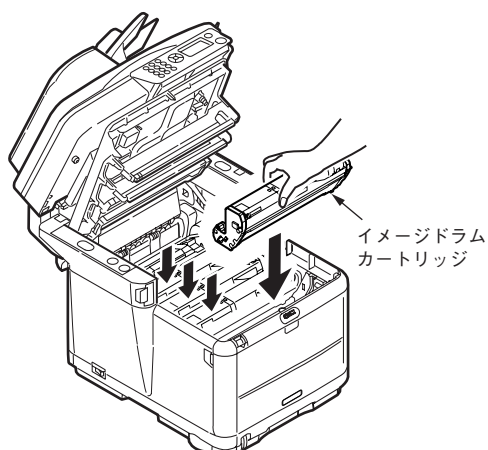
確実にロックされたことを確認します。

8 ベルトユニットをセットします。

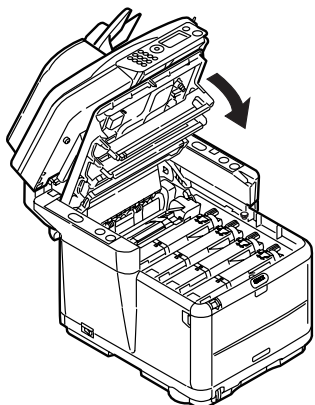
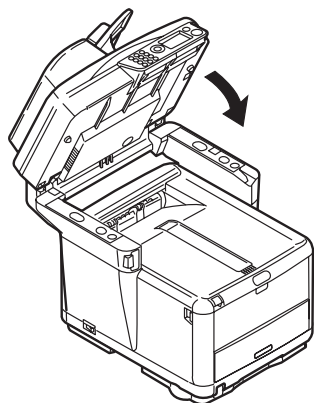
ベルトユニット
レバー（青色）
ベルトユニット

❶ ベルトユニットのレバー（青色）を持ち、ベルトユニットをセットします。

ロックレバー（青色）
ロックレバー（青色）

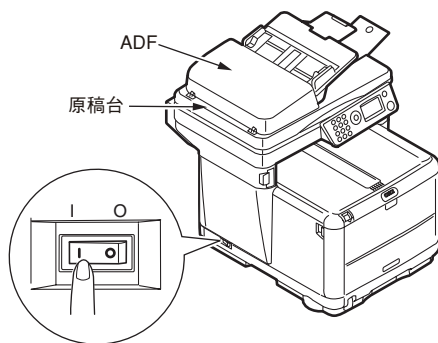
❷ ロックレバー（青色、2ヶ所）を 🔒 の方向に回転し、ベルトユニットが確実に固定されたことを確認します。

9 イメージドラムカートリッジをセットします。

イメージドラムカートリッジ

❶ イメージドラムカートリッジ４本を元の位置に戻します。

10 トップカバーを閉じます。

❶ トップカバーを閉じます。

❷ 原稿台を元の位置に戻します。原稿台を上から押さえ、プリンタ部に固定します。

11 MFP の電源を入れます。

ADF
原稿台
I O

❶ MFP に電源コード、MFP ケーブルを取り付けます。

❷ 電源を ON（ | ）にします。

12 増設メモリが正しく取り付けられていることを確認します。

Status Page

ﾌﾟﾘﾝﾀ ｼﾘｱﾙ ﾊﾞﾝｺﾞｳ:ABCD123456 ﾌﾟﾘﾝﾀ ｶﾝﾘ ﾊ
CU version:B0.20 [I01.17 U03.14 S3.0.4k B01.01
PU version:00.00.28 [PI03.10 LO00.00.17] ET:0
Hiper-C version:00.17
DIMM Slot A:CU Program ROM
Total Memory Size: 128 MB
Flash Memory:2 MB [F50]
JP1
Network version:p0.09 / d0.11

❶ 設定内容ページ印刷をします。

詳しくは「設定内容ページ印刷をします」（26 ページ）をご覧ください。

❷「Total Memory Size」に表示される総メモリ量を確認します。

注 Total Memory Size の容量が正しく表示されない場合は、メモリを取り付け直してください。

コンピュータと接続します（Windows）

メモ Windows Server 2003/Windows2000 のセットアップ方法は「ユーザーズマニュアル CD-ROM」に格納されている C3530MFP ユーザーズマニュアル応用編をご覧ください。

動作環境

ネットワーク接続	Windows Vista/Server 2003/XP/2000 日本語版の動作するコンピュータ IBM PC/AT 互換機で、Ethernet 対応のネットワークインタフェースを搭載している機種
USB 接続	Windows Vista/Server 2003/XP/2000 日本語版の動作するコンピュータ IBM PC/AT 互換機で、USB インタフェースを搭載している機種

コンピュータと MFP をネットワークで接続する場合は、このページの「ネットワーク接続でセットアップします (Windows)」をご覧ください。
コンピュータと MFP を USB で接続する場合は、40 ページの「USB 接続でセットアップします (Windows)」をご覧ください。

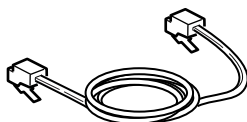
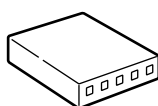
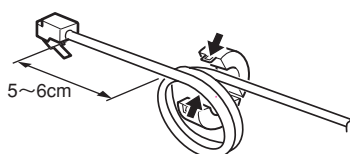
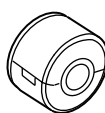
ネットワーク接続でセットアップします（Windows）

コンピュータにネットワークの設定をし、プリンタドライバ、スキャナドライバ、ユーティリティをインストールします。
以下の説明は、下記の環境を例にしています。

Windows : WindowsXP Home Edition
MFP : C3530MFP
IP アドレス : 192.168.0.3（コンピュータ）、192.168.0.2（MFP）
サブネットマスク : 255.255.255.0
ゲートウェイアドレス : 192.168.0.1

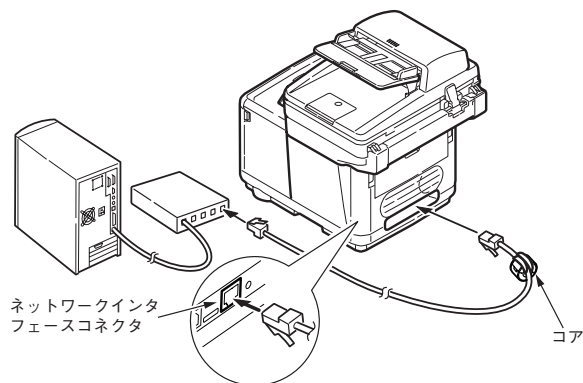
1 イーサネットケーブルとハブを準備します。

注
- MFP にイーサネットケーブルとハブは添付されていません。イーサネットケーブル（カテゴリ 5、ツイストペアケーブル、ストレート）とハブを別途用意してください。
- クロスケーブルは使用できません。

〈イーサネットケーブル〉 〈ハブ〉 〈コア〉

5〜6cm

❶ イーサネットケーブルを MFP に差し込む側の 5 〜 6cm のところに二重に巻き、コアを取り付けます。

2 MFP とコンピュータの電源を OFF にします。

3 MFP をネットワークに接続します。

ネットワークインタフェースコネクタ

コア

❶ イーサネットケーブルを MFP のネットワークインタフェースコネクタに差し込みます。

❷ イーサネットケーブルをハブに差し込みます。

4 MFP の電源を ON にします。

5 MFP に IP アドレス等を設定します。

注 ・ すでに MFP に IP アドレス等を設定したり、自動取得している場合は、手順 7「プリンタドライバをインストールします」(38 ページ) へ進みます。

機能選択
ｺﾋﾟｰ
ｽｷｬﾝ
Fax
ﾒﾆｭｰ

❶ 機能選択画面を表示していることを確認します。

機能選択
ｺﾋﾟｰ
ｽｷｬﾝ
Fax
ﾒﾆｭｰ

❷ 操作パネルの キーを 3 回押し、[メニュー] を選択し、 キーを押します。

機能選択
装置情報
装置情報印刷
管理者用ﾒﾆｭｰ
印刷ﾒﾆｭｰ

❸ キーを 2 回押し、[管理者用メニュー] を選択し、 キーを押します。

管理者用ﾒﾆｭｰ
パスワード入力

❹「パスワード入力」と数秒表示した後、パスワード入力画面になるので、次の方法で [aaaaaa] と入力します。

メモ [aaaaaa] は工場出荷時に設定されているパスワードです。

決定
a b c d e f g h i
j k l m n o p q r
s t u v w x y z

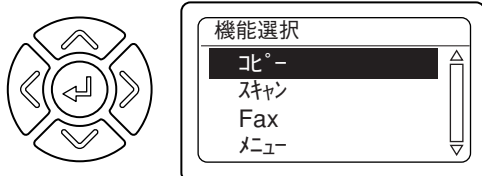
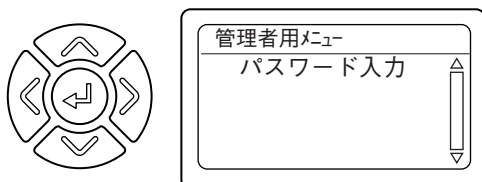
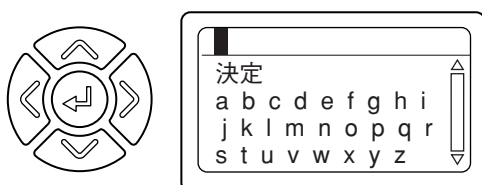
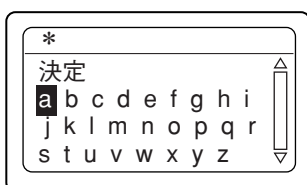
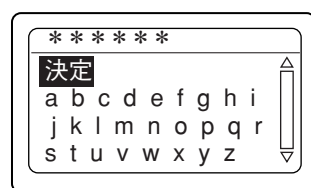
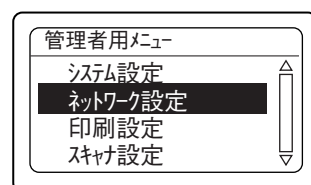
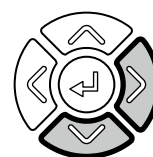
＊
決定
a b c d e f g h i
j k l m n o p q r
s t u v w x y z

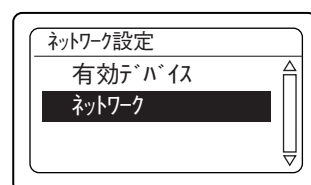
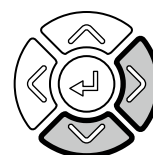
を２回押し、［a］を選択し、を押します。左のような画面になります。

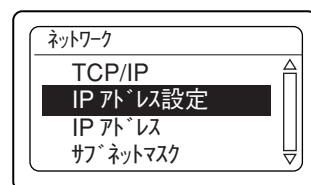
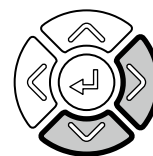
＊＊＊＊＊＊
決定
a b c d e f g h i
j k l m n o p q r
s t u v w x y z

❺ 続けて、キーを５回押します。（左のような画面になります。＊が６個表示されました。）

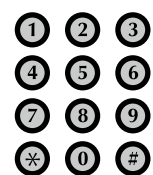
＊＊＊＊＊＊
決定
a b c d e f g h i
j k l m n o p q r
s t u v w x y z

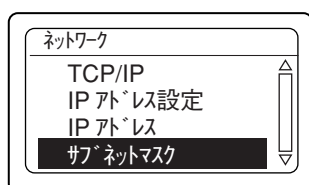
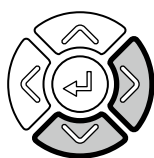
❻ を１回押して［決定］を選択し、キーを押します。

管理者用ﾒﾆｭｰ
ｼｽﾃﾑ設定
ﾈｯﾄﾜｰｸ設定
印刷設定
ｽｷｬﾅ設定

❼ 左の画面を表示するので、キーを１回押して［ネットワーク設定］を選択し、キーを押します。

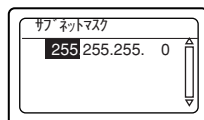
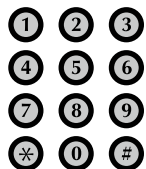
ﾈｯﾄﾜｰｸ設定
有効ﾃﾞﾊﾞｲｽ
ﾈｯﾄﾜｰｸ

❽ キーを１回押して［ネットワーク］を選択し、キーを押します。

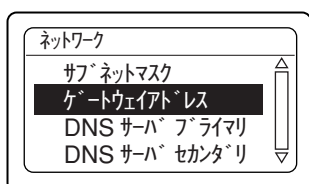
ﾈｯﾄﾜｰｸ
TCP/IP
IP ｱﾄﾞﾚｽ設定
IP ｱﾄﾞﾚｽ
ｻﾌﾞﾈｯﾄﾏｽｸ

❾ キーを２回押して［IP アドレス設定］を選択し、キーを押します。

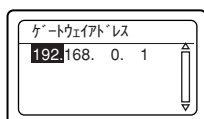
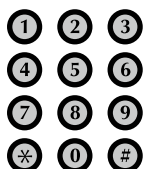
1 2 3
4 5 6
7 8 9
＊ 0 #

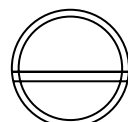
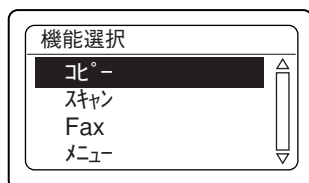
IP ｱﾄﾞﾚｽ
192.168. 0. 2

❿ テンキーを使い、IP アドレスを入力します。1 桁目を入力したら、キーを押し、次の桁に移動します。4 桁目の入力が終わったら、キーを押します。

ネットワーク
TCP/IP
IP アドレス設定
IP アドレス
サブネットマスク

⓫ キーを 1 回押して［サブネットマスク］を選択し、 キーを押します。

サブネットマスク
255.255.255. 0

⓬ テンキーを使いサブネットマスクを入力します。1 桁目を入力したら、 キーを押し、次の桁に移動します。4 桁目の入力が終わったら、 キーを押します。

ネットワーク
サブネットマスク
ゲートウェイアドレス
DNS サーバ プライマリ
DNS サーバ セカンダリ

⓭ キーを 1 回押して［ゲートウェイアドレス］を選択し、 キーを押します。

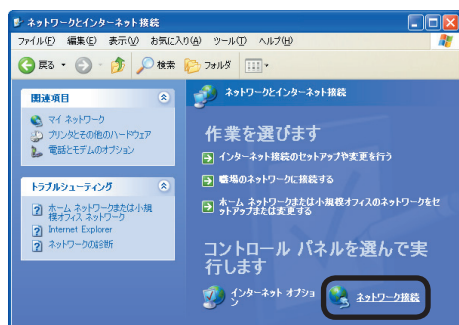
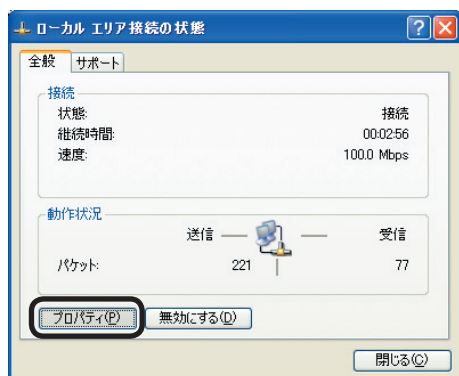
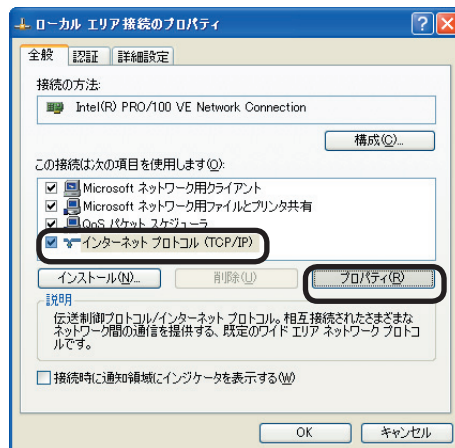
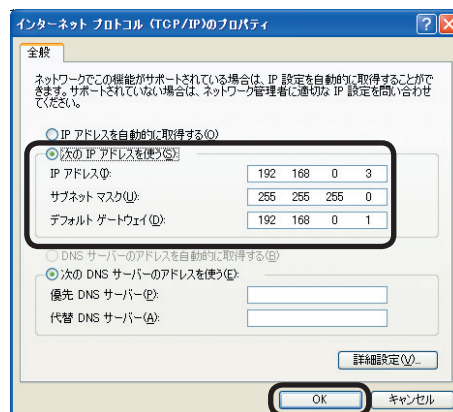
ゲートウェイアドレス
192.168. 0. 1

⓮ テンキーを使いゲートウェイアドレスを入力します。1 桁目を入力したら、 キーを押し、次の桁に移動します。4 桁目の入力が終わったら、 キーを押します。

機能選択
コピー
スキャン
Fax
メニュー

⓯ ストップボタンを押し、機能選択画面に戻ります。

6 Windows に IP アドレス等を設定します。

注 すでに Windows に IP アドレス等を設定したり、自動取得している場合は、手順 7「プリンタドライバをインストールします」（38 ページ）へ進みます。

❶ Windows を起動します。

❷［スタート］-［コントロールパネル］を選択し、［ネットワークとインターネット接続］をクリックします。
［コントロールパネルを選んで実行します］の［ネットワーク接続］をクリックします。

❸［ローカルエリア接続］をダブルクリックし、［プロパティ］をクリックします。

❹［インターネットプロトコル（TCP/IP）］を選択し、［プロパティ］をクリックします。

❺ IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNS サーバを入力し、［OK］をクリックします。

メモ
- DHCP サーバから IP アドレスを自動取得する場合は、「IP アドレスを自動的に取得する」を選択し、IP アドレスは入力しません。
- デフォルトゲートウェイや DNS サーバを使用しない場合は、入力しません。

❻［ローカルエリア接続］を閉じます。

7 プリンタドライバをインストールします。

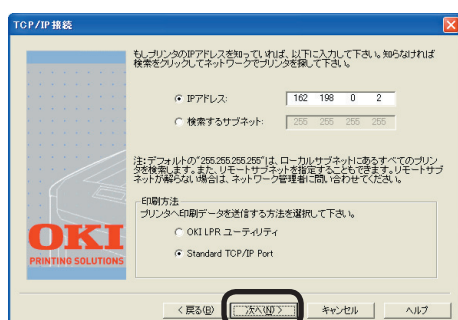
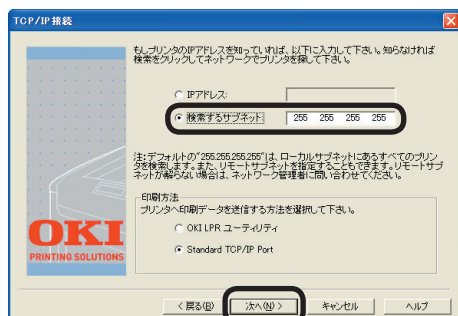
❶ MFP の電源が ON で、Windows が起動していることを確認し、MFP 添付の「MFP ソフトウェア CD-ROM」をセットします。

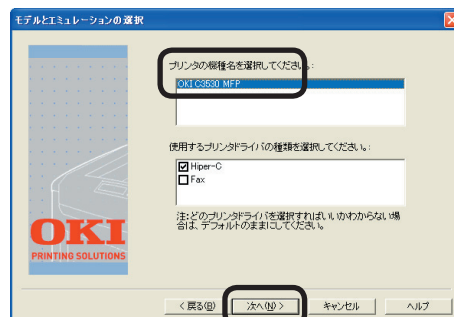
❷「使用許諾契約」をよく読み、[同意する] をクリックします。

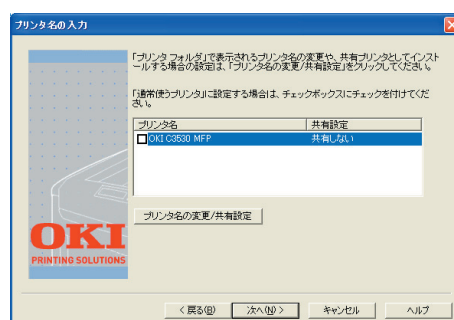
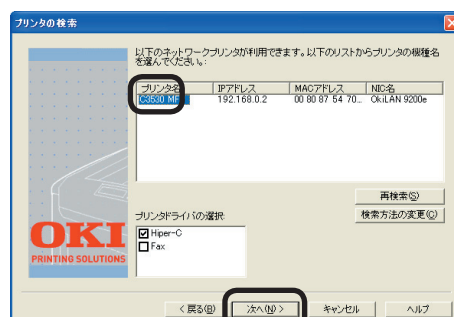
メモ　画面を閉じる場合は、右上の×をクリックします。

❸ [ドライバのインストール] をクリックします。

❹ [ネットワークプリンタ] を選択し、[次へ] をクリックします。

❺ 手順 5（34 ページ）で設定した MFP の IP アドレスを入力し、[次へ] をクリックします。

MFP の IP アドレスが自動取得の場合や、IP アドレスがわからない場合は、[検索するサブネット]を選択し、[次へ]をクリックします。

メモ
- プリンタの IP アドレスを自動取得にした場合には、[印刷方法] で OKI LPR ユーティリティを選択してください。
- プリンタドライバインストール後、OKI LPR ユーティリティを起動し、[オプション] - [設定] を選択し、[自動的に IP アドレスを再設定する] をチェックしてください。（詳細はユーザーズマニュアル（応用編）を参照してください。）

❻ 手順❺で MFP の IP アドレスを入力した場合、OKI C3530MFP を選択し、[次へ] をクリックします。

手順❺で [検索するサブネット] を選択した場合、検索された MFP/ プリンタ / リスト画面が表示されるので、OKI C3530MFP を選択し、[次へ]をクリックします。

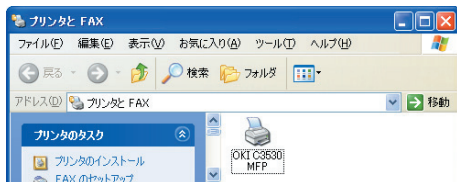
メモ　Hiper-C(プリンタドライバ) と Fax(ファクスドライバ) の両方にチェックをつけると、2 種類のドライバを一度にインストールすることができます。通常は Hiper-C のみ選択します。
ファクスドライバは、文章を印刷できるアプリケーションから、ファクスを送信する為のドライバです。詳細は、応用編の「パソコンからファクスを送信する」を参照してください。

注　ファクスドライバを本セットアップでインストールしないで、後でインストールする場合は、Windows のプリンタの追加から MFP ソフトウェア CD-ROM にある Fax ドライバを選択し、インストールしてください。

❼ 一覧中のチェックボックスにチェックを付け、[次へ] をクリックします。MFP 名の変更や、共有設定を行う場合は、[プリンタ名の変更 / 共有設定] をクリックします。

「コンピュータの再起動」画面が表示されたら？
☞ ⓾へ進みます。

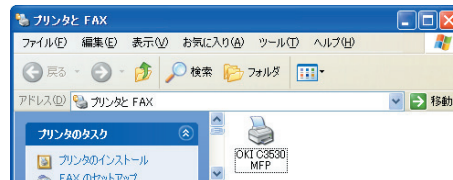
❽［完了］をクリックします。

❾［終了］をクリックします。

［プリンタ］または［プリンタと FAX］フォルダに MFP のアイコンが表示されると、セットアップは終了です。

メモ　ファクスドライバもインストールした場合は、２つのプリンタアイコンが追加されます。

☞ ❼からの続き

⓾［完了］をクリックし、コンピュータを再起動します。

［プリンタ］または［プリンタと FAX］フォルダに MFP のアイコンが表示されると、セットアップは終了です。

メモ　ファクスドライバもインストールした場合は、２つのプリンタアイコンが追加されます。

USB 接続でセットアップします（Windows）

コンピュータに、プリンタドライバ、スキャナドライバ、ユーティリティをインストールします。

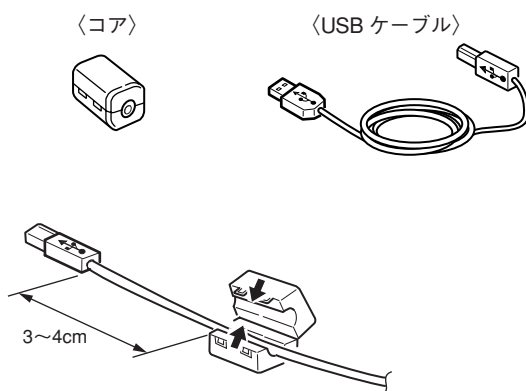
動作環境

WindowsVista/XP/2000/Server2003 日本語版、IBM PC/AT 互換機で、USB インタフェースを搭載している機種

注
- コンピュータの管理者の権限が必要です。

以下の説明は WindowsXP Home Edition を例にしています。

1 USB ケーブルを準備します。

注
- USB ケーブルは添付されていません。USB2.0 仕様のケーブルを別途用意してください。
- USB2.0 の「Hi-Speed」モードで接続する場合は、Hi-Speed 仕様の USB ケーブルを使用してください。

〈コア〉　〈USB ケーブル〉

3〜4cm

❶ USB ケーブルの MFP に差し込む側の 3 〜 4cm のところにコアを取り付けます。

2 MFP とコンピュータの電源を OFF にします。

メモ　USB ケーブルはコンピュータ、MFP の電源が ON の状態でも抜き差しできますが、この後のプリンタドライバ、USB ドライバのインストールを確実に行うために、ここでは MFP の電源を OFF にしておきます。

3 コンピュータの電源を ON にし、Windows を起動します。

注　プリンタの電源が ON になっていると、「新しいハードウェアが見つかりました」画面が表示されます。その場合は、[キャンセル] をクリックし、プリンタの電源を OFF にしてから次に進んでください。

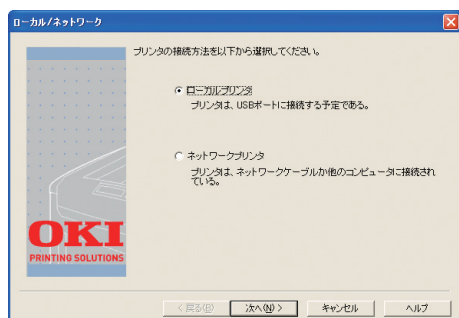
4 プリンタドライバ等をインストールします。

❶「MFP ソフトウェア CD-ROM」をコンピュータにセットします。
セットアッププログラムが起動します。

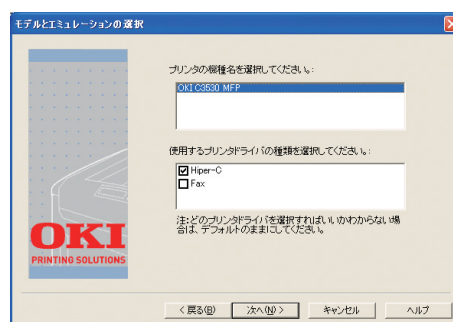
❷「使用許諾契約」をよく読み、[同意する] をクリックします。

メモ　画面を閉じる場合は、右上の X をクリックします。

❸［ドライバのインストール］をクリックします。

❹［ローカルプリンタ］を選択し、［次へ］をクリックします。

ネットワークで接続する場合は、「ネットワーク接続でセットアップします（Windows）」（33 ページ）をご覧ください。

❺ポートで［USB］を選択し、［次へ］をクリックします。

❻インストールしたいプリンタドライバの種類を選択し、［次へ］をクリックします。

メモ
- Hiper-C（プリンタドライバ）と FAX（ファクスドライバ）の両方にチェックをつけると、２種類のドライバを一度にインストールする事ができます。通常は、Hiper-C のみを選択します。
- ファクスドライバは、文章を印刷できるアプリケーションから、ファクスを送信する為のドライバです。詳細は、応用編の「パソコンからファクスを送信する」を参照してください。

ファイルのコピーが行われます。
プリンタドライバのインストール後に、スキャナドライバ（Twain ドライバ）のインストールも行われます。

注
ファクスドライバを本セットアップでインストールしないで、後でインストールする場合は、Windows のプリンタの追加から MFP ソフトウェア CD-ROM にある FAX ドライバを選択し、インストールしてください。また、インストールする際に、USB のポートは、既にインストールされているプリンタドライバ（C3530MFP）と同じポートを選択してください。

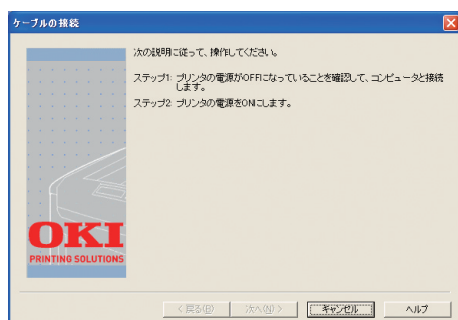
5 USB ドライバをインストールします。

❶「ケーブルの接続」画面が表示されたら、画面の指示に従い、USB ケーブルでコンピュータとプリンタを接続してから、プリンタの電源を ON にします。

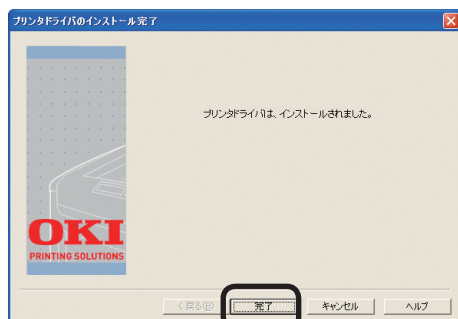
ケーブルの接続

次の説明に従って、操作してください。

ステップ1: プリンタの電源がOFFになっていることを確認して、コンピュータと接続します。

ステップ2: プリンタの電源をONにします。

❷「インストール完了」画面が表示されたら、[完了] をクリックします。

プリンタドライバのインストール完了

プリンタドライバは、インストールされました。

メモ システム標準の USB ドライバが自動的にインストールされる場合があります。1 ～ 2 分かかることがあります。

❸「スタート」-「コントロールパネル」-「プリンタと FAX」を選択します。
プリンタアイコンが表示されていることを確認します。

メモ ファクスドライバもインストールした場合は、2 つのプリンタアイコンが追加されます。

❹「スタート」-「コントロールパネル」-「スキャナとカメラ」を選択します。
スキャナアイコンが表示されていることを確認します。

6 3 章「基本的な使い方」（61 ページ）へ進みます。

コンピュータと接続します（Mac OS X）

動作環境（Mac OS X）

ネットワーク接続	Mac OS X 10.2 〜 10.4.9 日本語版が動作する Macintosh でネットワークインタフェースを搭載している機種
USB 接続	Mac OS X 10.2 〜 10.4.9 日本語版が動作する Macintosh で USB インタフェースを搭載している機種

コンピュータと MFP をネットワークで接続する場合は、このページの「ネットワーク接続でセットアップします（Mac OS X）」をご覧ください。
コンピュータと MFP を USB で接続する場合は、47 ページの「USB 接続でセットアップします（Mac OS X）」をご覧ください。

ネットワーク接続でセットアップします（Mac OS X）

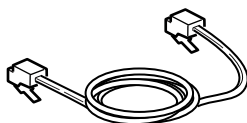
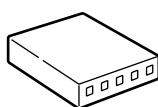
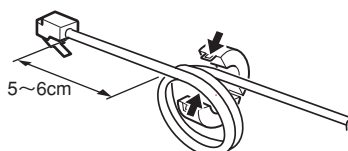
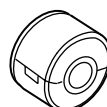
注

- IP アドレスの設定を間違えると、ネットワークがダウンしたり、インターネットに接続できなくなることがあります。充分にご注意ください。
- セットアップにはコンピュータの管理者の権限が必要です。
- Bonjour（ボンジュール）/Rendezvous（ランデブー）接続には対応していません。

以下の説明は、Mac OS X 10.4.8 を例にしています。

1 イーサネットケーブルとハブを準備します。

注 MFP にイーサネットケーブルとハブは添付されていません。イーサネットケーブル（カテゴリ 5、ツイストペアケーブル、ストレート）とハブを別途用意してください。

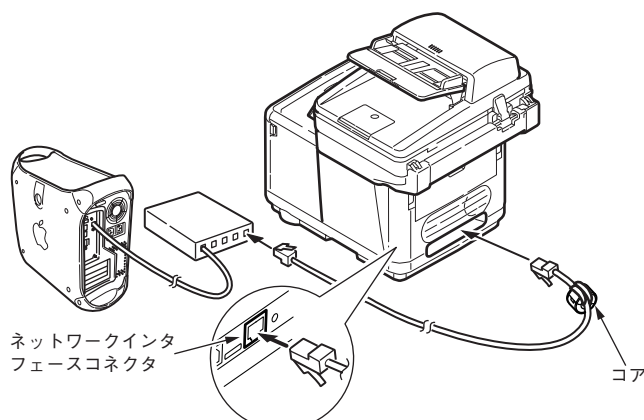
〈イーサネットケーブル〉　〈ハブ〉　〈コア〉

5～6cm

❶ イーサネットケーブルを MFP に差し込む側の 5 〜 6cm のところに二重に巻き、コアを取り付けます。

2 MFP と Macintosh の電源を OFF にします。

3 MFP をネットワークに接続します。

ネットワークインタフェースコネクタ

コア

❶ イーサネットケーブルを MFP のネットワークインタフェースコネクタに差し込みます。

❷ イーサネットケーブルをハブに差し込みます。

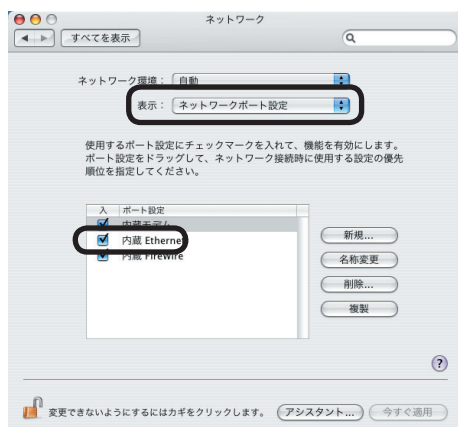
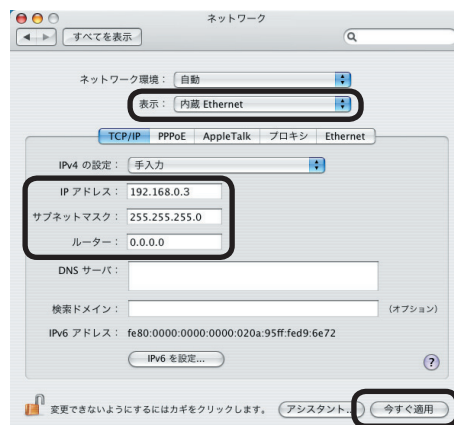
4 MFP の電源を ON にします。

注 ・ MFP の電源を入れる前に ADF カバーが閉じていること、ADF の原稿トレイ、原稿台に原稿などがないことを確認してください。

5 Macintosh を設定します。

❶ Macintosh を起動します。

❷［システム環境設定］-［ネットワーク］を選択します。

❸［表示］-［ネットワークポート設定］を選択し、［内蔵 Ethernet］にチェックが付いていることを確認します。

❹［表示］-［内蔵 Ethernet］-［TCP/IP］タブを選択し、IP アドレス、サブネットマスク、必要に応じてルータ、ドメインネームサーバを入力し、［今すぐ適用］をクリックします。

メモ DHCP サーバから IP アドレスを自動取得する場合は、設定で［DHCP サーバを参照］を選択します。

6 MFP に IP アドレス等を設定します。

注 ・ すでに MFP に IP アドレス等を設定したり、自動取得している場合は、手順 7「プリンタドライバをインストールします」(45 ページ）へ進みます。

❶ MFP の MAC アドレスを確認するために、「Network Information」を印刷します。「Network Information」の印刷方法は、「設定内容ページを印刷します」26 ページの手順❺で［ネットワーク情報］を選択します。

❷ Macintosh が起動していることを確認し、MFP 添付の「MFP ソフトウェア CD-ROM」をセットします。

❸「Utility」フォルダを開きます。

❹「Network」フォルダを開きます。

❺ NICTool-J for MacOSX をダブルクリックします。

NICTool-J for MacOSX

❻ 管理者の名前とパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

❼「使用許諾契約」をよく読み、［同意する］をクリックします。

❽「お読みください」をよく読み、［続ける］をクリックします。

❾ インストール内容を確認し、［インストール］をクリックします。

❿［アプリケーション］-［OKIDATA］-［NIC 設定ツール］フォルダ内の［NIC 設定ツール］をダブルクリックします。

NIC設定ツール

⑪ NIC 設定ツールが起動すると、ネットワークに接続されているMFP を検出しますので、一覧より設定内容ページに記載されたMAC アドレスを参照して、設定を行う MFP を選択します。

初期設定では IP アドレス取得方法が「DHCP/BOOTP」になっています。ネットワーク上に DHCP/BOOTP サーバがある場合はサーバから取得した IP アドレスが表示されます。

IP アドレスを自動取得している場合は？
☞ 手順 7 に進みます。

⑫［設定］メニューの［IP アドレス設定］を選択します。

⑬［IP アドレス取得方法］で［Manual］を選択し、［詳細設定］の［IP アドレス］、［サブネットマスク］、［デフォルトゲートウェイアドレス］を入力し、［設定］をクリックします。

⑭［設定パスワード入力］に［設定パスワード］（初期値は MAC アドレスの下 6 桁）を入力し、［OK］をクリックします。

⑮ 正常に設定されたら、［OK］をクリックします。

⑯ MFP が再起動します。再起動中は下のダイアログを表示します。

⑰ MFP の再起動が終了すると、メインダイアログに戻ります。

⑱ NIC 設定ツールを終了します。

7 プリンタドライバをインストールします。

注 ウィルス防御ソフトウェアは OFF にしてください。

❶「MFP ソフトウェア CD-ROM」を Macintosh にセットします。

❷［OKI］アイコンをダブルクリックします。

❸［Driver］フォルダ内の［Installer for MacOSX］をダブルクリックします。

Installer for MacOSX

❹ 管理者の名前とパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

画面に従い、インストールを行ないます。

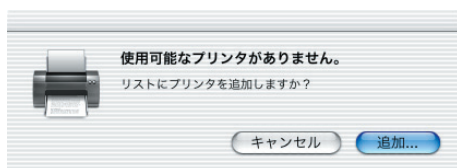
8 プリンタ設定ユーティリティで設定をします。

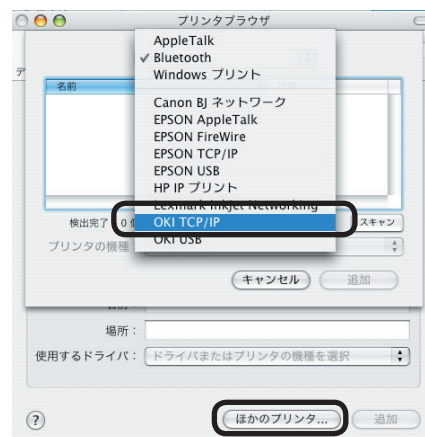
注 プリンタ設定ユーティリティ（Mac OS X 10.2 ではプリントセンター）が起動している場合は、メニューから終了を選択して終了させてください。

❶ ハードディスクの［アプリケーション］-［ユーティリティ］フォルダ内の［プリンタ設定ユーティリティ］（Mac OS X 10.2 では［アプリケーション］-［ユーティリティ］フォルダ内の［プリントセンター］）をダブルクリックします。

プリンタ設定ユーティリティ

❷［追加］をクリックします。

メモ 新規にプリンタを追加する場合、「使用可能なプリンタがありません」画面で、［追加］をクリックします。

❸［OKI TCP/IP］を選択します。

Mac OS X 10.4 以降では［その他のプリンタ］をクリックし［OKI TCP/IP］を選択します。Mac OS X 10.3 以前では［OKI TCP/IP］を選択します。

❹ 機種名のリストの中から［C3530MFP］を選択します。［プリンタのアドレス］にMFP の IP アドレスを入力し、［追加］をクリックします。

❺［プリンタリスト］に追加した MFP 名が表示されたことを確認し、［プリンタ設定ユーティリティ］を閉じます。

9 設定を確認します。

❶ テキストエディットなどのアプリケーションを起動します。

❷［ファイル］-［ページ設定］を開きます。

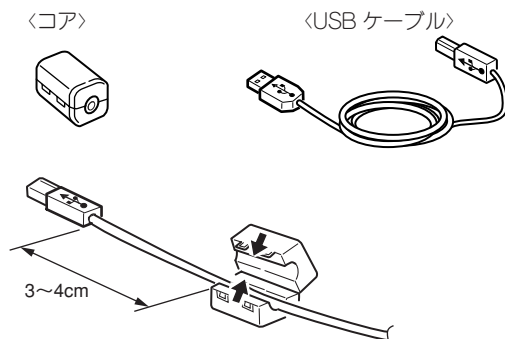
❸［対象プリンタ］で追加したプリンタ名を選択します。

❹［対象プリンタ］メニューの下の行に MFP 名が正しく表示されていることを確認します。

1 設置します

USB 接続でセットアップします（Mac OS X）

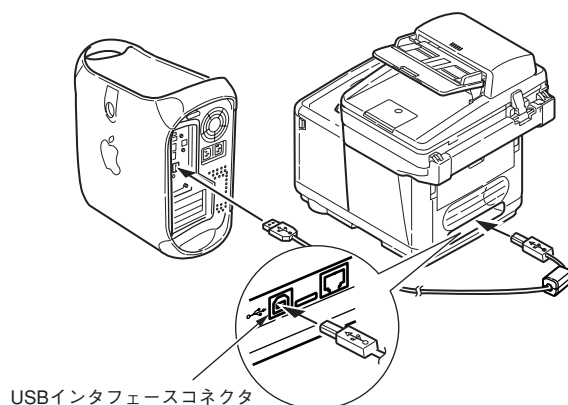
1 USB ケーブルを準備します。

注 USB ケーブルは添付されていません。USB2.0 仕様のケーブルを別途用意してください。

〈コア〉　〈USB ケーブル〉

3〜4cm

❶ USB ケーブルの MFP に差し込む側の 3 〜 4cm のところにコアを取り付けます。

2 MFP と Macintosh の電源を OFF にします。

3 USB ケーブルを接続します。

USBインタフェースコネクタ

❶ USB ケーブルを MFP の USB インタフェースコネクタに差し込みます。

注 USB ケーブルをネットワークインタフェースコネクタに差し込まないよう注意してください。故障の原因となります。

❷ USB ケーブルをコンピュータの USB インタフェースコネクタに差し込みます。

4 MFP の電源を ON にします。

5 Macintosh を起動します。

6 プリンタドライバをインストールします。

注 ウィルス防御ソフトウェアは OFF にしてください。

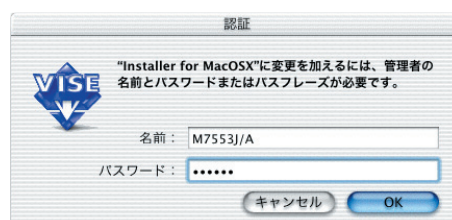
❶「MFP ソフトウェア CD-ROM」を Macintosh にセットします。

❷［OKI］アイコンをダブルクリックします。

❸［Driver］フォルダ内の［Installer for MacOSX］をダブルクリックします。

Installer for MacOSX

❹ 管理者の名前とパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

認証
"Installer for MacOSX"に変更を加えるには、管理者の名前とパスワードまたはパスフレーズが必要です。
名前：M7553J/A
パスワード：••••••
キャンセル　OK

画面に従い、インストールを行ないます。

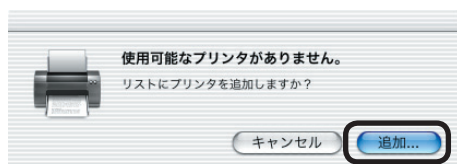
7 プリンタ設定ユーティリティで設定をします。

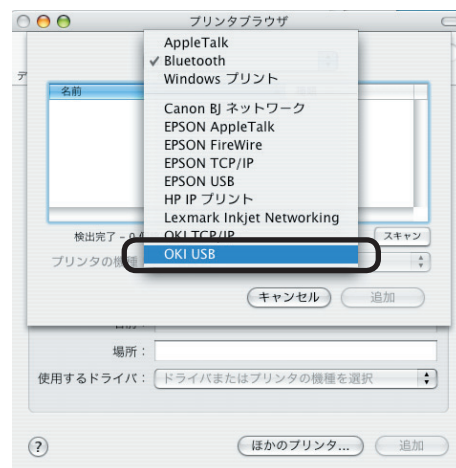
注 プリンタ設定ユーティリティ（Mac OS X 10.2 ではプリントセンター）が起動している場合は、メニューから終了を選択して終了させてください。

❶ ハードディスクの［アプリケーション］-［ユーティリティ］フォルダ内の［プリンタ設定ユーティリティ］（Mac OS X 10.2 では［アプリケーション］-［ユーティリティ］フォルダ内の［プリントセンター］）をダブルクリックします。

プリンタ設定ユーティリティ

❷［追加］をクリックします。

メモ 新規に MFP を追加する場合、「使用可能なプリンタがありません」画面で、［追加］をクリックします。

注 インストールしようとしている MFP の名前がすでに表示されている場合は、MFP 名を選択して［削除］をクリックします。

❸［OKI USB］を選択します。（Mac OS X 10.4 以降では［その他のプリンタ］をクリックし［OKI USB］を選択します。Mac OS X 10.3 以前では［OKI USB］を選択します。）

❹ C3530MFP を選択し、［追加］をクリックします。

❺［プリンタリスト］に追加した MFP 名が表示されたことを確認し、［プリンタ設定ユーティリティ］を閉じます。

8 設定を確認します。

❶ テキストエディットなどのアプリケーションを起動します。

❷［ファイル］-［ページ設定］を開きます。

❸［対象プリンタ］で追加した MFP 名を選択します。

❹［対象プリンタ］メニューの下の行に MFP 名が正しく表示されていることを確認します。

USB 接続でセットアップがうまくいかないとき

現　象	対処方法
コンピュータが USB インタフェースに対応していません。	デバイスマネージャで USB コントローラが表示されるか確認してください。
USB ケーブルが規格に合っていない可能性があります。	USB2.0 仕様の USB ケーブルを使用してください。
セットアップ手順が間違っています。	もう一度初めからセットアップしてください。
USB ケーブルが外れています。	USB ケーブルを差し込んでください。
USB ケーブルに問題があります。	予備の USB ケーブルがあれば取り替えてみてください。
USB ハブを使用しています。	MFP とコンピュータを直接接続してみてください。
セットアップを中断しました。	この章の手順に従って、もう一度初めからセットアップしてください。
［プリンタ］フォルダに、プリンタアイコンが作成されません。	もう一度初めからセットアップしてください。
［スキャナ］フォルダに、スキャナアイコンが作成されません。	
「プリンタドライバのインストールに失敗しました」と表示されます。	Windows2000 の場合、プラグアンドプレイでセットアップする必要があります。以下の手順でセットアップを行っているか確認してください。 ❶ MFP とコンピュータの電源が OFF になっていることを確認します。 ❷ USB ケーブルを接続します。 ❸ プリンタの電源を ON にします。 ❹ Windows を起動します。 ❺「新しいハードウェアの追加ウィザード」(Windows2000 では「新しいハードウェアの検索ウィザード」）が表示されたら、以降、画面の指示に従ってセットアップします。 詳細は、「MFP ソフトウェア CD-ROM」内の「README.TXT」をご覧ください。
「スキャナドライバのインストールに失敗しました」と表示されます。	

2 ご使用の前に

操作パネルについて

操作パネルの各部の名称と機能

番号	名称	機能
❶	テンキー	数字やアルファベットを入力する時に使います。
❷	カーソルキー	機能（コピー、スキャン、Fax、メニュー）を選択するときや、文字入力画面になっているときに、文字を選択します。
❸	決定キー	カーソルキーで選択した値 / 文字などを決定するときに使います。
❹	表示部	MFP の状態や操作を表示します。
❺	ストップボタン	操作を中止するときに使います。
❻	カラースタートボタン	カラーコピーやファクスを送信するときに使います。 但し、ファクスの場合はモノクロで送信します。
❼	モノクロスタートボタン	モノクロコピーやファクスを送信するときに使います。

通常は、機能選択画面を表示しています。

操作パネルから文字を入力するとき

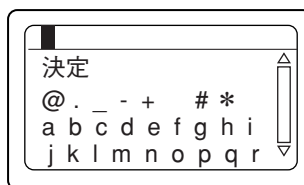
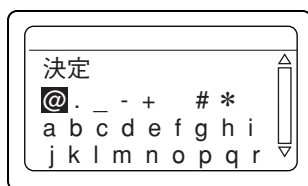
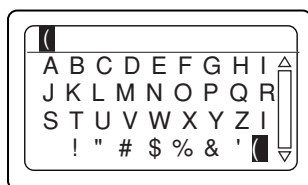
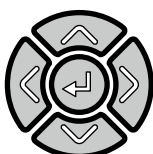
本機の設定を変更するときなどに、操作パネルに以下のような入力画面が表示されます。文字を入力するときは、以下のように操作します。
入力画面の例

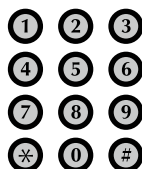
決定
@ . _ - + # *
a b c d e f g h i
j k l m n o p q r

文字を入力するとき

決定
@ . _ - + # *
a b c d e f g h i
j k l m n o p q r

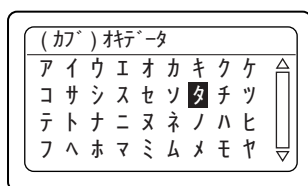
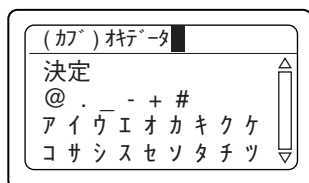
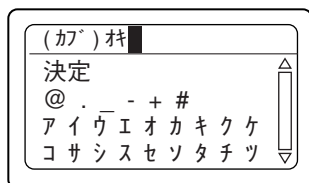
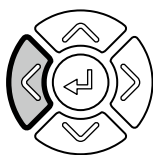
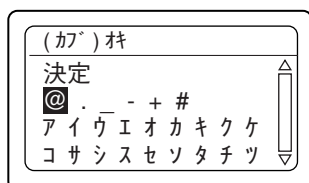
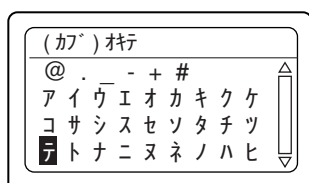
❶ キーを2回押して、カーソルを文字の位置に移動します。

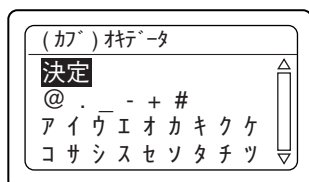
A B C D E F G H I
J K L M N O P Q R
S T U V W X Y Z I
! " # $ % & ' (

❷ キーを使って文字を選択し、 キーを押して決定します。

1 2 3
4 5 6
7 8 9
* 0 #

数字、アルファベット、記号はテンキーからも入力できます。それぞれのキーから入力できる文字は、メモをご覧ください。

(ｶﾌﾞ)ｵｷﾃﾞｰﾀ
ア イ ウ エ オ カ キ ク ケ
コ サ シ ス セ ソ タ チ ツ
テ ト ナ ニ ヌ ネ ノ ハ ヒ
フ ヘ ホ マ ミ ム メ モ ヤ

❸ 続けて入力する場合は、❷を繰り返します。

2
ご使用の前に

入力した文字を修正するとき

❶ キーを数回押し、カーソルを入力した文字列に移動します。

❷ キーを押して入力した文字を消去します。

❸ キーを２回押して、カーソルを文字の位置に移動します。

❹ キーを押して文字を選択し、キーを押して決定します。

文字の入力を終了するとき

❶ または キーを数回押して、［決定］を選択し、キーを押します。

メモ　テンキーから入力できる文字

テンキー	入力できる文字と文字の切り替え
1	1→1
2	a→b→c→2→A→B→C→a
3	d→e→f→3→D→E→F→d
4	g→h→i→4→G→H→I→g
5	j→k→l→5→J→K→L→j
6	m→n→o→6→M→N→O→m
7	p→q→r→s→7→P→Q→R→S→p
8	t→u→v→8→T→U→V→t
9	w→x→y→z→9→W→X→Y→Z→w
0	(スペース)→0→(スペース)
*	@→*→@
#	.→_→-→P*1→(スペース)→+→!→"→$→%→&→'→(→)→,→/→:→;→<→=→>→?→[→¥→]→^→#→.

*1: Pは、ポーズを示します。

2　ご使用の前に

印刷に使用できる用紙

使用できる用紙の種類は、普通紙、はがき、封筒、ラベル紙、部分印刷用紙、カラー用紙です。推奨紙、サイズ、厚さなどはそれぞれの用紙の項目をご覧ください。
高品質な印刷を行うためには、材質、厚さ、表面の仕上げなどの条件を満足する用紙を使用する必要があります。弊社推奨紙以外の用紙を使用すると、紙づまりなどの走行不良の原因となったり、印刷品位が低下する場合がありますので、事前に試し印刷を行い支障がないことを確認してから使用してください。

用紙の種類、サイズ、厚さについて

注 用紙の種類、サイズ、厚さによって給紙方法や排出方法に制限があります。

種　類	サイズ　単位：mm（インチ）		厚　さ
普通紙	A4	210 × 297	連量 55 ～ 172kg（坪量 64 ～ 200g/m²）
	A5	148 × 210	両面印刷の場合、連量 55 ～ 90kg（坪量 64 ～ 105g/m²） 使用できる用紙サイズは、「A4、A5、B5、レター、リーガル（13 インチ）、リーガル（13.5 インチ）、リーガル（14 インチ）、エグゼクティブ」です。
	A6	105 × 148	
	B5	182 × 257	
	レター	215.9 × 279.4（8.5 × 11）	
	リーガル（13 ｲﾝﾁ）	215.9 × 330.2（8.5 × 13）	
	リーガル（13.5 ｲﾝﾁ）	215.9 × 342.9（8.5 × 13.5）	
	リーガル（14 ｲﾝﾁ）	215.9 × 355.6（8.5 × 14）	
	エグゼクティブ	184.2 × 266.7（7.25 × 10.5）	
	カスタム	幅　100 ～ 215.9　　長さ 148 ～ 1200 （用紙カセットは 148, 203 ～ 355.6） ただし、長さが 356mm 以上の場合は幅は 210 ～ 215.9mm	連量 55 ～ 172kg（坪量 64 ～ 200g/m²） 長さが 356mm 以上の長尺用紙の場合は連量 110kg（坪量 128g/m²）です。
はがき	はがき	100 × 148	郵政公社製はがき
	往復はがき	148 × 200	
封筒	封筒 1（長形 3 号）	120 × 235	坪量 85g/m² の紙を使用したもの
	封筒 2（長形 4 号）	90 × 205	
	封筒 3（洋形 4 号）	105 × 235	
	封筒 4（A4 サイズ）	210 × 297	
	Com-9	98.4 × 225.4（3.875 × 8.875）	24lb の紙を使用したもので、フラップ部がきちんと折れているもの
	Com-10	104.8 × 241.3（4.125 × 9.5）	
	DL	110 × 220（4.33 × 8.66）	
	C5	162 × 229（6.38 × 9.02）	
	Monarch	98.4 × 190.5（3.875 × 7.5）	
ラベル紙	A4	210 × 297	0.1 ～ 0.2mm
	レター	215.9 × 279.4（8.5 × 11）	
部分印刷用紙	普通紙に準ずる		連量 55 ～ 172kg（坪量 64 ～ 200g/m²）
カラー用紙	〃		連量 55 ～ 172kg（坪量 64 ～ 200g/m²）

普通紙

次の条件に合った用紙を使用してください。

- 推奨紙：　エクセレントホワイト A4（OKI カラーページプリンタ用紙）（型名：PPR-CA4NA）
  プリンタドライバの用紙厚の設定：[普通紙]
  両面印刷の場合は、エクセレントホワイト A4（厚口）（型名：PPR-CA4DA）
  プリンタドライバの用紙厚の設定：[厚い紙]
- 用紙の厚さが連量 55 ～ 172kg（坪量 64 ～ 200g/m²）の用紙
- 電子写真プリンタ用紙（トナーを用いるプリンタで使用する用紙です）
- 電子写真コピー用紙（トナーを用いる一般の複写機などで使用する用紙です）
  カラー電子写真プリンタ用紙、カラー電子写真コピー紙を推奨します。
- 電子写真プリンタ再生紙（トナーを用いるプリンタで使用する再生紙です）
  推奨再生紙　銘柄名：　Green 100（富士ゼロックス製）
  プリンタドライバの用紙厚の設定：[普通紙]
  再生紙では、用紙全体に薄くトナーが付着したり、印刷が薄いことがあります。再生紙には、印刷品質を低下させる添加物が含まれているものもあります。必ず電子写真プリンタ用再生紙であることを確認の上、使用してください。

以下の用紙は使用しないでください。

- 表面が平滑（すべすべ）すぎる用紙、粗い（ザラ紙、繊維質）用紙、表と裏の粗さが大きく異なる用紙
- 薄すぎる用紙、厚すぎる用紙、紙粉が多い用紙
- 横目の用紙
- 濡れている（湿っている）用紙
- 静電気で貼り付いている用紙
- 保存状態の悪い用紙
- 絹目加工（シボ）、浮き出し加工（エンボス）、コーティング加工をした用紙（コート紙）
- のり・薬品などで特殊加工、耐熱性（230℃）のない特殊加工をした用紙
- バインダ用の穴、ミシン目、切り込み、穴がある用紙
- 用紙カット面に、凹凸、つぶれ、バリなどがある用紙
- 四角い形状でない用紙、裁断角度が直角でない用紙
- シワ、反り、角の折れ曲がり、波打ち、折り目、破れなどがある用紙
- ホチキス、クリップ、リボン、テープ、留め金などがついている用紙
- カーボン紙、ノンカーボン紙、感熱紙、感圧紙などの特殊紙
- 熱転写プリンタ用紙、インクジェット用の用紙、湿式 PPC 用紙、複写紙、和紙など

注

- 厚手の用紙は、用紙全体に薄くトナーが付着したり印刷が薄いことがあります。
- 用紙のすき目の方向と用紙送りの方向が一致しないと紙づまりが起こることがあります。
- 手差しトレイで印刷するとシワが出ることがあります。
- 電子写真プリンタ、熱転写プリンタ、インクジェットプリンタ等で一度印刷した用紙は使用しないでください。
- 用紙の包装紙には表面の向きが表示されています。表面が印刷面となるようにセットしてください。
- 用紙は湿気防止のため防湿紙に包装されています。開封後は早めに使用してください。

はがき

次の条件に合ったはがきを使用してください。

- 郵政公社製はがき、および折っていない郵政公社製往復はがき

以下のはがきは使用しないでください。

- インクジェット用郵政公社製はがき
- 2mm 以上反りがあるはがき
- 切手の貼ってあるはがき
- 写真加工してあるはがき

注

- 印刷後は反りが発生することがあります。
- 用紙全体に薄くトナーが付着したり印刷が薄いことがあります。
- トナーの定着が低下することがあります。
- 用紙カセットから郵政公社製はがきを印刷する場合は、約 100 枚印刷毎に給紙ローラを清掃してください。
- 一度印刷したはがきの裏面への印刷は、反りによる給紙不良や紙づまり及び印刷品位の低下の原因となりますので、保証できません。

封筒

次の条件に合った封筒を使用してください。

- クラフト紙、電子写真プリンタ用紙、または乾式 PPC 用紙で作られた封筒
- 封筒 1 ～ 4 は坪量 85g/m² の紙を使用した封筒

以下の封筒は使用しないでください。

- 厚すぎる封筒やプラスチックでできた封筒
- 内袋のある二重封筒
- とめ金、ボタン、窓のある封筒
- フラップ部に粘着剤、両面テープのついた封筒
- シワや反りのある封筒
- 切手の貼ってある封筒
- 絹目加工（シボ）や浮き出し加工（エンボス）のある封筒

注
- 印刷後は反りやシワが発生することがあります。
- 用紙全体に薄くトナーが付着したり印刷が薄いことがあります。
- トナーの定着が低下することがあります。
- 封筒の貼り合わせ部分（厚さに段差のある部分）のまわり約 5mm は印刷品位が低下することがあります。
- 封筒に反りがあると、吸入不良の原因となります。反りは修正してからお使いください。
- 必ず試し印刷をして支障がないことを確認してください。
- 一度印刷した封筒の裏面への印刷は、反りによる給紙不良や紙づまり、及び印刷品位の低下の原因となりますので保証できません。

ラベル紙

次の条件に合ったラベル紙を使用してください。

- 推奨紙：LBP-A6XX（コクヨ製）（総厚：147μm）
- 用紙サイズは A4、レターのみ
- 表面紙、粘着剤、台紙が熱で変質しない、電子写真プリンタ用または乾式 PPC 用のラベル紙
- MFP の熱定着工程で、表面紙が台紙から剥がれない構造のラベル紙
- 用紙の走行で、表面紙が台紙から剥がれない構造のラベル紙
- 表面紙と台紙を合せた用紙の厚さが 0.1 ～ 0.2mm のラベル紙
- 表面紙が台紙全体をおおい、粘着剤がはみ出していないラベル紙
- 台紙に切れ目や折り目のないラベル紙

注
- 用紙全体に薄くトナーが付着したり印刷が薄いことがあります。
- トナーの定着が低下することがあります。
- ラベル紙の先端に反りがあると、吸入不良の原因となります。反りは修正してからお使いください。
- 必ず試し印刷をして支障がないことを確認してください。

部分印刷用紙

次の条件に合った部分印刷用紙を使用してください。

- 部分印刷に使用したインクが耐熱性で 230℃に耐えるもの
  （電子写真プリンタ、熱転写プリンタ、インクジェットプリンタ等で印刷した用紙は、耐熱性がありませんので使用できません。）

注
印刷枠を設ける場合、以下の印刷位置のバラツキを十分考慮に入れて設計してください。
書き出し位置精度：± 2mm、用紙の斜行：± 1mm/100mm、画像伸縮：± 1mm/100mm（連量 70kg の場合）

カラー用紙

次の条件に合ったカラー用紙を使用してください。

- 用紙を着色した顔料またはインクが耐熱性で 230℃に耐えるもの
- 用紙特性が白色紙と同じで、電子写真プリンタ用の用紙

長尺用紙

次の条件に合った長尺用紙を使用してください。

- 推奨紙：エクセレントホワイト　A4 長尺（OKI カラーページプリンタ用紙）（型名：PPR-CT4DA）
  プリンタドライバの用紙厚の設定：[より厚い紙]
- 用紙サイズは幅 210 ～ 215.9mm、長さ 356 ～ 1200mm　連量 110kg（128g/m^2）

以下の用紙は使用しないでください。

- 表面が平滑（すべすべ）すぎる用紙、粗い（ザラ紙、繊維質）用紙、表と裏の粗さが大きく異なる用紙
- 薄すぎる用紙、厚すぎる用紙、紙粉が多い用紙
- 横目の用紙
- 濡れている（湿っている）用紙
- 静電気で貼り付いている用紙
- 絹目加工（シボ）、浮き出し加工（エンボス）、コーティング加工をした用紙（コート紙）
- のり・薬品などで特殊加工、耐熱性（230℃）のない特殊加工をした用紙
- バインダ用の穴、ミシン目、切り込み、穴がある用紙
- 用紙カット面に、凹凸、つぶれ、バリなどがある用紙
- 四角い形状でない用紙、裁断角度が直角でない用紙
- シワ、反り、角の折れ曲がり、波打ち、折り目、破れなどがある用紙
- ホチキス、クリップ、リボン、テープ、留め金などがついている用紙
- カーボン紙、ノンカーボン紙、感熱紙、感圧紙などの特殊紙
- 熱転写プリンタ用紙、インクジェット用の用紙、湿式 PPC 用紙、複写紙、和紙など

注

- 厚手の用紙は、用紙全体に薄くトナーが付着したり印刷が薄いことがあります。
- 用紙のすき目の方向と用紙送りの方向が一致しないと紙づまりが起こることがあります。
- 電子写真プリンタ、熱転写プリンタ、インクジェットプリンタ等で一度印刷した用紙は使用しないでください。
- 用紙の包装紙には表面の向きが表示されています。表面が印刷面となるようにセットしてください。
- 用紙は湿気防止のため防湿紙に包装されています。開封後は早めに使用してください。
- 長さが 400mm を超える用紙は、「高精細（多階調）」、「きれい」（600 × 1200dpi）では印刷されません。「ふつう」（600 × 600dpi）で印刷されます。
- 連量 110kg 以外の長尺用紙は、印刷品位は保証できません。
- 必ず試し印刷をして支障がないことを確認してください。

読み取りできる原稿サイズ

ファクス、コピー、スキャナで読みとることができる原稿のサイズと厚さは次の通りです。

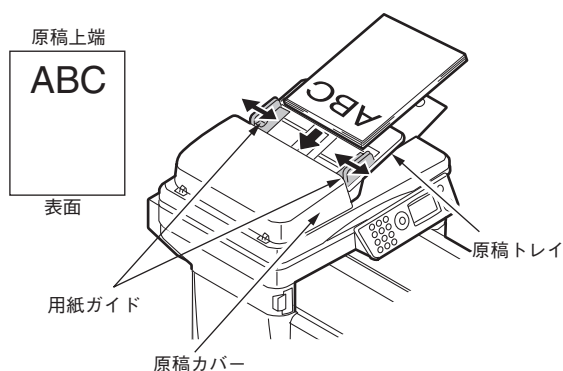
ADF（オートドキュメントフィーダ）: サイズ　A4, レター , リーガル
　　　　　　　　　　　　　　　　　厚さ　60g/m2 ～ 105g/m2
原稿台： サイズ　最大　216mm x 297mm
　　　　 厚さ　　最大　14mm

原稿のセット方法

原稿のセット方法は、2 通りあります。

- ADF(オートドキュメントフィーダ) にセットします
- 原稿台にセットします

ADF(オートドキュメントフィーダ) にセットします

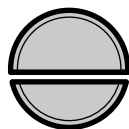
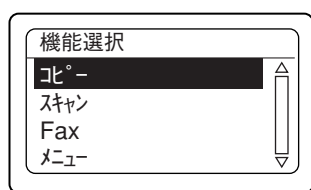
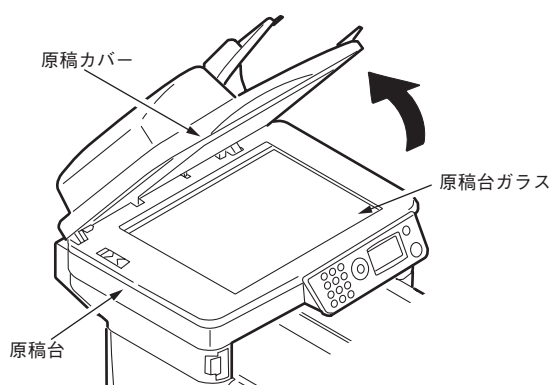
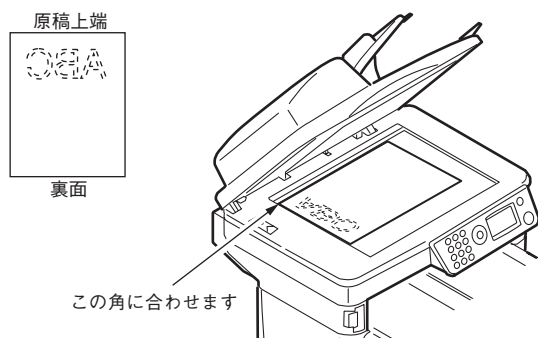
複数枚の原稿を自動で読み取りたい時などは、ＡＤＦを使用します。ADF にセットできる原稿は 50 枚までです。

❶ 原稿カバーを開け、原稿台に何もないことを確認します。

❷ 原稿をきれいに揃えます。原稿が曲がったり、反ったりしている場合は、修正します。

❸ 原稿を表にして、原稿トレイにのせます。

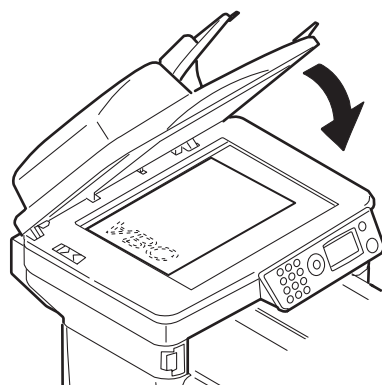
❹ 用紙ガイドを原稿の幅に合わせます。

原稿台にセットします

複数枚の原稿を 1 枚ずつコピーしたい時や、小さな原稿、本などの厚みのある原稿の時は、原稿台を使用します。

❶ 機能選択画面を表示していることを確認します。
「省電力モード中です」と表示されているときは、スタートボタンを 1 回押し、機能選択画面を表示するまで待ちます。

❷ 原稿カバーを開けます。

❸ 原稿を裏にして、原稿台の左奥側の角に合わせてセットします。

原稿上端

裏面

この角に合わせます

❹ 原稿カバーを静かに閉じます。

3 基本的な使い方

プリンタとして使います

印刷までの流れ

1 用紙のサイズ、厚さを確認します。 ▶ 2 用紙をセットします。 ▶ 3 操作パネルで用紙サイズ、用紙厚をセットします。 ▶ 4 排出先をセットします。 ▶ 5 印刷します。

印刷します

高品質な印刷を行うためには、推奨紙の使用をおすすめします。
弊社推奨紙以外で印刷される場合には、印刷品質や用紙の走行性など、事前に十分テストを行い、支障がないことを確認してから使用してください。

ここでは普通紙に印刷する場合を例にしています。

メモ はがき、封筒、ラベル紙に印刷する場合は、応用編をご覧ください。

1 用紙のサイズ、厚さを確認します。

印刷に使用する用紙サイズ、厚さを確認します。C3530MFP で印刷できる用紙については、55 ページをご覧ください。

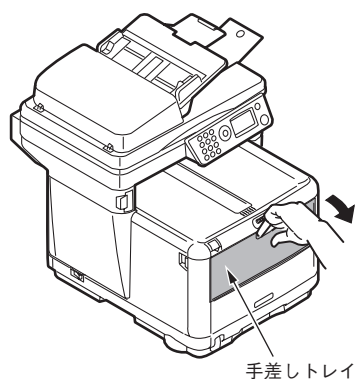
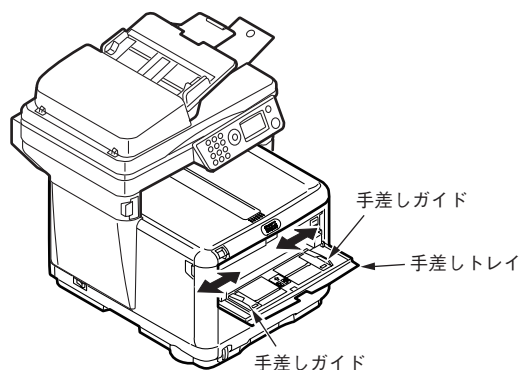
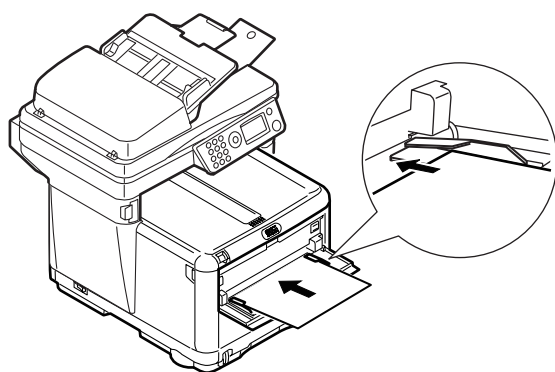
2 用紙をセットします。

用紙をセットする場所は 2 ヶ所あります。
　用紙カセット： 連続で印刷する時はこちらにセットします。
　手差しトレイ　： 1 枚ずつ用紙をセットし印刷する時は、こちらにセットします。

メモ 連量 106kg 以上の用紙、往復はがき、封筒、ラベル紙は手差しトレイにセットします。

用紙カセットにセットする場合

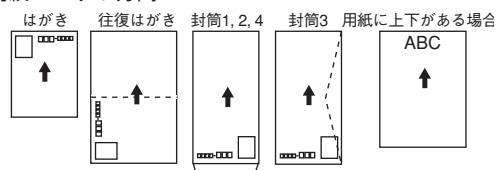
14 ページをご覧ください。

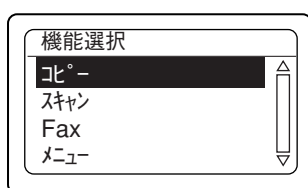
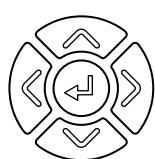
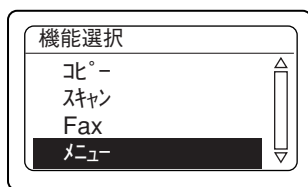
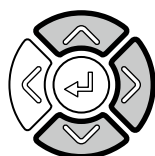
手差しトレイにセットする場合

❶ 手差しトレイの中央のくぼみに指を掛け、手前に開きます。

❷ 手差しガイドを用紙の幅に合わせます。

❸ 用紙の印刷面を上に向けて、まっすぐ突き当たるまで差し込みます。

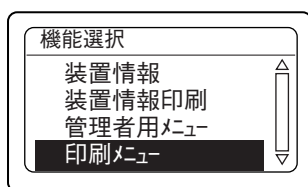
用紙のセット方向

はがき　往復はがき　封筒1, 2, 4　封筒3　用紙に上下がある場合

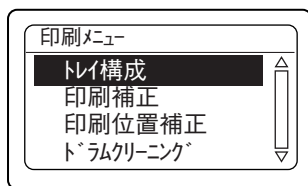
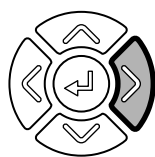
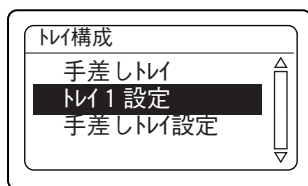
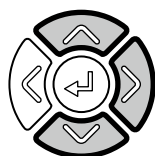
ABC

3 操作パネルで用紙サイズ、用紙厚をセットします。

機能選択
コピー
スキャン
Fax
メニュー

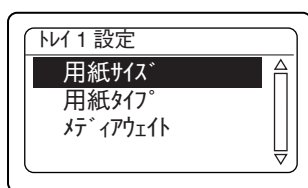
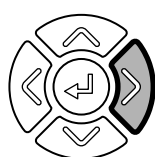
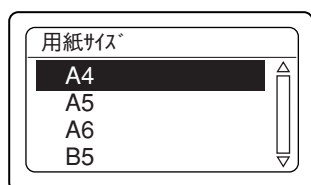
❶ 機能選択画面を表示していることを確認します。

機能選択
コピー
スキャン
Fax
メニュー

❷ 操作パネルの キーまたは キーを数回押して［メニュー］を選択し、 キーを押します。

機能選択
装置情報
装置情報印刷
管理者用メニュー
印刷メニュー

❸ キーまたは キーを数回押して［印刷メニュー］を選択し、 キーを押します。

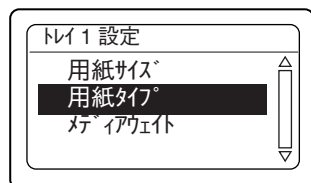
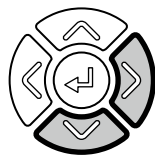
印刷メニュー
トレイ構成
印刷補正
印刷位置補正
ドラムクリーニング

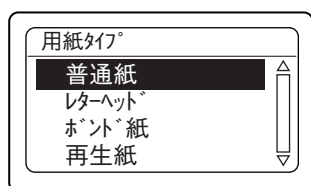
❹［トレイ構成］が選択されているので、 キーを押します。

トレイ構成
手差しトレイ
トレイ１設定
手差しトレイ設定

❺［トレイ構成画面］が表示されるので、 キーまたは キーを数回押して、用紙カセットの用紙に印刷する場合は、［トレイ１設定］を、手差しトレイの用紙に印刷する場合は、［手差しトレイ設定］を選択し、 キーを押します。

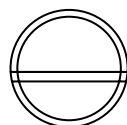
ここでは、用紙カセットの場合を例にしています。

トレイ１設定
用紙サイズ
用紙タイプ
メディアウェイト

❻［トレイ１設定］画面で［用紙サイズ］が選択されているので、 キーを押します。

用紙ｻｲｽﾞ
A4
A5
A6
B5

❼ キーまたは キーを数回押して使用する用紙サイズを選択し、キーを押します。

ﾄﾚｲ 1 設定
用紙ｻｲｽﾞ
用紙ﾀｲﾌﾟ
ﾒﾃﾞｨｱｳｪｲﾄ

❽ [トレイ設定] 画面に戻るので、キーを 1 回押して [用紙タイプ] を選択し、キーを押します。

用紙ﾀｲﾌﾟ
普通紙
ﾚﾀｰﾍｯﾄﾞ
ﾎﾞﾝﾄﾞ紙
再生紙

❾ キーまたは キーを数回押して使用する用紙の用紙タイプを選択し、キーを押します。

機能選択
ｺﾋﾟｰ
ｽｷｬﾝ
Fax
ﾒﾆｭｰ

❿ ストップボタンを押して、機能選択画面を表示します。

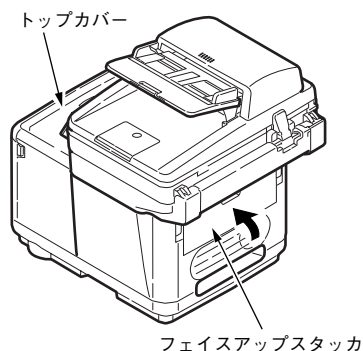
4 排出先をセットします。

用紙を排出する場所は 2 ヶ所あります。

フェイスダウンスタッカ：　印刷面を下にして排出します。ページ順に取り出せます。
フェイスアップスタッカ：　印刷面を上にして排出します。ページと逆順に取り出せます。

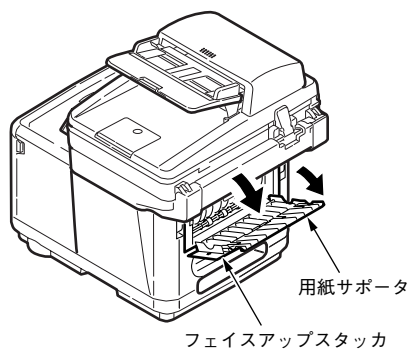
メモ A6 サイズの用紙、連量 106kg 以上の用紙、はがき、封筒、ラベル紙はフェイスアップスタッカに排出します。

フェイスダウンスタッカに排出する場合

【MFP 背面】

❶ MFP 背面のフェイスアップスタッカが閉じていることを確認します。

フェイスアップスタッカに排出する場合

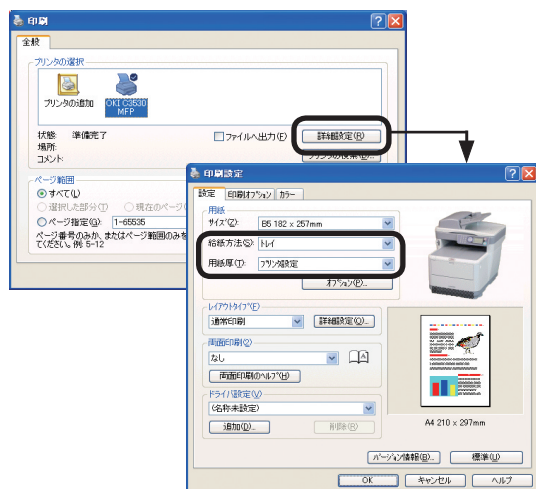
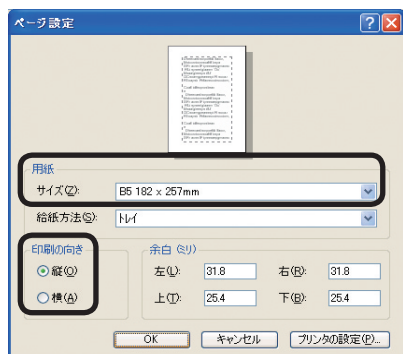
普通紙は 1 枚、はがきは 10 枚排出する毎に用紙を取り除いてください。

【MFP 背面】

❶ MFP 背面のフェイスアップスタッカを開きます。

❷ 用紙サポータを広げます。

5 印刷します。

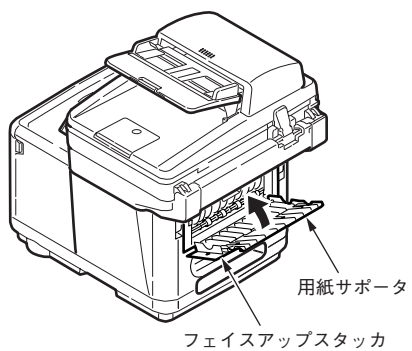
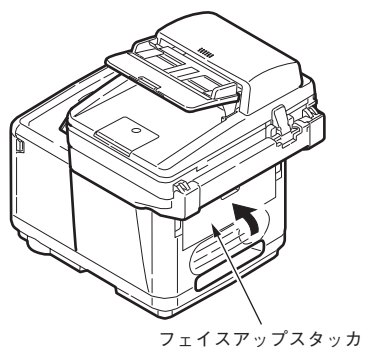
ここでは、B5 サイズの用紙に印刷する場合を例にしています。

Windows をお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。
❷ [ファイル]メニューの[ページ設定]を選択します。
❸ [サイズ] で [B5]、[印刷の向き] で [縦] または [横] を選択し、[OK] をクリックします。
❹ [ファイル] メニューの [印刷] を選択します。
❺ [詳細設定] をクリックします。
❻ [設定] タブの [給紙方法] で [トレイ] を選択します。
❼ [用紙厚] で [プリンタ設定] を選択します。
❽ [OK] をクリックします。
❾ 「印刷」画面で [OK] または [印刷] をクリックし、印刷します。

Mac OS X をお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。
❷ [ファイル]メニューの[ページ設定]を選択します。
❸ [用紙サイズ] で [B5]、[方向] で適切な方向を選択し、[OK] をクリックします。
❹ [ファイル] メニューの [プリント] を選択します。
❺ [給紙] パネルで [トレイ] を選択します。
❻ [プリンタオプション] パネルの [用紙厚] で [プリンタ設定] を選択します。
❼ [プリント] をクリックし、印刷します。

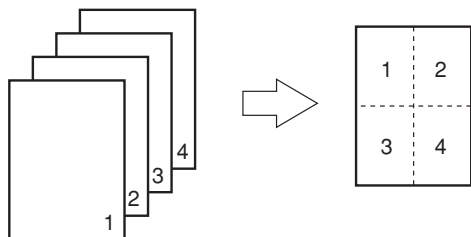
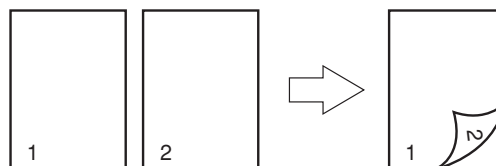
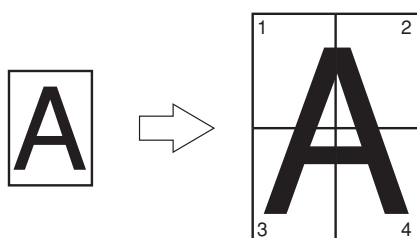
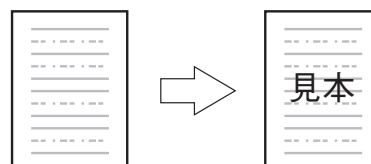
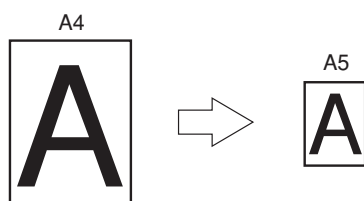
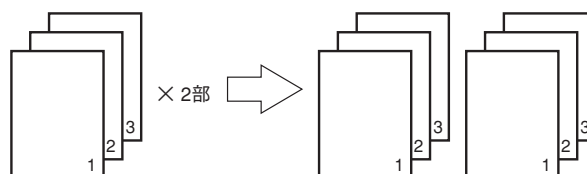
メモ フェイスアップスタッカの閉じ方

❶ 用紙サポータを閉じます。

用紙サポータ
フェイスアップスタッカ

❷ フェイスアップスタッカを閉じます。

フェイスアップスタッカ

色々な機能を使って印刷する

C3530MFP では、色々な便利な機能を使って印刷できます。

- 複数ページを 1 枚に印刷
  複数ページのデータを 1 枚の用紙に縮小して印刷できます。

- 両面印刷
  手動で用紙の両面に印刷することができます。

- ポスター印刷
  元のデータを拡大し、複数枚の用紙に分割して印刷できます。

- スタンプ印刷（ウォーターマーク）
  ［見本］や［社外秘］などの文字を重ね印刷できます。

- 用紙サイズを変更して印刷
  印刷データに手を加えることなく、異なる用紙サイズに印刷できます。

- 丁合印刷
  文書を部単位で印刷できます。

- 高解像度で印刷
  600 × 1200dpi の高解像度で印刷できます。
- 試し印刷（トナーを節約して印刷）
  トナーの消費量を節約するように印刷できます。
- 写真やイラストを鮮明に印刷
  写真やイラストを多く含んだ文書をきれいに印刷できます。
- 表紙印刷
  表紙のみ別のトレイから印刷できます。

メモ　これらの機能の詳細は、「ユーザーズマニュアル CD-ROM」に収められているユーザーズマニュアル応用編をご覧ください。

これらの機能を使うには、次のように設定し印刷を行います。

Windows をお使いの方

ここでは［ワードパッド］を使用して印刷する場合を例にしています。

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］-［印刷］-［プロパティ］をクリックします。
次のような画面が表示されます。

【設定タブ】

- 複数ページを 1 枚に印刷
- ポスター印刷
- 用紙サイズを変更して印刷
- 表紙印刷
- 両面印刷

【印刷オプションタブ】

- 丁合印刷（部単位で印刷）
- 高解像度で印刷
- 写真を鮮明に印刷（フォトモード）
- ウォーターマーク（スタンプ印刷）
- トナーセーブ（試し印刷）

【カラータブ】

- オフィスドキュメント
  オフィスドキュメントを印刷するときにチェックします。写真やイラストをきれいに印刷したい時はチェックを外します。
- 簡単にカラーマッチング
- モノクロ印刷

Mac OS X をお使いの方

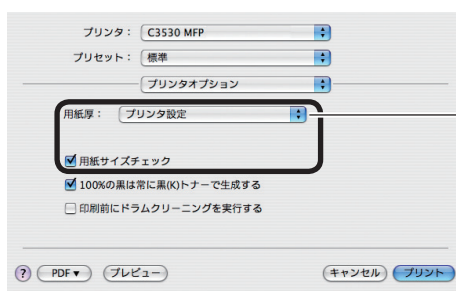
ここでは［テキストエディット］を使用して印刷する場合を例にしています。

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

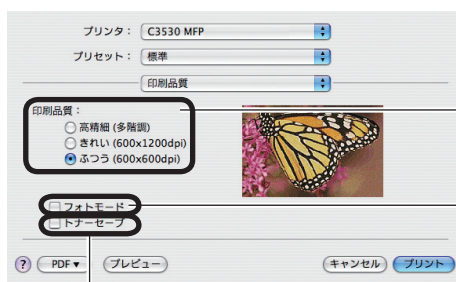
【レイアウトパネル】

- 複数ページを 1 枚に印刷

【プリンタオプションパネル】

- 用紙厚、用紙サイズチェック

【印刷部数と印刷ページパネル】

- 部単位で印刷（丁合い印刷）

【印刷品質パネル】

- 高解像度で印刷
- 写真を鮮明に印刷（フォトモード）
- トナーセーブ（試し印刷）

【カラーパネル】

- 簡単にカラーマッチング
- モノクロ印刷
- オフィスドキュメント
  オフィスドキュメントを印刷するときにチェックします。
  写真やイラストをきれいに印刷したい時はチェックを外します。

ファクスとして使います

ファクス番号を入力して送信します。(送信先が1件のとき)

操作パネルから、相手先のファクス番号を入力し、ファクスを送信します。
送信できる原稿サイズは、A4、レター、リーガルです。リーガルのときは ADF（オートドキュメントフィーダ）に原稿をセットしてください。

機能選択
コピー
スキャン
Fax
メニュー

❶ 操作パネルが機能選択画面を表示していることを確認します。

［省電力モード中です］と表示しているときは、スタートボタンを 1 回押し、機能選択画面を表示するまで待ちます。

❷ ADF（オートドキュメントフィーダ）または原稿台に原稿をセットします。原稿のセット方法については、59 ページをご覧ください。

ADF

原稿台

機能選択
コピー
スキャン
Fax
メニュー

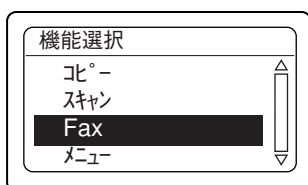
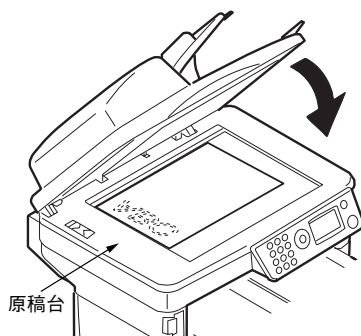
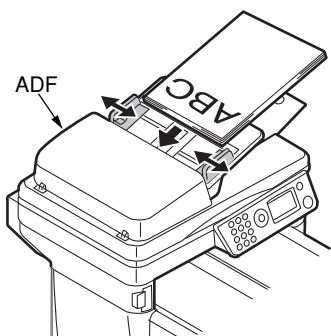
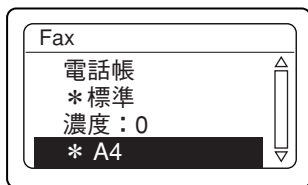
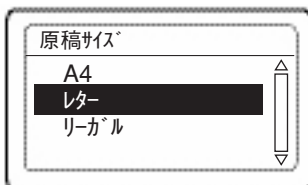
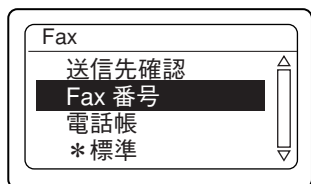
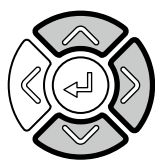
❸ または キーを数回押して［Fax］を選択し、キーを押します。

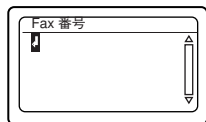
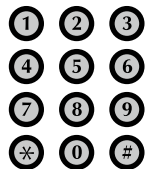
Fax
電話帳
＊標準
濃度：0
＊ A4

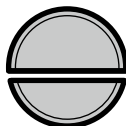
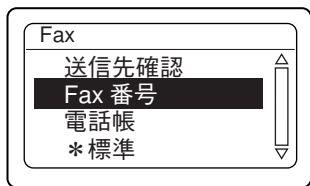
❹ 原稿サイズを設定します。工場出荷時の設定では、A4 サイズになっているので、レター、リーガルの場合は、以下の操作を行います。 または キーを数回押して［*A4］を選択し、を押します。

原稿サイズ
A4
レター
リーガル

または キーを数回押して適当な原稿サイズを選択し、を押します。

Fax
送信先確認
Fax 番号
電話帳
＊標準

❺ または キーを数回押して［Fax 番号］を選択し、キーを押します。

Fax 番号

❻ テンキーを使い、相手先のファクス番号を入力します。

Fax
送信先確認
Fax 番号
電話帳
＊標準

❼ スタートボタンを押します。カラースタートボタン､モノクロスタートボタンのどちらを押しても送信できますが、モノクロで送信されます。

ファクス番号を入力して送信します。(送信先が複数のとき)

操作パネルから、相手先のファクス番号を入力し、ファクスを送信します。
送信できる原稿サイズは、A4、レター、リーガルです。リーガルのときは ADF（オートドキュメントフィーダ）に原稿をセットしてください。

機能選択
コピー
スキャン
Fax
メニュー

❶ 操作パネルが機能選択画面を表示していることを確認します。

[省電力モード中です] と表示しているときは、スタートボタンを 1 回押し、機能選択画面を表示するまで待ちます。

❷ ADF（オートドキュメントフィーダ）または原稿台に原稿をセットします。原稿のセット方法については、59 ページをご覧ください。

ADF

原稿台

機能選択
コピー
スキャン
Fax
メニュー

❸ または キーを数回押して [Fax] を選択し、キーを押します。

Fax
電話帳
＊標準
濃度：0
＊ A4

❹ 原稿サイズを設定します。工場出荷時の設定では、A4 サイズになっているので、レター、リーガルの場合は、以下の操作を行います。 または キーを数回押して [*A4] を選択し、を押します。

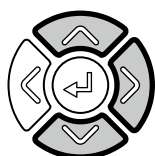
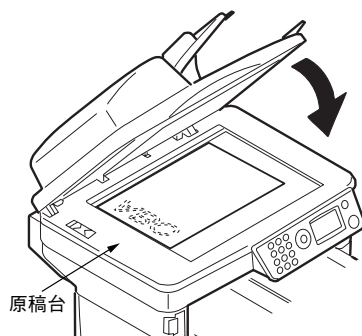
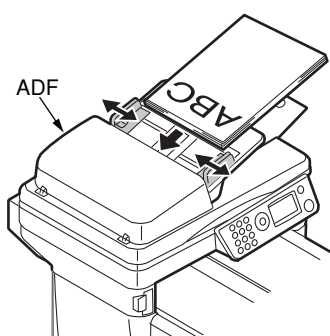
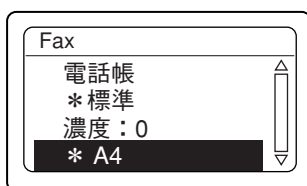
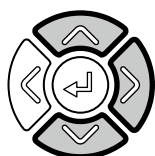
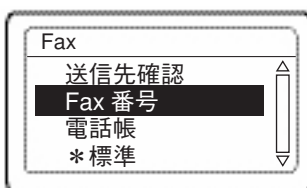
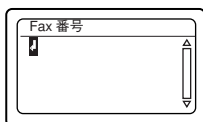
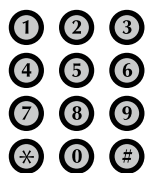
原稿サイズ
A4
レター
リーガル

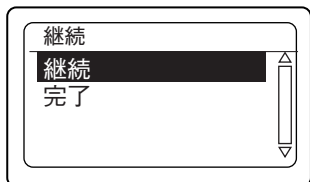
または キーを数回押して適当な原稿サイズを選択し、を押します。

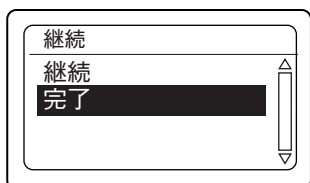
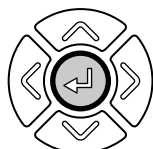
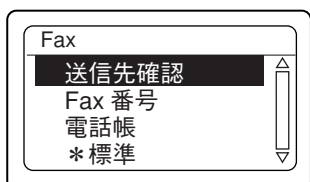
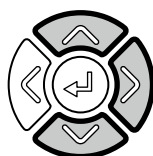
Fax
送信先確認
Fax 番号
電話帳
＊標準

❺ [Fax 番号] が選択させていることを確認し、キーを押します。

3

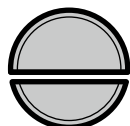
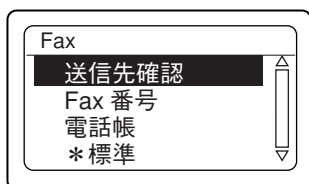
基本的な使い方

Fax 番号

❻ テンキーを使い、相手先のファクス番号を入力し キーを押します。

継続
継続
完了

❼［継続］選択されているので、 キーを押します。

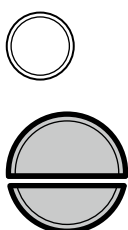
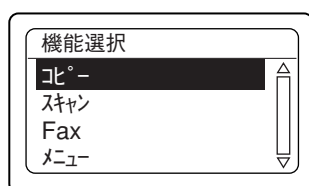
継続
継続
完了

❽ ❻〜❼を繰り返します。全てのファクス番号の入力が終わったら、［完了］を選択し、 キーを押します。

Fax
送信先確認
Fax 番号
電話帳
＊標準

❾ 送信先を確認したいときは、 または キーを使って［送信先確認］を選択し、 キーを押します。

確認が終わったら、 キーを押して［Fax］画面に戻ります。

Fax
送信先確認
Fax 番号
電話帳
＊標準

❿ スタートボタンを押します。カラースタートボタン、モノクロスタートボタンのどちらを押しても送信できますが、モノクロで送信されます。

電話帳から送信先を選択して送信します

電話帳にあらかじめファクス番号を登録しておきます。登録の方法は 78 ページをご覧ください。
送信できる原稿サイズは、A4、レター、リーガルです。リーガルのときは ADF（オートドキュメントフィーダ）に原稿をセットしてください。

機能選択
ｺﾋﾟｰ
ｽｷｬﾝ
Fax
ﾒﾆｭｰ

❶ 操作パネルが機能選択画面を表示していることを確認します。[省電力モード中です] と表示しているときは、スタートボタンを 1 回押し、機能選択画面を表示するまで待ちます。

❷ ADF(オートドキュメントフィーダ) または原稿台に原稿をセットします。原稿のセット方法については、59 ページをご覧ください。

ADF
原稿台

機能選択
ｺﾋﾟｰ
ｽｷｬﾝ
Fax
ﾒﾆｭｰ

❸ または キーを数回押して [Fax] を選択し、 キーを押します。

Fax
電話帳
＊標準
濃度：0
＊ A4

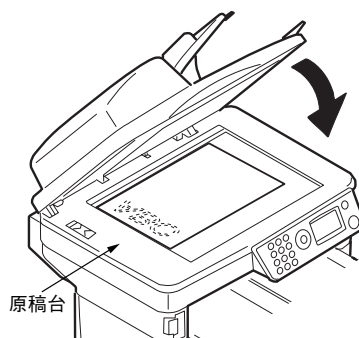
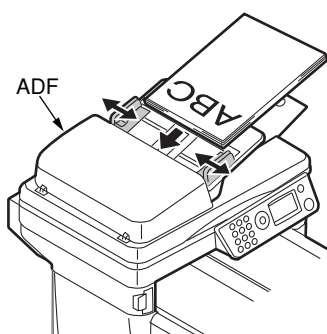
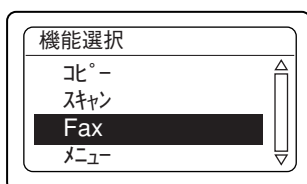
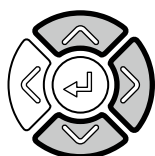
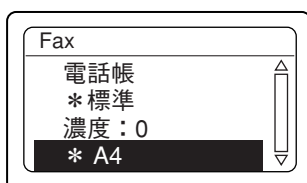
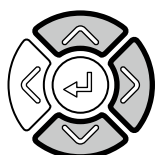
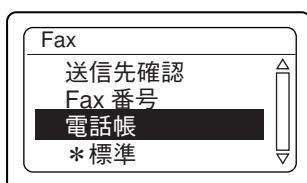
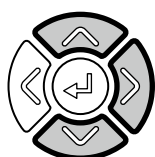
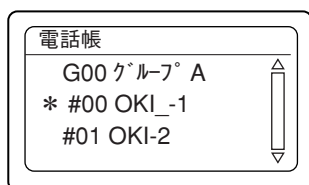
❹ 原稿サイズを設定します。工場出荷時の設定では、A4 サイズになっているので、レター、リーガルの場合は、以下の操作を行います。 または キーを数回押して [*A4] を選択し、 を押します。

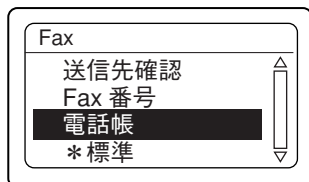
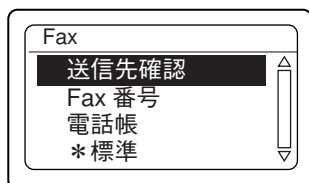
原稿ｻｲｽﾞ
A4
ﾚﾀｰ
ﾘｰｶﾞﾙ

または キーを数回押して適当な原稿サイズを選択し、 を押します。

Fax
送信先確認
Fax 番号
電話帳
＊標準

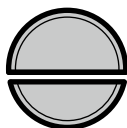
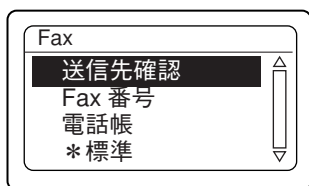
❺ または キーを数回押して [電話帳] を選択し、 キーを押します。

電話帳
G00 ｸﾞﾙｰﾌﾟ A
＊ #00 OKI_-1
#01 OKI-2

❻ グループダイヤル、短縮ダイヤルの順に表示されるので、 または キーを数回押して送信先を選択し、 キーを押します。選択された送信先の左側に［ ＊ ］が表示されます。

Fax
送信先確認
Fax 番号
電話帳
＊標準

❼ ❻を繰り返し、全ての送信先を選択が終わったら、 キーを押します。

Fax
送信先確認
Fax 番号
電話帳
＊標準

❽ 送信先を確認したいときは、 または キーを使って[送信先確認]を選択し、 キーを押します。

確認が終わったら、 キーを押して［Fax］画面に戻ります。

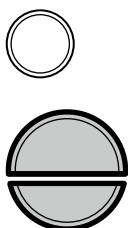
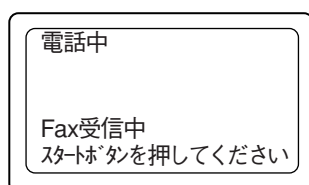
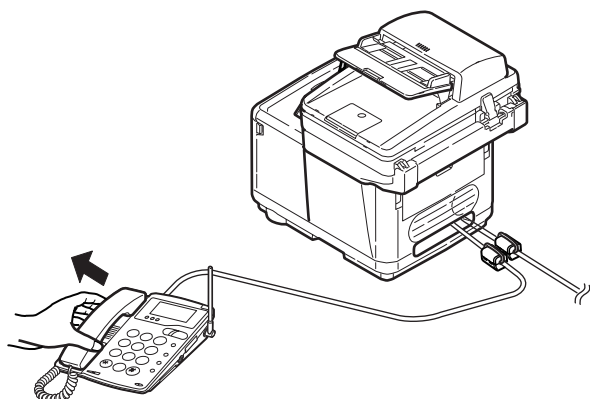
Fax
送信先確認
Fax 番号
電話帳
＊標準

❾ スタートボタンを押します。カラースタートボタン、モノクロスタートボタンのどちらを押しても送信できますが、モノクロで送信されます。

ファクスを受信する

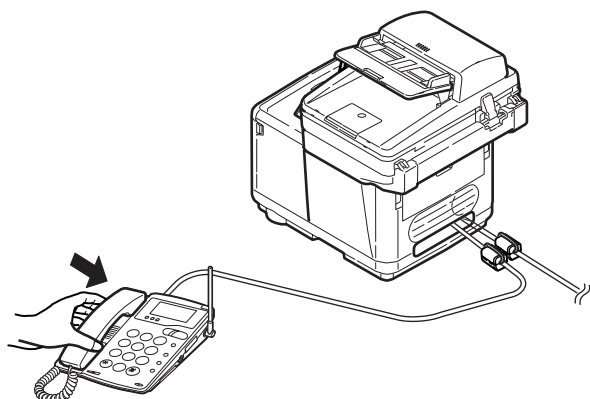
自動でファクスを受信する

工場出荷時は、自動でファクスを受信し印刷するように設定されています。

手動でファクスを受信する

メモ
- 応答待ち時間の設定が短く設定してある場合、受話器を取る前に、自動でファクスを受信してしまうことがあります。
- 常に手動でファクスを受信したい場合は、自動受信を OFF 設定にしてください。詳しい手順は、応用編「常に手動でファクスを受信します」をご覧ください

❶ MFP に接続されている電話の呼び出し音が鳴っている間に、受話器を取ります。

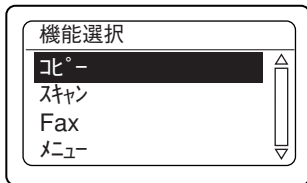
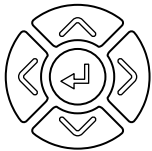
❷ MFP の操作パネルに［Fax 受信中　スタートボタンを押してください］と表示されたら、スタートボタンを押します。

注
ナンバーディスプレイ対応回線に契約している場合、電話機が 1 回鳴った時に受話器を取ると、C3530MFP の操作パネルに「電話中しばらくお待ちください」と表示される場合があります。この場合手動でファクスを受信することができませんので、なるべく 2 回以上鳴ってから受話器を取ってください。

❸ 受話器を戻します。

電話帳を作成します

電話帳には、短縮ダイヤルとグループダイヤルを登録できます。

短縮ダイヤルを登録する

短縮ダイヤルは 100 件登録できます。

❶ 機能選択画面を表示していることを確認します。機能選択画面を表示していないときは、ストップボタンを押し、機能選択画面を表示します。

機能選択
コピー
スキャン
Fax
メニュー

❷ 操作パネルの キーを 3 回押して［メニュー］を選択し、 キーを押します。

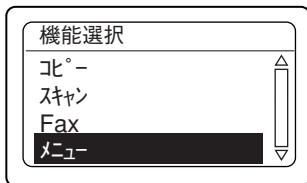
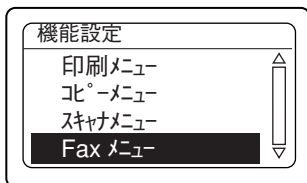
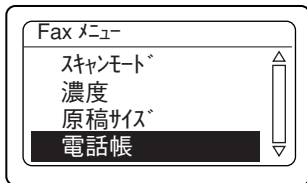
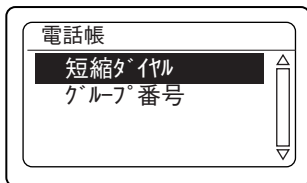
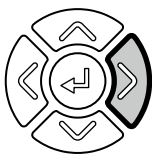
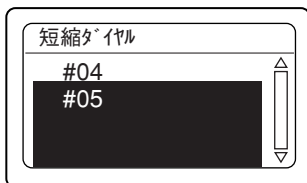
❸ キーを 6 回押して［Fax メニュー］を選択し、 キーを押します。

機能設定
印刷メニュー
コピーメニュー
スキャナメニュー
Fax メニュー

❹ キーを 4 回押して［電話帳］を選択し、 キーを押します。

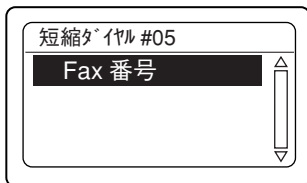
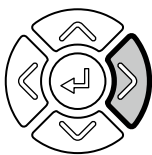
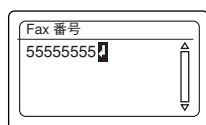
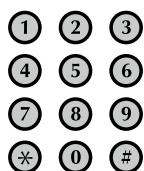
Fax メニュー
スキャンモード
濃度
原稿サイズ
電話帳

❺［短縮ダイヤル］が選択されているので、 キーを押します。

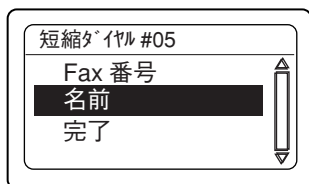
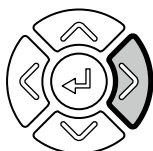
電話帳
短縮ダイヤル
グループ番号

❻ キー または キーを使って短縮ダイヤルを登録したい番号（＃ 00 ～ ＃ 99）を選択し、 キーを押します。

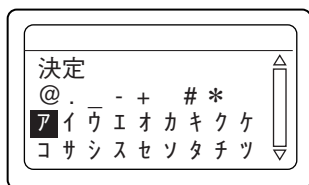
短縮ダイヤル
#04
#05

❼［Fax 番号］が選択されているので、 キーを押します。

短縮ダイヤル #05
Fax 番号

Fax 番号
55555555

❽［Fax 番号］画面が表示されるので、テンキーを使ってファクス番号を入力します。間違って入力した場合は、キーを使って戻り、再入力します。

入力が終わったら、キーを押します。

短縮ﾀﾞｲﾔﾙ #05
Fax 番号
名前
完了

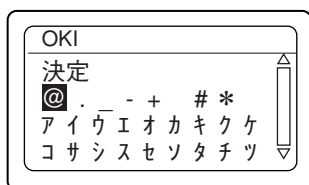
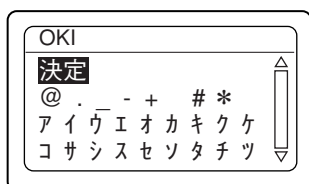
❾［名前］が選択されているので、キーを押します。

決定
@ . _ - + # *
ア イ ウ エ オ カ キ ク ケ
コ サ シ ス セ ソ タ チ ツ

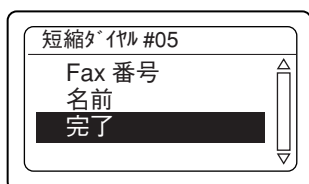
❿ 入力画面を表示するので、キーを 2 回押し、カーソルを文字へ移動します。

OKI
決定
@ . _ - + # *
ア イ ウ エ オ カ キ ク ケ
コ サ シ ス セ ソ タ チ ツ

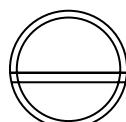
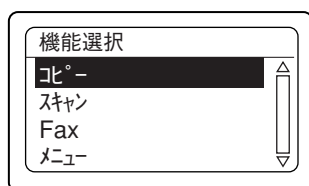
⓫ キーを押して文字を選択し、キーを押して決定します。

⓬ ⓫を繰り返し、［名前］を入力します。

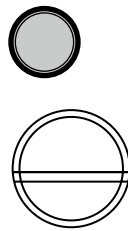
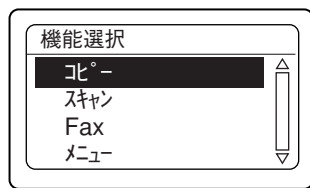
OKI
決定
@ . _ - + # *
ア イ ウ エ オ カ キ ク ケ
コ サ シ ス セ ソ タ チ ツ

⓭ 名前の入力が終わったら、または キーを数回押して、［決定］を選択し、キーを押します。

短縮ﾀﾞｲﾔﾙ #05
Fax 番号
名前
完了

⓮ キーを 1 回押し、［完了］を選択し、キーを押します。

⓯ 続けて登録する場合は、キーを 1 回押して、短縮ダイヤルを登録したい番号（＃ 00 ～ ＃ 99）を選択し、キーを押し❼～⓮を繰り返します。

機能選択
ｺﾋﾟｰ
ｽｷｬﾝ
Fax
ﾒﾆｭｰ

⓰ 登録が終わったら ストップボタンを押して、機能選択画面を表示します。

3
基本的な使い方

短縮ダイヤルに登録してあるファクス番号、名前を変更する

機能選択
コピー
スキャン
Fax
メニュー

❶ 機能選択画面が表示されていることを確認します。機能選択画面を表示していないときは、ストップボタンを押し、機能選択画面を表示します。

機能選択
コピー
スキャン
Fax
メニュー

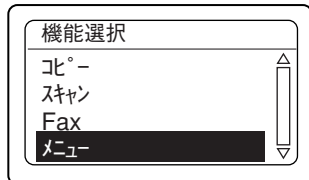
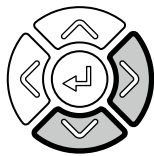
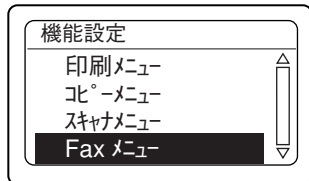
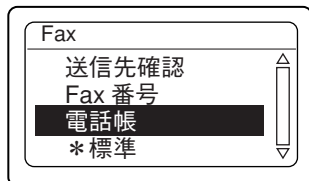
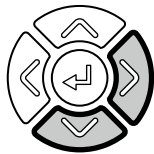
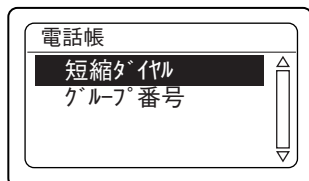
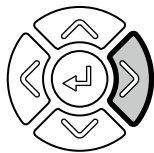
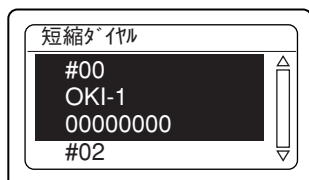
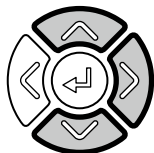
❷ 操作パネルの キーを３回押して［メニュー］を選択し、キーを押します。

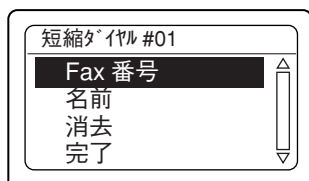
機能設定
印刷メニュー
コピーメニュー
スキャナメニュー
Fax メニュー

❸ キーを６回押して［Fax メニュー］を選択し、キーを押します。

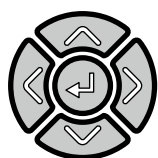
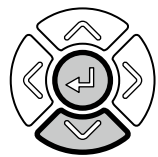
Fax
送信先確認
Fax 番号
電話帳
＊標準

❹ キーを４回押して［電話帳］を選択し、キーを押します。

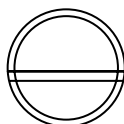
電話帳
短縮ダイヤル
グループ番号

❺ ［短縮ダイヤル］が選択されているので、キーを押します。

短縮ダイヤル
#00
OKI-1
00000000
#02

❻ キーまたは キーを使って変更したい短縮ダイヤルの番号を選択し、キーを押します。

短縮ダイヤル #01
Fax 番号
名前
消去
完了

❼ ファクス番号を変更したい場合は、［Fax 番号］が選択されている事を確認し、キー を押します。

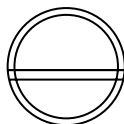
テンキー、キー を使って変更し、キーを押します。

短縮ﾀﾞｲﾔﾙ #01
Fax 番号
名前
消去
完了

❽ 名前を変更したい場合は、キーを 1 回押して［名前］を選択し、キーを押します。キーを使い、変更します。変更が終わったら、［決定］を選択し、キー を押します。

短縮ﾀﾞｲﾔﾙ #05
Fax 番号
名前
消去
完了

❾ キーを数回押し、［完了］を選択し、キーを押します。

機能選択
ｺﾋﾟｰ
ｽｷｬﾝ
Fax
ﾒﾆｭｰ

❿ ストップボタンを押し、機能選択画面画面を表示します。これで短縮ダイヤルの変更は完了です。

短縮ダイヤルの登録を消去する

機能選択
ｺﾋﾟｰ
ｽｷｬﾝ
Fax
ﾒﾆｭｰ

❶ 機能選択画面を表示していることを確認します。機能選択画面を表示していないときは、ストップボタンを押し、機能選択画面を表示します。

機能選択
ｺﾋﾟｰ
ｽｷｬﾝ
Fax
ﾒﾆｭｰ

❷ 操作パネルのキーを 3 回押して［メニュー］を選択し、キーを押します。

機能設定
印刷ﾒﾆｭｰ
ｺﾋﾟｰﾒﾆｭｰ
ｽｷｬﾅﾒﾆｭｰ
Fax ﾒﾆｭｰ

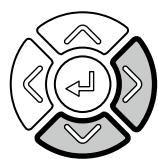
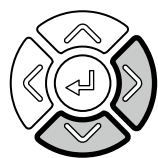
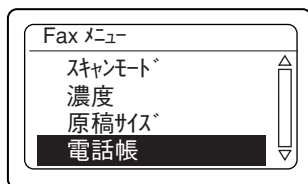
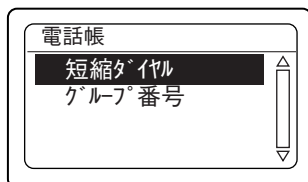
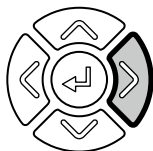
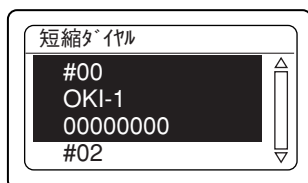
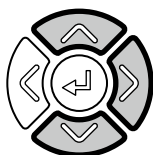
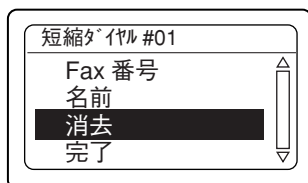
❸ キーを 6 回押して［Fax メニュー］を選択し、キーを押します。

Fax ﾒﾆｭｰ
ｽｷｬﾝﾓｰﾄﾞ
濃度
原稿ｻｲｽﾞ
電話帳

❹ キーを 4 回押して［電話帳］を選択し、 キーを押します。

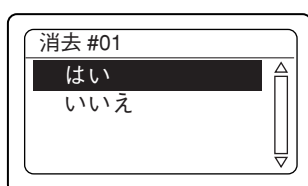
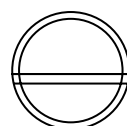
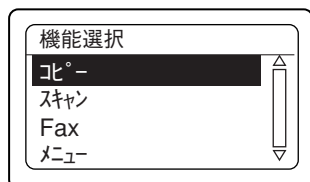
電話帳
短縮ﾀﾞｲﾔﾙ
ｸﾞﾙｰﾌﾟ番号

❺［短縮ダイヤル］が選択されているので、 キーを押します。

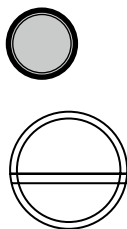
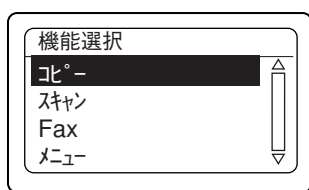
短縮ﾀﾞｲﾔﾙ
#00
OKI-1
00000000
#02

❻ キーまたは キーを使って消去したい短縮ダイヤルの番号を選択し、 キーを押します。

短縮ﾀﾞｲﾔﾙ #01
Fax 番号
名前
消去
完了

❼ キーを 2 回押して［消去］を選択し、 キーを押します。

消去 #01
はい
いいえ

❽ 確認の画面を表示するので、 キーを押し、［はい］を選択し、 キーを押します。

機能選択
ｺﾋﾟｰ
ｽｷｬﾝ
Fax
ﾒﾆｭｰ

❾ ストップボタンを押し、機能選択画面を表示します。

グループダイヤルを登録する

グループダイヤルを使うと、1 度に複数の宛先に送信することができます。
短縮ダイヤルをグループダイヤルに登録します。登録できるグループは 10 グループです。
1 つのグループに登録できる短縮ダイヤルは、100 件です。
グループダイヤルに登録するには、短縮ダイヤルを登録しておく必要があります。

機能選択
コピー
スキャン
Fax
メニュー

❶ 機能選択画面を表示していることを確認します。機能選択画面を表示していないときは、ストップボタンを押し、機能選択画面を表示します。

機能選択
コピー
スキャン
Fax
メニュー

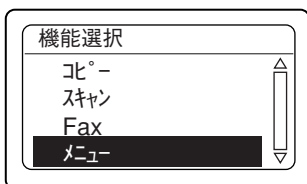
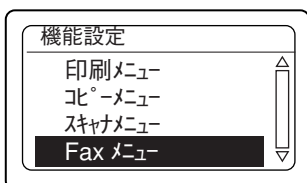
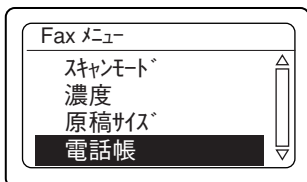
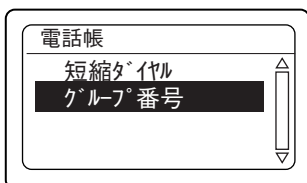
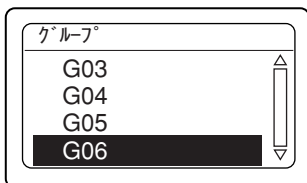
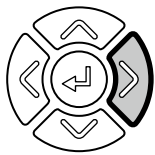
❷ 操作パネルの キーを 3 回押して［メニュー］を選択し、 キーを押します。

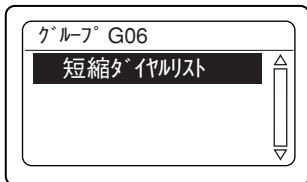
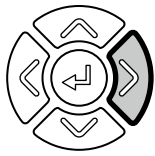
機能設定
印刷メニュー
コピーメニュー
スキャナメニュー
Fax メニュー

❸ キーを 6 回押して［Fax メニュー］を選択し、 キーを押します。

Fax メニュー
スキャンモード
濃度
原稿サイズ
電話帳

❹ キーを 4 回押して［電話帳］を選択し、 キーを押します。

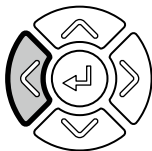
電話帳
短縮ダイヤル
グループ番号

❺ キーを 1 回押して［グループ番号］を選択し、 キーを押します。

グループ
G03
G04
G05
G06

❻ 登録したいグループ（G00 ～ G09）を選択し、 キーを押します。

グループ G06
短縮ダイヤルリスト

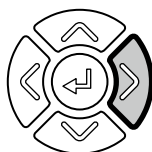
❼［短縮ダイヤルリスト］が選択されているので、 キーを押します。

短縮ﾀﾞｲﾔﾙ
#03
＊ #05
OKI
55555555

❽ または キーを使ってグループに登録したい短縮ダイヤルを選択し、 を押します。短縮ダイヤルの左に ＊を表示します。

❾ ❽を繰り返し、短縮ダイヤルを登録します。

短縮ﾀﾞｲﾔﾙ
＊ #04
OKI Data
444444444
＊ #05 OKI

❿ 登録が終わったら、 キーを押します。

ｸﾞﾙｰﾌﾟ G06
短縮ﾀﾞｲﾔﾙﾘｽﾄ
ｸﾞﾙｰﾌﾟ名
完了

⓫ ［グループ名］が選択されているので、 キーを押します。

決定
@ . _ - + # ＊
ア イ ウ エ オ カ キ ク ケ
コ サ シ ス セ ソ タ チ ツ

⓬ 入力画面を表示するので、 キーを 2 回押し、カーソルを文字へ移動します。

ｸﾞﾙｰﾌﾟ A
決定
@ . _ - + # ＊
ア イ ウ エ オ カ キ ク ケ
コ サ シ ス セ ソ タ チ ツ

⓭ キーを押して文字を選択し、 キーを押して決定します。

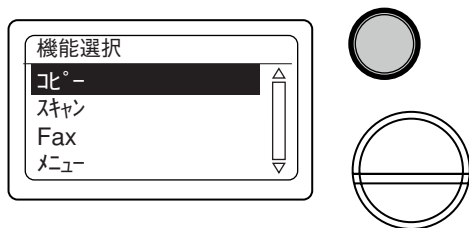
⓮ ⓭を繰り返し、グループ名を入力します。

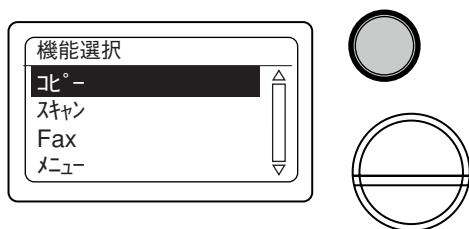
⓯ グループ名の入力が終わったら、 または キーを数回押して、［決定］を選択し、 キーを押します。

ｸﾞﾙｰﾌﾟ G06
短縮ﾀﾞｲﾔﾙﾘｽﾄ
ｸﾞﾙｰﾌﾟ名
完了

⓰ キーを 1 回押し、［完了］を選択し、 キーを押します。

3 基本的な使い方

機能選択
コピー
スキャン
Fax
メニュー

⑰ ストップボタンを押し、機能選択画面を表示します。これで完了です。

グループダイヤルの登録を変更する

機能選択
コピー
スキャン
Fax
メニュー

❶ 機能選択画面が表示されていることを確認します。機能選択画面を表示していないときは、ストップボタンを押し、機能選択画面を表示します。

機能選択
コピー
スキャン
Fax
メニュー

❷ 操作パネルの キーを３回押して［メニュー］を選択し、 キーを押します。

機能設定
印刷メニュー
コピーメニュー
スキャナメニュー
Fax メニュー

❸ キーを６回押して［Fax メニュー］を選択し、 キーを押します。

Fax メニュー
スキャンモード
濃度
原稿サイズ
電話帳

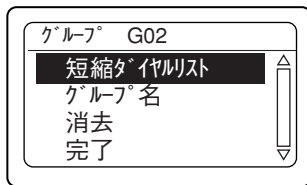
❹ キーを４回押して［電話帳］を選択し、 キーを押します。

電話帳
短縮ダイヤル
グループ番号

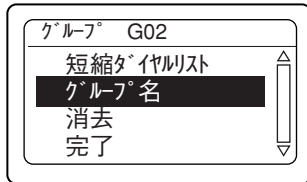
❺ キーを押して「グループ番号」を選択し、 キーを押します。

電話帳
G00 グループ A
G01 グループ B
G02 グループ C
G03 グループ D

❻ キーまたは キーを使って変更したいグループ番号を選択し、 キーを押します。

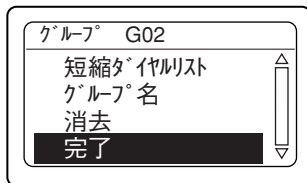
ｸﾞﾙｰﾌﾟ　G02
短縮ﾀﾞｲﾔﾙﾘｽﾄ
ｸﾞﾙｰﾌﾟ名
消去
完了

❼ 短縮ダイヤルリストを変更したい場合は、[短縮ダイヤルリスト] が選択されていることを確認し、キー を押します。

キー を使って登録する短縮ダイヤルを変更し、キーを押します。

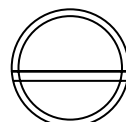
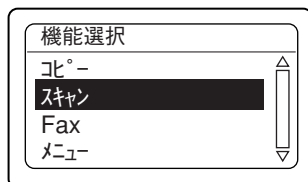
ｸﾞﾙｰﾌﾟ　G02
短縮ﾀﾞｲﾔﾙﾘｽﾄ
ｸﾞﾙｰﾌﾟ名
消去
完了

❽ グループ名を変更したい場合は、キーを 1 回押して [グループ名] を選択し、キーを押します。

キーを使い、グループ名を変更します。変更が終わったら、[決定] を選択し、キーを押します。

ｸﾞﾙｰﾌﾟ　G02
短縮ﾀﾞｲﾔﾙﾘｽﾄ
ｸﾞﾙｰﾌﾟ名
消去
完了

❾ キーを数回押し、[完了] を選択し、キーを押します。

機能選択
ｺﾋﾟｰ
ｽｷｬﾝ
Fax
ﾒﾆｭｰ

❿ ストップボタンを押し、機能選択画面を表示します。これで短縮ダイヤルの変更は完了です。

グループダイヤルの登録を消去する

機能選択
ｺﾋﾟｰ
ｽｷｬﾝ
Fax
ﾒﾆｭｰ

❶ 機能選択画面を表示していることを確認します。機能選択画面を表示していないときは、ストップボタンを押し、機能選択画面を表示します。

機能選択
ｺﾋﾟｰ
ｽｷｬﾝ
Fax
ﾒﾆｭｰ

❷ 操作パネルの キーを 3 回押して [メニュー] を選択し、キーを押します。

機能設定
印刷ﾒﾆｭｰ
ｺﾋﾟｰﾒﾆｭｰ
ｽｷｬﾅﾒﾆｭｰ
Fax ﾒﾆｭｰ

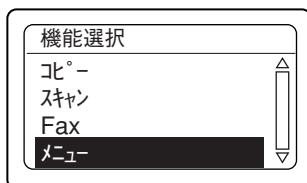
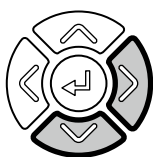
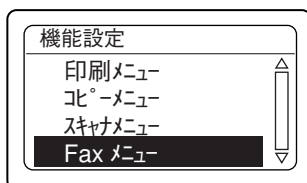
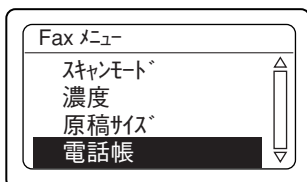
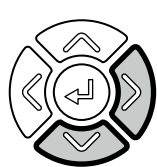
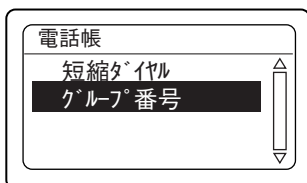
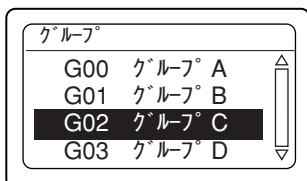
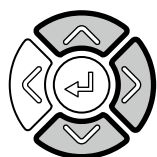
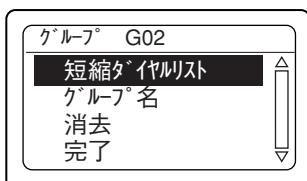
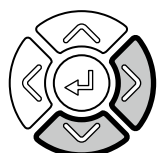
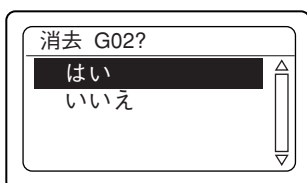
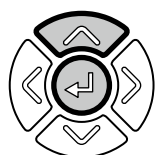
❸ キーを 6 回押して [Fax メニュー] を選択し、キーを押します。

Fax ﾒﾆｭｰ
ｽｷｬﾝﾓｰﾄﾞ
濃度
原稿ｻｲｽﾞ
電話帳

❹ キーを 4 回押して［電話帳］を選択し、 キーを押します。

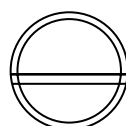
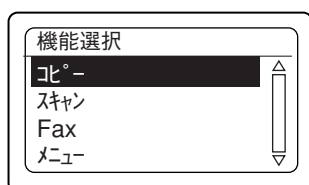
電話帳
短縮ﾀﾞｲﾔﾙ
ｸﾞﾙｰﾌﾟ番号

❺ キー 1 回押して［グループ番号］を選択し、 キーを押します。

ｸﾞﾙｰﾌﾟ
G00 ｸﾞﾙｰﾌﾟA
G01 ｸﾞﾙｰﾌﾟB
G02 ｸﾞﾙｰﾌﾟC
G03 ｸﾞﾙｰﾌﾟD

❻ キーまたは キーを使って消去したいグループ番号を選択し、 キーを押します。

ｸﾞﾙｰﾌﾟ G02
短縮ﾀﾞｲﾔﾙﾘｽﾄ
ｸﾞﾙｰﾌﾟ名
消去
完了

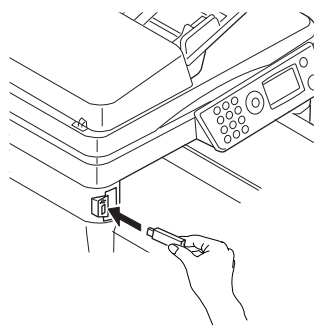
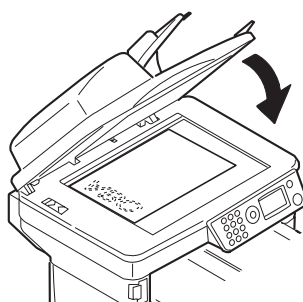
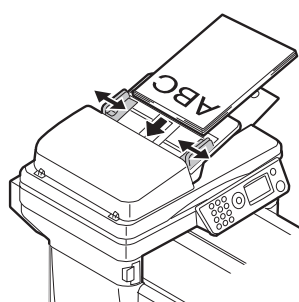
❼ キーを 2 回押して［消去］を選択し、 キーを押します。

消去 G02?
はい
いいえ

❽ 確認の画面を表示するので、 キーを押し、［はい］を選択し、 キーを押します。

機能選択
ｺﾋﾟｰ
ｽｷｬﾝ
Fax
ﾒﾆｭｰ

❾ ストップボタンを押し、機能選択画面を表示します。

スキャン To USB メモリ

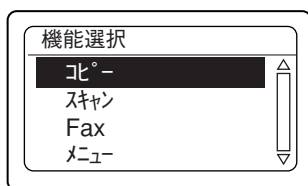
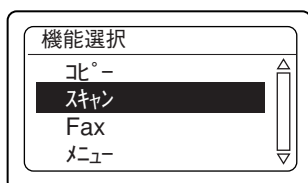
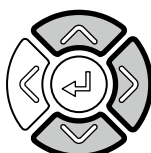
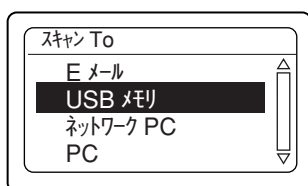
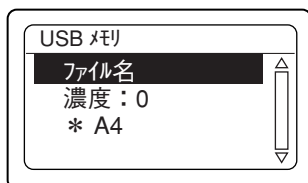
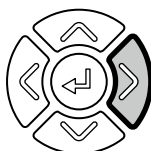
スキャナで読み込んだデータを USB メモリに保存します。

❶ USB メモリを MFP に取り付けます。

❷ 原稿をセットします。原稿のセット方法については、59 ページをご覧ください。

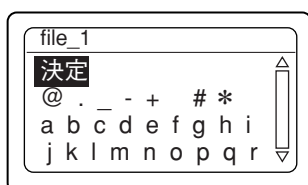
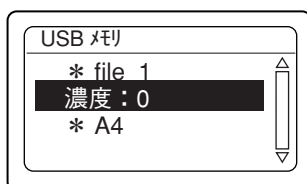
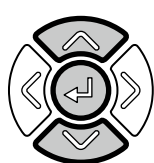
機能選択
コピー
スキャン
Fax
メニュー

❸ 操作パネルが機能選択画面を表示していることを確認します。

機能選択
コピー
スキャン
Fax
メニュー

❹ または キーを使って［スキャン］を選択し、 キーを押します。

スキャン To
E メール
USB メモリ
ネットワーク PC
PC

❺ または キーを使って［USB メモリ］を選択し、 キーを押します。

USB メモリ
ファイル名
濃度：0
＊ A4

❻［ファイル名］が選択されているので、 キーを押します。

file_1
決定
@ . _ - + # ＊
a b c d e f g h i
j k l m n o p q r

❼ 入力画面になるので、 キーを使い、ファイル名を入力します。入力が終わったら、［決定］を選択し、 キーを押します。

USB ﾒﾓﾘ
＊ file_1
濃度：0
＊ A4

❽ 原稿を読み込む濃さを変えたいときは、 または キーを使って［濃度］を選択し、 キーを押します。

濃度
-3
-2
-1
0

❾ または キーを使って適当な数値を選択し、 キーを押します。数値が大きくなるほど濃くなります。

USB ﾒﾓﾘ
＊ file_1
濃度：0
＊ A4

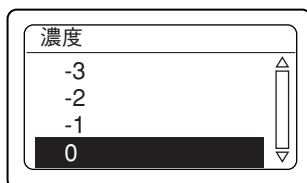
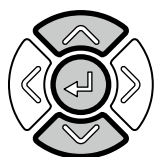
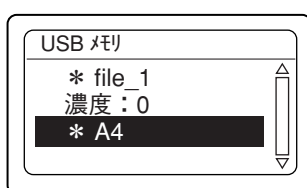
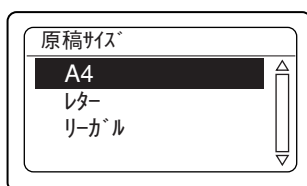
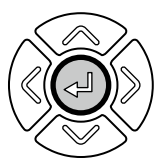
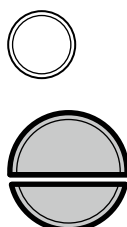
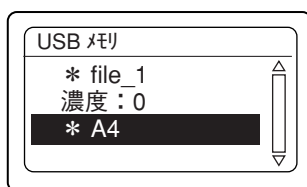
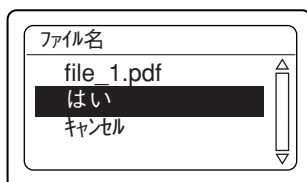
❿ 原稿サイズを変えたいときは、 または キーを使って原稿サイズ（工場出荷時の設定では、A4 になっています。）を選択し、 キーを押します。

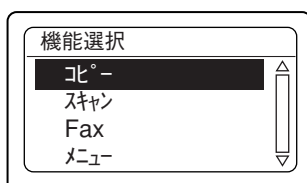
原稿ｻｲｽﾞ
A4
ﾚﾀｰ
ﾘｰｶﾞﾙ

⓫ 適当な原稿サイズを選択し、 キーを押します。

USB ﾒﾓﾘ
＊ file_1
濃度：0
＊ A4

⓬ カラーでスキャンしたいときは、 カラースタートボタン、 モノクロでスキャンしたいときは、モノクロスタートボタンを押します。

ﾌｧｲﾙ名
file_1.pdf
はい
ｷｬﾝｾﾙ

⓭ 左の画面を表示します。［はい］が選択されているので、 キーを押します。キャンセルしたい時は、 キーを押して［キャンセル］を選択し、 キーを押します。

機能選択
ｺﾋﾟｰ
ｽｷｬﾝ
Fax
ﾒﾆｭｰ

⓮ 機能選択画面を表示したら、本体から USB メモリを外します。
これで完了です。

スキャン To E メール

スキャンしたデータを E メールで送ります。

準備すること

初めてスキャン To E メール機能を使うときは、必ず以下の設定を行ってください。2 回目以降は設定する必要はありません。

❶ MFP の電源を入れます。

機能選択
コピー
スキャン
Fax
メニュー

❷ 操作パネルの ﹀ キーを 3 回押し、[メニュー] を選択し、⏎ キーを押します。

機能選択
装置情報
装置情報印刷
管理者用メニュー
印刷メニュー

❸ ﹀ キーを 2 回押し、[管理者用メニュー] を選択し、⏎ キーを押します。

管理者用メニュー
パスワード入力

❹「パスワード入力」と数秒表示した後、パスワード入力画面になるので、次の方法で [aaaaaa] と入力します。

メモ [aaaaaa] は工場出荷時に設定されているパスワードです。

*
決定
a b c d e f g h i
j k l m n o p q r
s t u v w x y z

❺ ﹀ を 2 回押し、[a] を選択し、⏎ を押します。左のような画面になります。

* * * * * *
決定
a b c d e f g h i
j k l m n o p q r
s t u v w x y z

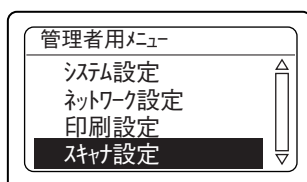
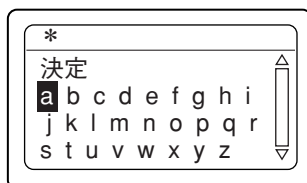
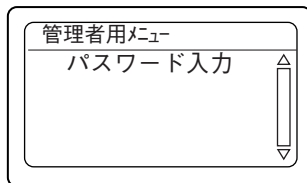
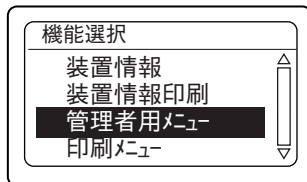
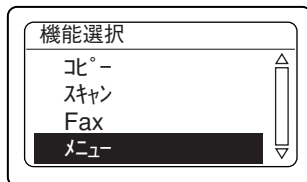
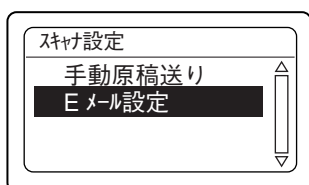
❻ 続けて、⏎ キーを 5 回押します。（左のような画面になります。* が 6 個表示されました。）

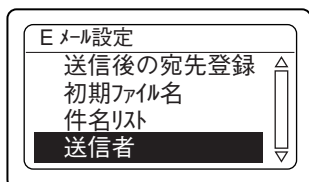
* * * * * *
決定
a b c d e f g h i
j k l m n o p q r
s t u v w x y z

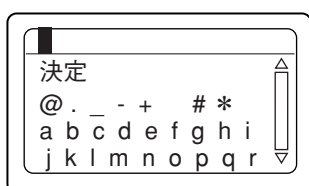
❼ ︿ を 1 回押して [決定] を選択し、⏎ キーを押します。

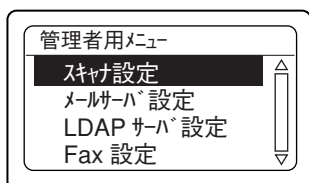
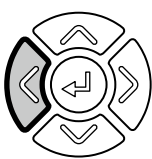
管理者用メニュー
システム設定
ネットワーク設定
印刷設定
スキャナ設定

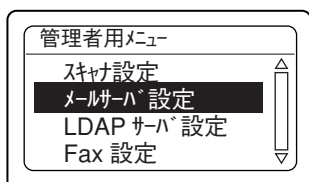
❽ 左の画面を表示するので、﹀ キーを数回押して [スキャナ設定] を選択し、⏎ キーを押します。

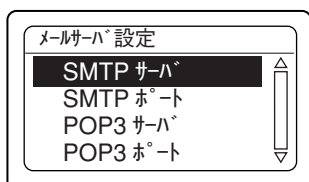
ｽｷｬﾅ設定
手動原稿送り
E ﾒｰﾙ設定

❾ キーを 1 回押して [E メール設定] を選択し、 キーを押します。

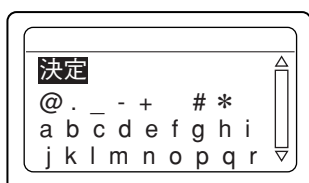
E ﾒｰﾙ設定
送信後の宛先登録
初期ﾌｧｲﾙ名
件名ﾘｽﾄ
送信者

❿ または キーを使って [送信者] を選択し、 キーを押します。

決定
@ . _ - + # *
a b c d e f g h i
j k l m n o p q r

⓫ 入力画面になるので、本機のメールアドレスを入力します。入力が終わったら、 または キーを使って [決定] を選択し、 を押します。

管理者用ﾒﾆｭｰ
ｽｷｬﾅ設定
ﾒｰﾙｻｰﾊﾞ設定
LDAP ｻｰﾊﾞ設定
Fax 設定

⓬ キーを 2 回押して [管理者用メニュー] 画面を表示します。

管理者用ﾒﾆｭｰ
ｽｷｬﾅ設定
ﾒｰﾙｻｰﾊﾞ設定
LDAP ｻｰﾊﾞ設定
Fax 設定

⓭ または キーを使って [メールサーバ設定] を選択し、 キーを押します。

ﾒｰﾙｻｰﾊﾞ設定
SMTP ｻｰﾊﾞ
SMTP ﾎﾟｰﾄ
POP3 ｻｰﾊﾞ
POP3 ﾎﾟｰﾄ

⓮ [SMTP サーバ] が選択されているので、 キーを押します。

決定
@ . _ - + # *
a b c d e f g h i
j k l m n o p q r

⓯ 入力画面になるので、本機が接続するメールサーバ名か、メールサーバの IP アドレスを入力します。入力が終わったら、 または キーを押して [決定] を選択し、 を押します。

機能選択
コピー
スキャン
Fax
メニュー

⑯ ストップボタンを押し、機能選択画面を表示します。

スキャン To E メール

❶ 原稿をセットします。原稿のセット方法は、59 ページをご覧ください。

❷ 操作パネルが機能選択画面を表示していることを確認します。

機能選択
コピー
スキャン
Fax
メニュー

❸ または キーを使って［スキャン］を選択し、 キーを押します。

機能選択
コピー
スキャン
Fax
メニュー

❹［E メール］が選択されているので、 キーを押します。

スキャナ To
E メール
ネットワーク PC
PC

❺「宛先」が選択されているので、 キーを押します。

E メール
アドレス確認
返信先アドレス
宛先
件名

❻ または キーを使って［直接入力］を選択し、 キーを押します。

アドレス設定
アドレス帳
直接入力
番号
LDAP

❼ 入力画面になるので、 キーを使い、E メールアドレスを入力します。入力が終わったら、［ 決定 ］を選択し、 キーを押します。

決定
@ . _ - + #
ア イ ウ エ オ カ キ ク ケ
コ サ シ ス セ ソ タ チ ツ

❽ 宛先を追加したい場合は、継続を選択し、入力します。全ての宛先の入力が終わった場合は、完了を選択し、 キーを押します。

❾ 宛先を確認したい場合は、 キーを数回押して［アドレス確認］を選択し、 キーを押します。確認が終わったら、 キーを押し、［E メール］画面に戻ります。

❿ または キーを使って［件名］を選択し、 キーを押します。

⓫ または キーを使って［直接入力］を選択し、 キーを押します。

⓬ 入力画面になるので、 キーを使い、件名を入力します。入力が終わったら、［決定］を選択し、 キーを押します。

⓭ または キーを使って［ファイル名］を選択し、 を押します。

⓮ 入力画面になるので、 キーを使い、ファイル名を入力します。入力が終わったら、［決定］を選択し、 キーを押します。

⓯ 原稿を読み込む濃さを変えたいときは、 または キーを使って［濃度］を選択し、 キーを押します。

⑯ または キーを使って適当な数値を選択し、 キーを押します。数値が大きくなるほど濃くなります。

⑰ 原稿サイズを変えたいときは、 または キーを使って原稿サイズ（工場出荷時の設定では、A4 になっています。）を選択し、 キーを押します。

⑱ 適当な原稿サイズを選択し、 キーを押します。

⑲ カラーでスキャンしたいときは、 カラースタートボタン、モノクロでスキャンしたいときは、 モノクロスタートボタンを押します。これで完了です。

スキャン To ネットワーク PC

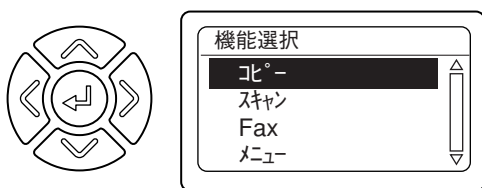
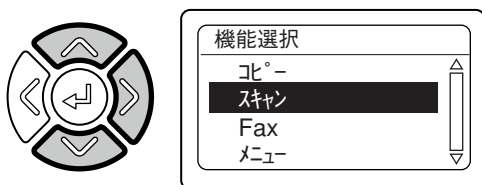
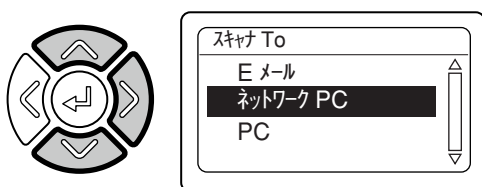
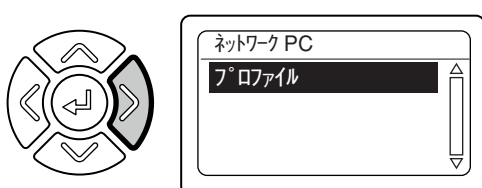
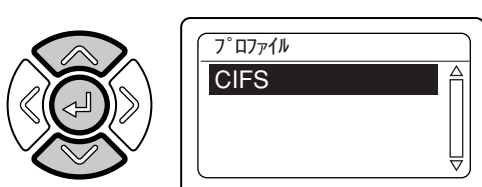
スキャンしたデータをネットワーク上のコンピュータに保存します。

準備すること

スキャン To ネットワーク PC を実行する前に、あらかじめプロファイルを作成しておく必要があります。
プロファイルの作成方法は、応用編 3 章「スキャンしてサーバに転送したい (スキャン To FTP)」または「スキャンして Windows の共有フォルダに転送したい (スキャン To CIFS)」を参照してください。

注 Windows Vista ではサポート対象外となります。

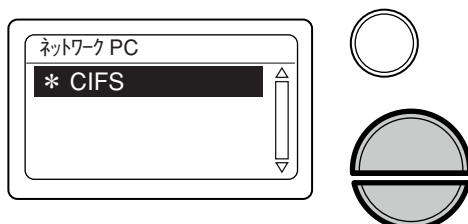
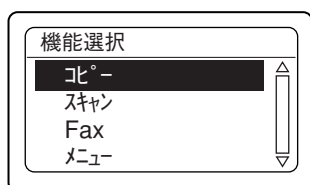
スキャン To ネットワーク PC

1. 原稿をセットします。原稿のセット方法は、59 ページをご覧ください。
2. 操作パネルが機能選択画面を表示していることを確認します。
3. または キーを使って [スキャン] を選択し、 キーを押します。
4. または キーを使って [ネットワーク PC] を選択し、 キーを押します。
5. [プロファイル] が選択されているので、 キーを押します。
6. または キーを使って適当なプロファイルを選択し、 キーを押します。
7. カラーでスキャンしたいときは、 カラースタートボタン、モノクロでスキャンしたいときは、 モノクロスタートボタンを押します。

機能選択
コピー
スキャン
Fax
メニュー

スキャナ To
E メール
ネットワーク PC
PC

ネットワーク PC
プロファイル

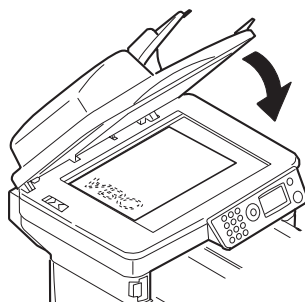
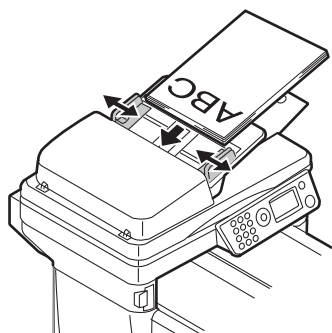
プロファイル
CIFS

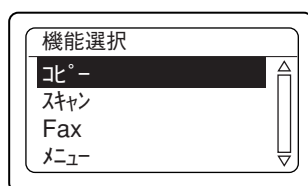
ネットワーク PC
＊ CIFS

機能選択
コピー
スキャン
Fax
メニュー

❽ 正常に終了すると、機能選択画面を表示します。

コピー機として使います

コピーします

❶ 原稿をセットします。原稿のセット方法は、59 ページをご覧ください

❷ 操作パネルが機能選択画面になっていることを確認します。

機能選択
ｺﾋﾟｰ
ｽｷｬﾝ
Fax
ﾒﾆｭｰ

❸ キーまたは キーを使って［コピー］を選択します。

❹ カラーでコピーする場合は、 カラースタートボタンを押します。

モノクロでコピーする場合は、 モノクロスタートボタンを押します。

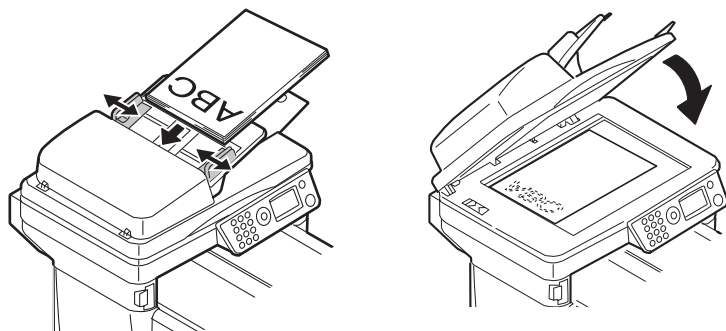
1 部コピーされます。

複数部コピーしたいとき

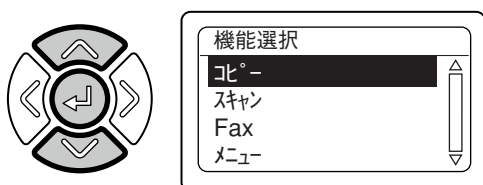
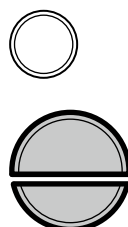
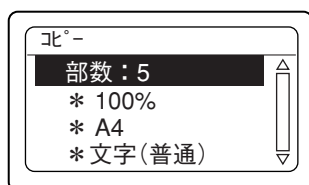
❶ 原稿をセットします。原稿のセット方法は、59 ページをご覧ください

ABC

機能選択
コピー
スキャン
Fax
メニュー

❷ 操作パネルが機能選択画面になっていることを確認します。

機能選択
コピー
スキャン
Fax
メニュー

❸ キーまたは キーを使って［コピー］を選択し、 キーを押します。

コピー
部数：1
＊ 100%
＊ A4
＊文字（普通）

❹［部数］が選択されているので、テンキーを使って、コピーする枚数を入力します。

1 2 3
4 5 6
7 8 9
＊ 0 #

コピー
部数：5
＊ 100%
＊ A4
＊文字（普通）

❺ カラーでコピーする場合は、 カラースタートボタンを押します。

モノクロでコピーする場合は、 モノクロスタートボタンを押します。

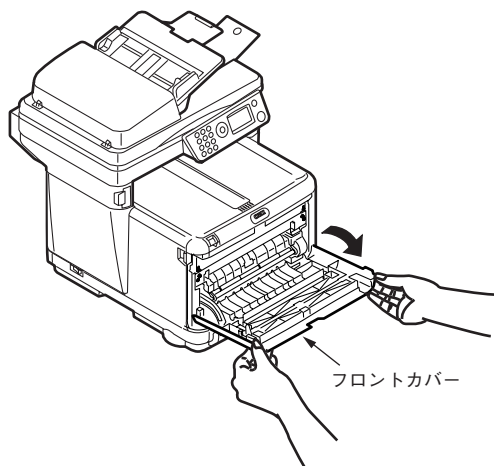
4 困ったとき

紙づまりになったとき

紙づまりが発生すると、本機の操作パネル画面に下のように表示されます。参照ページの手順に従って、つまった用紙を取り除いてください。

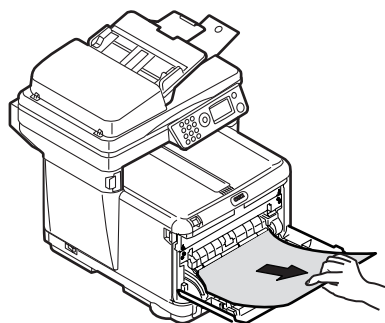
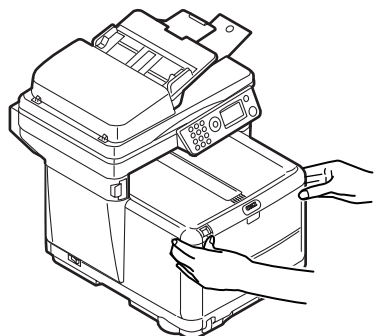
［手差しトレイを確認してください / 用紙ジャム］ … このページをご覧ください。
［フロントカバーを開けてください / 用紙ジャム］ … このページをご覧ください。
［トップカバーを開けてください / 用紙ジャム］ … 101 ページをご覧ください。
［ADF カバーを開けてください /ADF 用紙ジャム］ … 108 ページをご覧ください。

［手差しトレイを確認してください / 用紙ジャム］と表示しているとき

［用紙サイズエラー］の場合、用紙が自動的に排出されることがあります。この場合は、フロントカバーを開閉するとエラーは解除されます。

フロントカバー

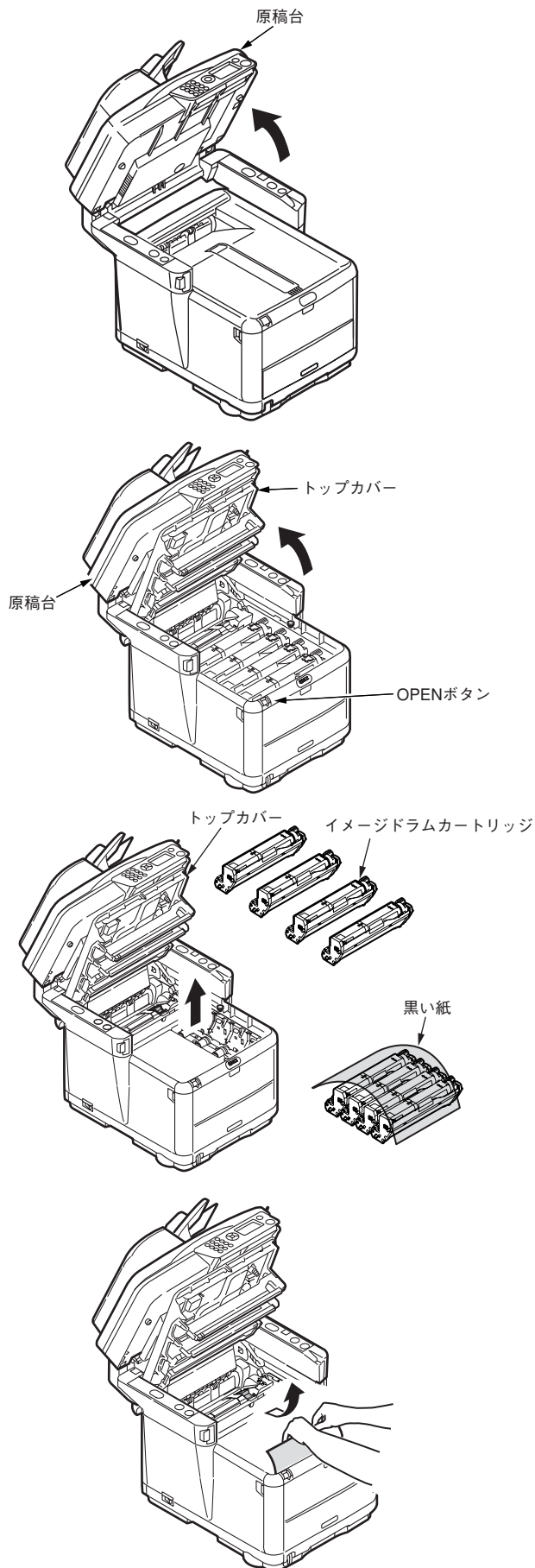
❶ フロントカバーの両端を持ち、手前に開けます。

［フロントカバーを開けてください / 用紙ジャム］と表示しているとき

用紙の先端が見えている場合

❶ つまった用紙を手前に引き出します。

❷ フロントカバーを閉じます。

これで完了です。

［トップカバーを開けてください / 用紙ジャム］と表示しているとき

用紙の先端が見えていない場合

❶ 原稿台を持ち上げます。

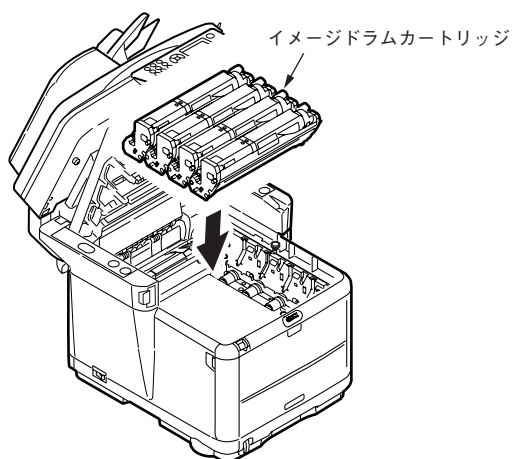
❷ OPEN ボタンを押し、トップカバーを開けます。

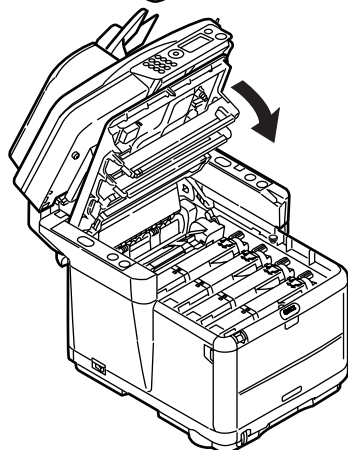
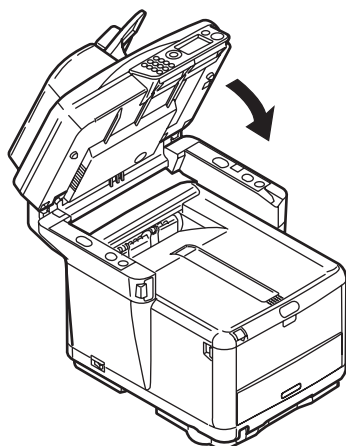
❸ イメージドラムカートリッジ（4 個）を取り出し、平らなテーブルの上に置きます。

❹ 取り出したイメージドラムカートリッジに黒い紙をかぶせます。

注

- イメージドラム（緑の筒の部分）は、非常に傷つきやすいため取り扱いには十分注意してください。
- イメージドラムカートリッジは直射日光や強い光（約 1500 ルクス以上）に当てないでください。室内の照明の下でも、5 分間以上は放置しないでください。

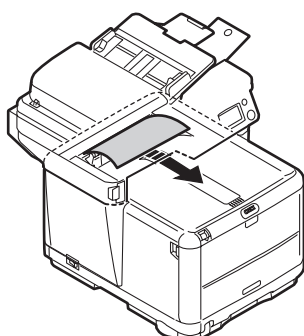
❺ つまった用紙をゆっくり引き出します。

イメージドラムカートリッジ

❻ イメージドラムカートリッジ(4個)を戻します。

❼ トップカバーを閉じます。

❽ 原稿台を元の位置に戻します。原稿台を上から押さえ、プリンタ部に固定します。

これで完了です。

排出口から用紙が見えている時

⚠注意	やけどのおそれがあります。	

定着器ユニットは高温になっています。手を触れないように十分注意してください。熱いときは無理をせず、少し冷めるまで待ってから用紙を取ってください。

❶ 矢印の方向に引き出します。

これで完了です。

排出口から用紙が見えていない時

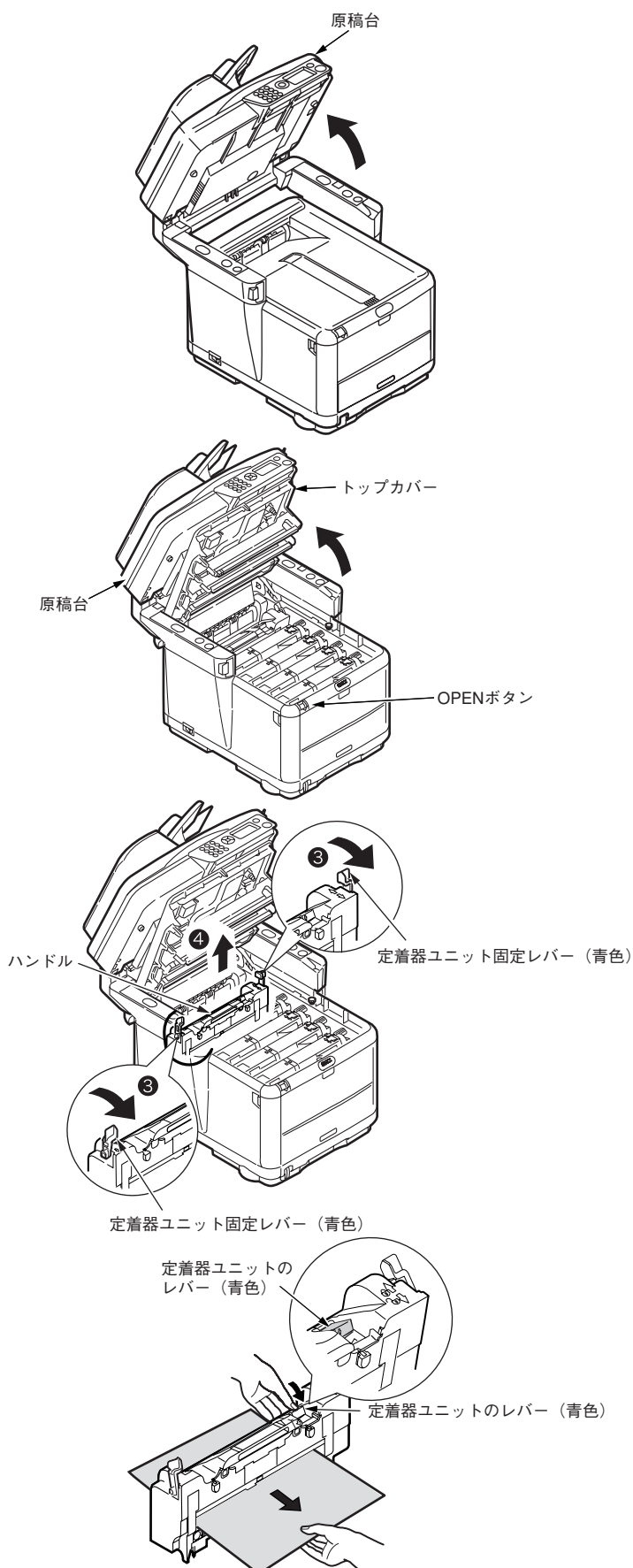
⚠注意	やけどのおそれがあります。

定着器ユニットは高温になっています。手を触れないように十分注意してください。熱いときは無理をせず、少し冷めるまで待ってから用紙を取ってください。

原稿台

❶ 原稿台を持ち上げます。

トップカバー
原稿台
OPENボタン

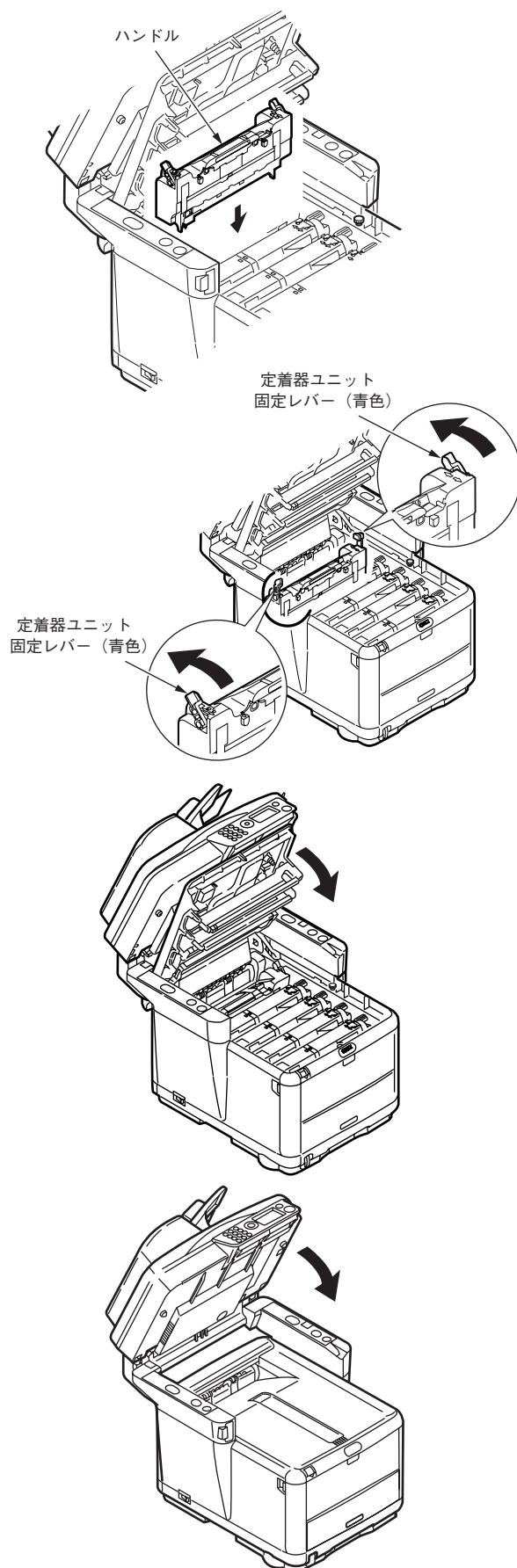
❷ OPEN ボタンを押し、トップカバーを開けます。

ハンドル
定着器ユニット固定レバー（青色）
定着器ユニット固定レバー（青色）

❸ 定着器ユニット固定レバー（青色、2ヶ所）を矢印の方向へ起こします。

❹ ハンドルを持ち、定着器ユニットを取り出し、平らなテーブルの上に置きます。

注 用紙がつまっていて、定着器を取り出せない場合は、固定レバーを奥側に倒し、その他の場合（105 ページ）へお進みください。

定着器ユニットのレバー（青色）
定着器ユニットのレバー（青色）

❺ 定着器ユニットのレバー（青色）を矢印の方向に押しながら、つまった用紙を必ず矢印方向（手前方向）へゆっくり引き出します。

ハンドル

❻ ハンドルを持ち、定着器ユニットをプリンタの中へ静かに戻します。

定着器ユニット
固定レバー（青色）

❼ 定着器ユニット固定レバー（青色、２ヶ所）を奥側に倒し、固定します。

定着器ユニット
固定レバー（青色）

❽ トップカバーを閉じます。

❾ 原稿台を元の位置に戻します。原稿台を上から押さえ、プリンタ部に固定します。

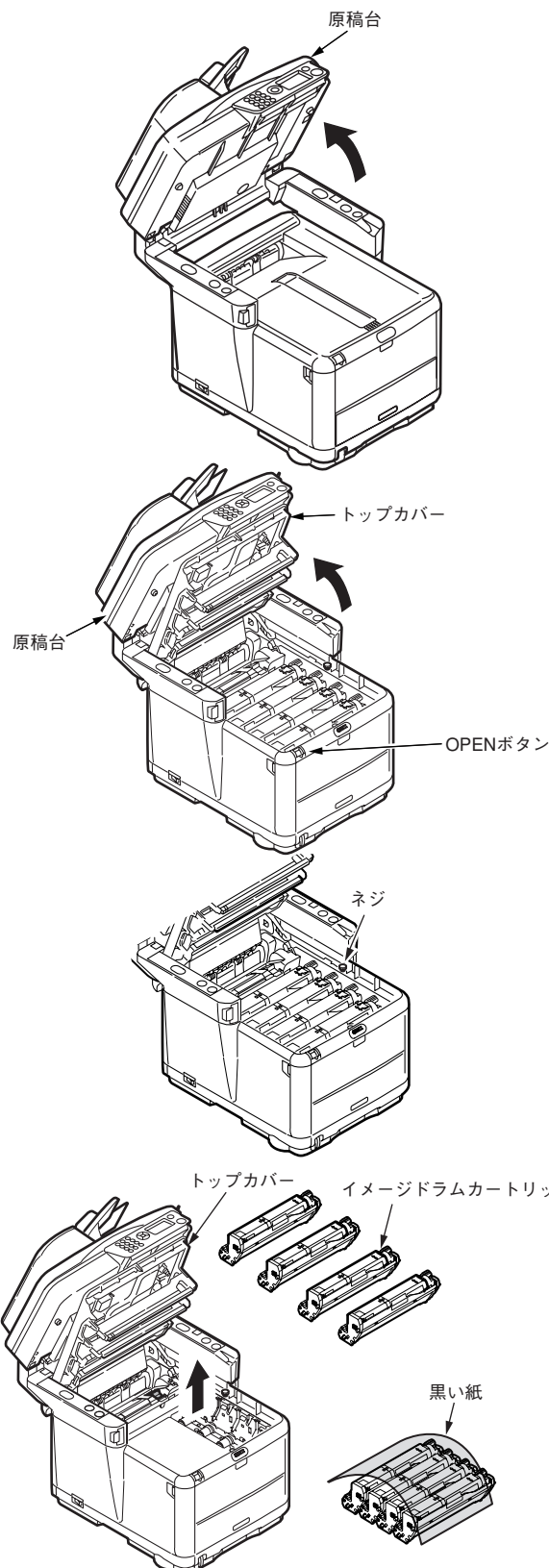
これで完了です。

注 定着器ユニット部のつまった用紙を取り除いた後は、定着器ユニット内部に未定着のトナーが残っていることがあるため、設定内容ページ印刷（「設定内容ページ印刷をします」」（26 ページ））、白紙等を数回印刷してください。

その他の場合

⚠注意	やけどのおそれがあります。

定着器ユニットは高温になっています。手を触れないように十分注意してください。熱いときは無理をせず、少し冷めるまで待ってから用紙を取ってください。

定着器が取り出せない場合や、用紙を取り除いても紙づまりエラーが解除されない場合は、以下の手順でつまった用紙を取り除きます。

❶ 原稿台を持ち上げます。

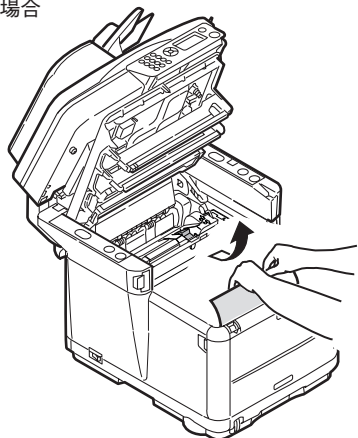
❷ OPEN ボタンを押し、トップカバーを開けます。

❸ ネジに手を触れて静電気を逃がします。

❹ イメージドラムカートリッジ（4 個）を取り出し、平らなテーブルの上に置きます。

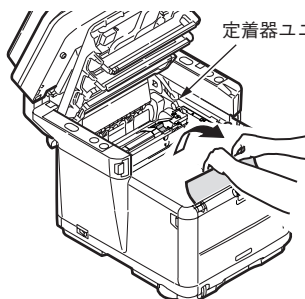
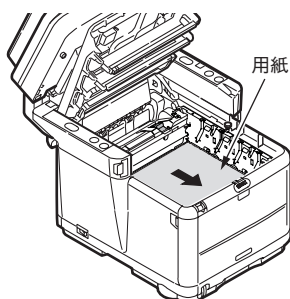
❺ 取り出したイメージドラムカートリッジに黒い紙をかぶせます。

注

- イメージドラム（緑の筒の部分）は、非常に傷つきやすいため取り扱いには十分注意してください。
- イメージドラムカートリッジは直射日光や強い光（約 1500 ルクス以上）に当てないでください。室内の照明の下でも、5 分間以上は放置しないでください。

❻ つまっている用紙を矢印の方向（装置の内部）へゆっくり引き出します。

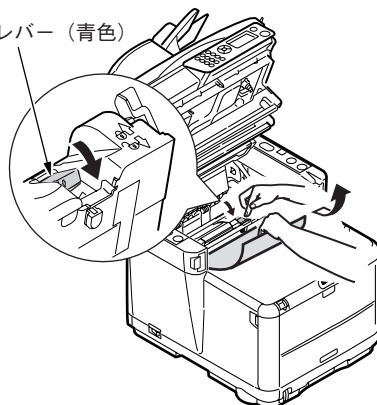
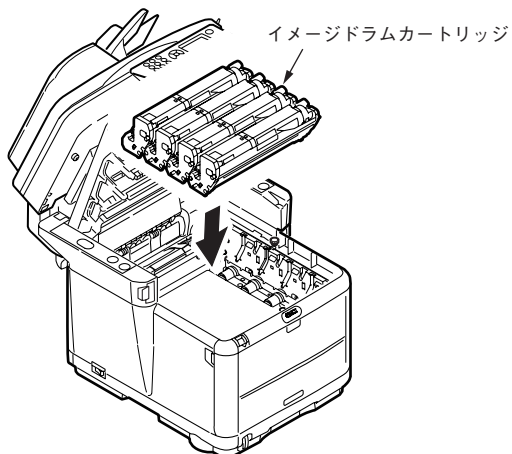
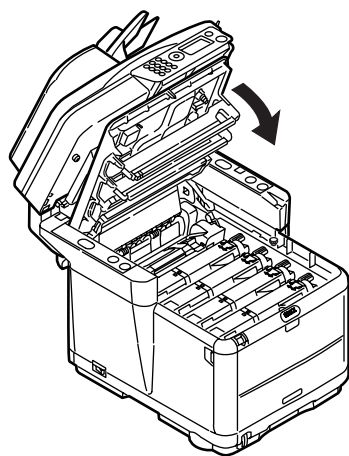
用紙先端が見えている場合

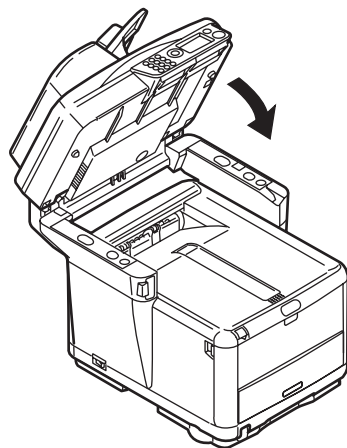
用紙の先端も後端も見えない場合

用紙

定着器ユニット

つまっている用紙を矢印方向にずらしてから、矢印の方向へゆっくり引き出します。

用紙の後端が見えている場合

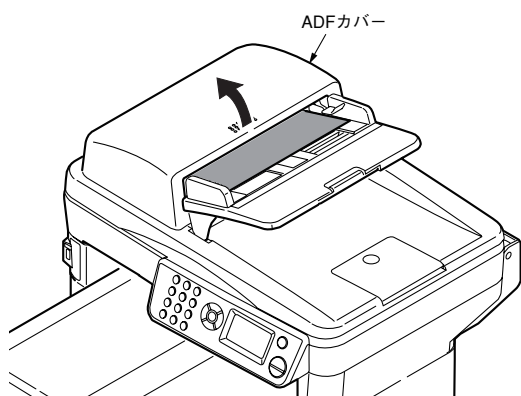
定着器ユニットのレバー（青色）

定着器ユニットのレバー（青色）を矢印方向に押しながら、つまっている用紙を矢印の方向へゆっくり引き出します。

イメージドラムカートリッジ

❼ イメージドラムカートリッジ(4個)を戻します。

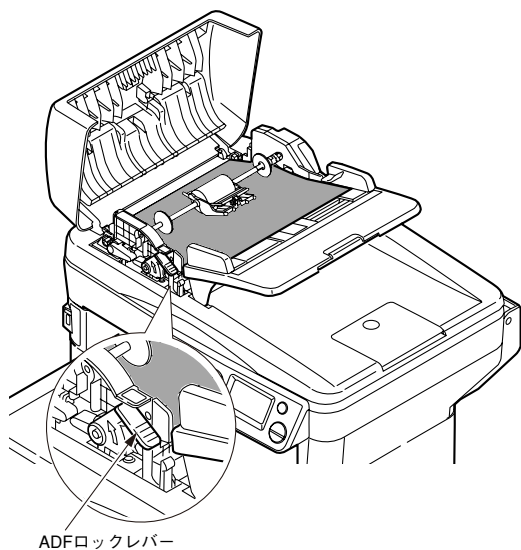
❽ トップカバーを閉じます。

❾ 原稿台を元の位置に戻します。原稿台を上から押さえ、プリンタ部に固定します。

これで完了です。

［ADF カバーを開けてください /ADF 用紙ジャム］と表示しているとき

ADFカバー

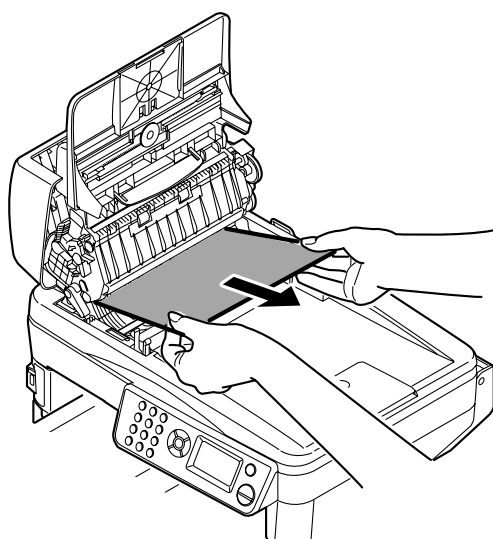
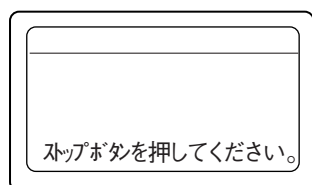
❶ ADF（オートドキュメントフィーダ）のカバーを開けます。

ADFロックレバー

❷ ADF ロックレバーをつまみ、原稿トレイを起こします。

❸ つまった用紙を矢印の方向にゆっくりに引き抜きます。

注 素早く引き抜くと、装置が故障する恐れがあります。

❹ 原稿トレイを元の位置に戻します。

❺ ADF のカバーを閉じます。

ｽﾄｯﾌﾟﾎﾞﾀﾝを押してください。

❻ ストップボタンを押します。

これで完了です。

表示されるメッセージ一覧

操作パネルに表示されるメッセージ	説明
RAM ﾁｪｯｸ中です nnn%	RAM をチェックしています。チェック済みの容量を　%で表示します。
PU Flash Error	電源を再投入してもエラーメッセージを表示している場合は、お客様相談センターに連絡してください。
Communication Error	電源を再投入してもエラーメッセージを表示している場合は、お客様相談センターに連絡してください。
しばらくお待ちください ﾈｯﾄﾜｰｸ初期化中です	ネットワークを初期化しています。
PIN を入力してください	PIN ID を入力してください。
ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ入力	管理者メニューに入るためのパスワードを入力してください。
色調整中です	色ずれ補正中です。
省電力ﾓｰﾄﾞ中です	装置が省電力モードになっています。
ｱｸｾｽ制御 有効	Access Control 機能が有効になりました。
ｱｸｾｽ制御 無効	Access Control 機能が無効になりました。
しばらくお待ちください 原稿を除去しています	原稿を強制的に排出しています。
[ｶﾗｰ] ｲﾒｰｼﾞﾄﾞﾗﾑ交換準備 ｽﾀｰﾄﾎﾞﾀﾝを押してください	イメージドラムの寿命が近づいています。 イメージドラム寿命エラーを表示するまでは印刷できます。
ﾍﾞﾙﾄを交換してください ｽﾀｰﾄﾎﾞﾀﾝを押してください	転写ベルトが寿命になりました。エラーメッセージを消すには、スタートボタンを押してください。
[ｶﾗｰ] ﾄﾅｰ不足 ｽﾀｰﾄﾎﾞﾀﾝを押してください	トナーが少なくなっています。エラーメッセージを消すには、スタートボタンを押してください。
定着器を交換してください ｽﾀｰﾄﾎﾞﾀﾝを押してください	定着器が寿命になりました。エラーメッセージを消すには、スタートボタンを押してください。
Non OEM [ｶﾗｰ] ﾄﾅｰ ｽﾀｰﾄﾎﾞﾀﾝを押してください	トナーカートリッジが純正品ではありません。エラーメッセージを消すには、スタートボタンを押してください。
他社装置用ﾄﾅｰです [ｶﾗｰ] ｽﾀｰﾄﾎﾞﾀﾝを押してください	トナーカートリッジが純正品ではありません。エラーメッセージを消すには、スタートボタンを押してください。

操作パネルに表示されるメッセージ	説明
[ｶﾗｰ] ﾄﾅｰｶｰﾄﾘｯｼﾞが認識できません ｽﾀｰﾄﾎﾞﾀﾝを押してください	トナーカートリッジが純正品ではありません。エラーメッセージを消すには、スタートボタンを押してください。
[ｶﾗｰ] ﾄﾅｰが正しくありません ｽﾀｰﾄﾎﾞﾀﾝを押してください	トナーカートリッジが純正品ではありません。エラーメッセージを消すには、スタートボタンを押してください。
[ｶﾗｰ] 廃棄ﾄﾅｰﾌﾙ ﾄﾅｰを交換してください ｽﾀｰﾄﾎﾞﾀﾝを押してください	廃棄トナーがいっぱいになりました。エラーメッセージを消すには、スタートボタンを押してください。
[ｶﾗｰ] ﾄﾅｰ無し ｽﾀｰﾄﾎﾞﾀﾝを押してください	トナーがなくなりました。エラーメッセージを消すには､スタートボタンを押してください。
[ｶﾗｰ] ｲﾒｰｼﾞﾄﾞﾗﾑ寿命 ｽﾀｰﾄﾎﾞﾀﾝを押してください	イメージドラムが寿命になりました。エラーメッセージを消すには、スタートボタンを押してください。
ﾍﾞﾙﾄﾕﾆｯﾄ交換準備 ｽﾀｰﾄﾎﾞﾀﾝを押してください	ベルトユニットの寿命が近づきました。エラーメッセージを消すには、スタートボタンを押してください。
定着器の寿命が近づいています ｽﾀｰﾄﾎﾞﾀﾝﾎﾞﾀﾝを押してください	定着器の寿命が近づきました。エラーメッセージを消すには、スタートボタンを押してください。
濃度調整中です	自動濃度補正中です。
[ﾄﾚｲ] に用紙がありません ｽﾀｰﾄﾎﾞﾀﾝを押してください	用紙カセットに用紙がありません 。
電話帳 未登録	電話帳に何も登録されていません。
ｱﾄﾞﾚｽ帳 未登録	アドレス帳に何も登録されていません。
ﾌｧｲﾙｼｽﾃﾑ ｱｸｾｽｴﾗｰ <nnn> ｽﾀｰﾄﾎﾞﾀﾝを押してください	ファイルシステムエラーが発生しました。エラーメッセージを消すには、スタートボタンを押してください。
しばらくお待ちください 再起動しています	装置を再起動しています。
ｼｬｯﾄﾀﾞｳﾝ中です	装置をシャットダウンしています。
電源を切ってください シャットダウン完了	装置がシャットダウン完了したので、電源を切ってください。
ID が正しくありません	入力された PIN ID が正しくありません。
ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞが違います	入力されたパスワードが間違っています。

操作パネルに表示されるメッセージ	説明
[ｶﾗｰ] ﾄﾅｰ不足 ｽﾀｰﾄﾎﾞﾀﾝを押してください	トナーが少なくなっています。エラーメッセージを消すには、スタートボタンを押してください。
ﾌﾛﾝﾄｶﾊﾞｰを開けてください 用紙ｻｲｽﾞｴﾗｰ	用紙サイズエラーが発生しました。 用紙カセットの用紙を確認してください。 フロントカバーを開閉してください。
復旧にはｽﾀｰﾄﾎﾞﾀﾝを押してください ﾒﾓﾘｵｰﾊﾞｰﾌﾛｰ	メモリオーバーフローが発生しました。スタートボタンを押すと復旧します。
しばらくお待ちください ｽｷｬﾅ確認中	スキャナユニットを確認中です。
ｶﾊﾞｰを閉じてください [ｶﾊﾞｰ]	カバーが開いています。確実に閉じてください。
ﾄﾅｰを入れてください [ｶﾗｰ] 継続 ｽﾀｰﾄﾎﾞﾀﾝを押してください	トナーが無くなりました。エラーメッセージを消すには、スタートボタンを押してください。
ﾍﾞﾙﾄをｾｯﾄし直してください	ベルトユニットが正しくセットされていません。セットしなおしてください。
ﾄｯﾌﾟｶﾊﾞｰを開けてください 用紙ｼﾞｬﾑ	紙づまりが発生しました。原稿台を持ち上げてトップカバーを開け、つまった用紙を取り除いてください。
再起動してください ｽｷｬﾅを確認してください ｽｷｬﾅ検出失敗	スキャナが接続されていません。電源を再投入してください。 エラーメッセージを消すには、スタートボタンを押してください。
再起動してください ｽｷｬﾅ ﾌｧﾝ ｴﾗｰ	スキャナファンエラーが発生しました。電源を再投入してください。
ADF ｾﾝﾀｰ ﾎﾟｼﾞｼｮﾝ ｴﾗｰ 原稿台の原稿を取り除いてください ｽﾀｰﾄﾎﾞﾀﾝを押してください	原稿台の原稿を取り除き、スタートボタンを押してください。
再起動してください Scanner Line Error	電源を再投入してください 。
再起動してください Scanner Invalid Data Length	電源を再投入してください 。
再起動してください Scanner Invalid Command Length	電源を再投入してください 。
再起動してください Scanner Invalid Data	電源を再投入してください 。
再起動してください Scanner Invalid Parameter	電源を再投入してください 。
再起動してください Scanner Invalid Value	電源を再投入してください 。
再起動してください Scanner Invalid Command	電源を再投入してください 。

操作パネルに表示されるメッセージ	説明
再起動してください ｽｷｬﾅ ﾗﾝﾌﾟ ｴﾗｰ	スキャナランプエラーが発生しました。電源を再投入してください。
再起動してください ｽｷｬﾅ ﾎｰﾑｾﾝｻｰ ｴﾗｰ	スキャナホームセンサエラーが発生しました。電源を再投入してください。
再起動してください ｽｷｬﾅ ｾﾝｻｰ ｴﾗｰ	スキャナセンサエラーが発生しました。電源を再投入してください。
再起動してください ｽｷｬﾅ ﾕﾆｯﾄ ｴﾗｰ	スキャナ内部にエラーが発生しました。電源を再投入してください。
再起動してください ｽｷｬﾅ RAM ｴﾗｰ	スキャナ RAM チェックエラーが発生しました。電源を再投入してください。
再起動してください ｽｷｬﾅ ｺﾝﾄﾛｰﾗ ｴﾗｰ	スキャナコントローラーエラーが発生したことを示す。
再起動してください ｽｷｬﾅ ﾎｰﾑ ﾎﾟｼﾞｼｮﾝ ｴﾗｰ	スキャナホームポジションエラーが発生しました。電源を再投入してください。
再起動してください ｾﾝｻｰ ﾛｯｸ ｽｲｯﾁを確認してください ｽｷｬﾅ ｾﾝｻｰがﾛｯｸされています	スキャナーセンサーがロックされています。原稿カバーを開けて、左奥のスイッチをスライドさせロックを解除してください。原稿カバーを閉じ、電源を再投入してください。
ADF ｶﾊﾞｰを開けてください ADF 用紙ｼﾞｬﾑ	ADF（オートドキュメントフィーダ）で原稿を読み取り中に紙づまりが発生しました。ADF のカバーを開け、原稿を取り除いてください。
再起動してください ｽｷｬﾅ ﾀｲﾑｱｳﾄ ｴﾗｰ	タイムアウトエラーが発生ました 。電源を再投入してください。
手差しﾄﾚｲを確認してください 用紙ｼﾞｬﾑ	手差しトレイから給紙中に紙づまりが発生しました。つまった用紙を取り除いてください。
ﾌﾛﾝﾄｶﾊﾞｰを開けてください 用紙ｼﾞｬﾑ [ﾄﾚｲ]	手差しトレイから給紙中に紙づまりが発生しました。フロントカバーを開け、つまった用紙を取り除いてください。
他社装置用のﾄﾅｰｶｰﾄﾘｯｼﾞが入っています [ｶﾗｰ]	トナーカートリッジが純正品ではありません。スタートボタンを押すと機能選択画面を表示します。
他社装置用のﾄﾅｰｶｰﾄﾘｯｼﾞが入っています [ｶﾗｰ]	トナーカートリッジが純正品ではありません。純正品と交換してください。
ﾄﾅｰｶｰﾄﾘｯｼﾞを確認してください [ｶﾗｰ] 新しいﾄﾅｰを入れてください	新品のトナーカートリッジと交換してください。
ｲﾒｰｼﾞﾄﾞﾗﾑを交換してください ｲﾒｰｼﾞﾄﾞﾗﾑ寿命です [ｶﾗｰ] ｽﾀｰﾄﾎﾞﾀﾝを押してください	イメージドラムが寿命になりました。新しいイメージドラムと交換してください。エラーメッセージを消すには、スタートボタンを押してください。
ﾄﾅｰｶｰﾄﾘｯｼﾞは純正品ではありません [ｶﾗｰ]	トナーカートリッジが純正品ではありません。純正品と交換してください。エラーメッセージを消すには、スタートボタンを押してください。

操作パネルに表示されるメッセージ	説明
ﾄﾅｰが正しくありません [ｶﾗｰ]	トナーカートリッジが純正品ではありません。純正品と交換してください。
ﾄﾅｰを交換してください [ｶﾗｰ] 廃棄ﾄﾅｰがいっぱいです 継続 ｽﾀｰﾄﾎﾞﾀﾝを押してください	廃棄トナーがいっぱいになったので、新しいトナーカートリッジと交換してください。エラーメッセージを消すには、スタートボタンを押してください。
ﾍﾞﾙﾄを交換してください ﾍﾞﾙﾄ寿命です 継続 ｽﾀｰﾄﾎﾞﾀﾝを押してください	ベルトユニットが寿命になりました。新しいベルトユニットと交換してください。エラーメッセージを消すには、スタートボタンを押してください。
定着器を交換してください 定着器寿命です 継続 ｽﾀｰﾄﾎﾞﾀﾝを押してください	定着器ユニットが寿命になりました。新しい定着器ユニットと交換してください。エラーメッセージを消すには、スタートボタンを押してください。
ﾌﾛﾝﾄｶﾊﾞｰを開けてください 用紙ｼﾞｬﾑ	紙づまりが発生しました。フロントカバーを開け、つまった用紙を取り除いてください。
定着器をｾｯﾄし直してください	定着器ユニットが正しくセットされていません。セットしなおしてください。
ｲﾒｰｼﾞﾄﾞﾗﾑを交換してください ｲﾒｰｼﾞﾄﾞﾗﾑ寿命です [ｶﾗｰ] ｽﾀｰﾄﾎﾞﾀﾝを押してください	イメージドラムが寿命になりました。新しいイメージドラムと交換してください。エラーメッセージを消すには、スタートボタンを押してください。
用紙を入れてください [ﾄﾚｲ] [ﾒﾃﾞｨｱｻｲｽﾞ]	用紙カセットに用紙がありません。用紙を入れてください。
[ﾄﾚｲ] の用紙を交換して下さい [ﾒﾃﾞｨｱｻｲｽﾞ] [ﾒﾃﾞｨｱﾀｲﾌﾟ] ｽﾀｰﾄﾎﾞﾀﾝを押してください	用紙カセットまたは手差しトレイの用紙が正しくありません。用紙サイズ、厚さなどを確認し、正しい用紙をセットして、スタートボタンを押してください。
電源を切り 、しばらくお待ちください 126: 印刷部が結露しています	結露が発生しました 。電源を切り、しばらくお待ちください。
再起動してください nnn: ｴﾗｰ	致命的なエラーが発生しました。電源を再投入してください。
ｻｰﾋﾞｽｾﾝﾀｰへ連絡してください nnn: ｴﾗｰ	致命的なエラーが発生しました。お客様相談センターへ連絡してください。
再起動してください 209: ﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞ ｴﾗｰ	ダウンロードエラーが発生しました。電源を再投入してください。
PC 原稿をｾｯﾄしてｽﾀｰﾄﾎﾞﾀﾝを押してください	スタートボタンを押して、プッシュスキャンを開始してください。
定着温度調整中です	装置がウォーミングアップ中です。
印刷 ｷｬﾝｾﾙ中です	印刷をキャンセルしています。
設定内容を印刷しています	設定内容を印刷中です。
ﾃﾞﾓﾍﾟｰｼﾞを印刷しています	デモページを印刷中です。
ﾃﾞｰﾀを受信しています	データを受信中です。
ﾃﾞｰﾀあり	印刷されていないデータがあります。

操作パネルに表示されるメッセージ	説明
処理中です	印刷中であることを示す。
丁合印刷 iii/jjj	丁合印刷中です。 iii は印刷中の部数、jjj は印刷する総部数を示します。
ｺﾋﾟｰ kkk/lll	コピー印刷中です。 kkk は印刷中の枚数、lll は総印刷枚数を示します。
Fax 処理中	Fax データの処理中です。
Fax しばらくお待ちください	同報送信中に、次の宛先への送信を待っている状態です。
LDAP LDAP ｻｰﾊﾞに接続中です nnnnnnnnnn	LDAP サーバに接続中です。 nnnnnnnnnn は LDAP サーバ名または、IP アドレスを示します。
電話中 Fax 受信中 ｽﾀｰﾄﾎﾞﾀﾝを押してください	スタートボタンを押して、Fax を受信してください。
Fax 受信完了 ﾍﾟｰｼﾞ : ## nnnnnnnnnn	Fax 受信が正常に終了しました。 ページ : ## は受信済み枚数、 nnnnnnnnnn は送信元の Fax 番号を示します。
Fax 受信中 ﾍﾟｰｼﾞ : ## nnnnnnnnnn	Fax を受信中です。 ページ : ## は受信済み枚数、 nnnnnnnnnn は送信元の Fax 番号を示します。
Fax 受信開始	Fax 受信を開始しました。
Fax 送信をｷｬﾝｾﾙしました	Fax 送信をキャンセルしました。
Fax 呼び出しをｷｬﾝｾﾙしました	呼び出しをキャンセルしました。
Fax 送信完了 ﾍﾟｰｼﾞ : ## nnnnnnnnnn	Fax 送信が完了しました。 ページ : ## は総送信枚数、 nnnnnnnnnn は相手先の Fax 番号を示します。
Fax 送信中 ﾍﾟｰｼﾞ : ## nnnnnnnnnn	Fax 送信中です。 ページ : ## は送信枚数、 nnnnnnnnnn は相手先の Fax 番号を示します。
Fax 呼び出し中 nnnnnnnnnn	呼び出し中です。 nnnnnnnnnn は相手先の Fax 番号を示します。

操作パネルに表示されるメッセージ	説明
ﾒﾓﾘ ﾌｧｲﾙ名を確認してください [ﾌｧｲﾙ名] ｽｷｬﾝ ｽﾀｰﾄ。 ｽﾀｰﾄ ﾎﾞﾀﾝを押してください ﾌｧｲﾙ名を変更するかｽﾄｯﾌﾟ ﾎﾞﾀﾝを押してください	USB メモリへ書き込むファイル名を確認してください。 スタートボタンを押すと、原稿の読み取りを開始します。 ストップボタンを押すと、スキャン To USB メモリ画面へ戻ります。
ﾒﾓﾘ 保存中 USB ﾒﾓﾘは有効です [ﾌｧｲﾙ名] USB ﾒﾓﾘを抜かないでください	スキャンしたデータを USB メモリへ書き込み中です。
ﾒﾓﾘ ｽｷｬﾝを中止しました USB ﾒﾓﾘは取り外し可能です	スキャンを中止しました。
ﾒﾓﾘ ｽｷｬﾝ中止中 USB ﾒﾓﾘは有効です USB ﾒﾓﾘを抜かないでください	スキャン中にストップボタンが押されたので、スキャンを中止しています。USB メモリを本機から抜かないでください。
ﾒﾓﾘ ﾌｧｲﾙ保存完了 [ﾌｧｲﾙ名] USB ﾒﾓﾘは取り外し可能です	スキャンしたデータ保存が完了しました。 USB メモリを本機から外すことができます。 [ﾌｧｲﾙ名] は、データを保存したファイル名を示します。
ﾒﾓﾘ ｽｷｬﾝ中 USB ﾒﾓﾘは有効です ﾍﾟｰｼﾞ : ## USB ﾒﾓﾘを抜かないでください	スキャン中です。 ## は読み取り中のページ数を示します。
ﾈｯﾄﾜｰｸ PC 送信をｷｬﾝｾﾙしました	ファイル送信をキャンセルしました。
ﾈｯﾄﾜｰｸ PC 送信ｷｬﾝｾﾙ中	ファイル送信のキャンセル中です。
ﾈｯﾄﾜｰｸ PC ｻｰﾊﾞ接続が中断されました	ファイルサーバへの接続がキャンセルされました。
ﾈｯﾄﾜｰｸ PC 送信完了 nnnnnnnnnn	ファイル送信が完了しました。 nnnnnnnnnn はファイルサーバアドレスまたは、IP アドレスを示します。
ﾈｯﾄﾜｰｸ PC 送信中 ﾍﾟｰｼﾞ : ## nnnnnnnnnn	ファイル送信中です。 ## は読み取り中のページ数、 nnnnnnnnnn はファイルサーバアドレスまたは、IP アドレスを示します。
ﾈｯﾄﾜｰｸ PC ｻｰﾊﾞに接続中です nnnnnnnnnn	ファイルサーバと接続中です。 nnnnnnnnnn はファイルサーバアドレスまたは、IP アドレスを示します。
継続 原稿をｾｯﾄしてｽﾀｰﾄﾎﾞﾀﾝを押してください 完了 Enter ｷｰを押してください	E メール送信を継続するか、完了するかを選択します。手動原稿送り設定がオン時のみ表示します。

操作パネルに表示されるメッセージ	説明
LDAP ｱﾄﾞﾚｽ検索が中断されました	LDAP サーバでの検索がキャンセルされました。
LDAP ｱﾄﾞﾚｽ検索中	LDAP サーバでのアドレス検索中です。
E ﾒｰﾙ 送信をｷｬﾝｾﾙしました	E メール送信をキャンセルしました。
E ﾒｰﾙ 送信ｷｬﾝｾﾙ中	E メール送信をキャンセル中です。
E ﾒｰﾙ ｻｰﾊﾞ接続が中断されました	メールサーバ接続がキャンセルされました。
E ﾒｰﾙ 送信完了 nnnnnnnnnn	E メール送信が完了しました。 nnnnnnnnnn は E メールサーバ名または、IP アドレスを示します。
E ﾒｰﾙ 送信中 ﾍﾟｰｼﾞ : ## nnnnnnnnnn	E メール送信中です。 ## は、読み取り中のページ数、 nnnnnnnnnn は E メールサーバ名または、IP アドレスを示します。
E ﾒｰﾙ ｻｰﾊﾞに接続中です nnnnnnnnnn	メールサーバと接続中です。 nnnnnnnnnn は E メールサーバ名または、IP アドレスを示します。
印刷 Fax 通信ﾚﾎﾟｰﾄ印刷中	Fax 通信レポートの印刷中です。
印刷 ｽｷｬﾝ To ﾛｸﾞﾚﾎﾟｰﾄ印刷中	スキャン To ログレポートの印刷中です。
印刷 消耗品状態ﾚﾎﾟｰﾄ印刷中	消耗品状態レポートの印刷中です。
印刷 MFP 動作ﾚﾎﾟｰﾄ印刷中	MFP 動作レポートの印刷中です。
しばらくお待ちください ｳｫｰﾑｱｯﾌﾟ中	ウォーミングアップしています。
ｺﾋﾟｰ ｷｬﾝｾﾙされました	コピーがキャンセルされました。
ｺﾋﾟｰ ｷｬﾝｾﾙ中です	コピージョブのキャンセル中であることを示す。 コピー実行中のストップボタン押下により、コピーのキャンセルが行われた場合に表示される。
ｺﾋﾟｰ Copy 完了	コピーが完了しました。
ｺﾋﾟｰ ｺﾋﾟｰ中です ﾍﾟｰｼﾞ : ##	コピー中です。 ## は読み取り中のページ数を示します。
ﾈｯﾄﾜｰｸ設定を印刷しています	ネットワーク設定を印刷中です。
定着温度調整中	定着器の温度を調整中です。
ﾌｧｲﾙｱｸｾｽ中です	ファイルシステム（FLASH）にアクセスしています。
濃度補正中です	自動濃度補正中を示す。

操作パネルに表示されるメッセージ	説明
この機能は利用できません ﾛｸﾞがいっぱいです 左 [<] ｷｰを押してください	ログがいっぱいのため、機能が使えません。
E ﾒｰﾙ 管理者に連絡してください 送信者登録無し	送信元アドレスが未登録です。
[ｶﾗｰ] ｲﾒｰｼﾞﾄﾞﾗﾑの寿命が近づいています	イメージドラムの寿命が近づいています。 [ｶﾗｰ] はイメージドラムの色を表します。
ﾍﾞﾙﾄを交換してください	ベルトユニットが寿命になりました。新しいベルトユニットと交換してください。
[ｶﾗｰ] ﾄﾅｰ不足	トナーが少なくなっています。[ｶﾗｰ] はトナーの色を示します。
定着器を交換してください	定着器ユニットが寿命になりました。新しい定着器ユニットと交換してください。
PC ﾛｸﾞがいっぱいになり、ｼﾞｮﾌﾞがｷｬﾝｾﾙされました ｽﾄｯﾌﾟﾎﾞﾀﾝを押してください	ログがいっぱいのため、ジョブがキャンセルされました。メッセージを消すには、ストップボタンを押します。
PC Fax ﾛｸﾞがいっぱいになり、ｼﾞｮﾌﾞがｷｬﾝｾﾙされました ｽﾄｯﾌﾎﾞﾀﾝを押してください	ログがいっぱいのため、ジョブがキャンセルされました。メッセージを消すには、ストップボタンを押します。
PC Fax 許可されていないﾕｰｻﾞのﾃﾞｰﾀを削除しました ｽﾄｯﾌﾟﾎﾞﾀﾝを押してください	許可されていないユーザのデータを削除しました。メッセージを消すには、ストップボタンを押します。
LDAP 検索結果が多すぎます 継続 ｽﾄｯﾌﾟﾎﾞﾀﾝを押してください	LDAP サーバの検索結果が 100 件を超えました。ストップボタンを押すと、検索結果を表示します。
Non OEM [ｶﾗｰ] ﾄﾅｰ	トナーカートリッジが純正品ではありません。純正品と交換してください。
他社装置用のﾄﾅｰｶｰﾄﾘｯｼﾞが入っています [ｶﾗｰ]	トナーカートリッジが純正品ではありません。純正品と交換してください。
[ｶﾗｰ] ﾄﾅｰｶｰﾄﾘｯｼﾞが認識できません	トナーカートリッジが純正品ではありません。純正品と交換してください。
[ｶﾗｰ] ﾄﾅｰが正しくありません	トナーカートリッジが純正品ではありません。純正品と交換してください。
[ｶﾗｰ] 廃棄ﾄﾅｰﾌﾙ ﾄﾅｰを交換して下さい	廃棄トナーがいっぱいになったので、新しいトナーカートリッジと交換してください。エラーメッセージを消すには、スタートボタンを押してください。
[ｶﾗｰ] ﾄﾅｰがありません	トナーがなくなりました。新しいトナーカートリッジと交換してください。
[ｶﾗｰ] ｲﾒｰｼﾞﾄﾞﾗﾑが寿命です	イメージドラムが寿命になりました。新しいイメージドラムカートリッジと交換してください。
ﾍﾞﾙﾄの寿命が近づいています	ベルトユニットの寿命が近づきました。
定着器の寿命が近づいています	定着器ユニットの寿命が近づきました。
許可されていないﾕｰｻﾞのﾃﾞｰﾀを削除しました ｽﾄｯﾌﾟﾎﾞﾀﾝを押してください	印刷許可の無いユーザのジョブがキャンセルされました。エラーメッセージを消すには、ストップボタンを押してください。

操作パネルに表示されるメッセージ	説明
ﾛｸﾞがいっぱいです。ｼﾞｮﾌﾞがｷｬﾝｾﾙされました ｽﾄｯﾌﾟﾎﾞﾀﾝを押してください	ログバッファがいっぱいのため、ジョブがキャンセルされました。エラーメッセージを消すには、ストップボタンを押してください。
濃度補正中です	自動濃度補正中です。
[ﾄﾚｲ] に用紙がありません	トレイに用紙がありません。
無効なﾃﾞｰﾀを受信しました [ﾎﾞﾀﾝ] を押してください	無効なデータを受信しました。メッセージを消すには、表示されているボタンを押してください。
HiperC ﾃﾞｺｰﾄﾞ ｴﾗｰ	Hiper-C エミュレーションにて、デコードエラーが発生しました。
USB ﾒﾓﾘが未接続	USB メモリが接続されていません。
E ﾒｰﾙ ｱﾄﾞﾚｽ帳がいっぱいです	アドレス帳に空きがありません。
ﾌﾟﾛﾌｧｲﾙ ﾘｽﾄ 未登録	プロファイル設定が一件も登録されていません。
宛先 未登録	宛先情報が登録されていません。
LDAP 他のｷｰを指定してください ｱﾄﾞﾚｽが見つかりません	LDAP サーバの検索結果が 0 件です。
Fax 操作はｷｬﾝｾﾙされました 登録がいっぱいです	時刻指定 Fax 送信の登録件数を超えました。
ﾌｧｲﾙｼｽﾃﾑがいっぱいです ｽﾀｰﾄﾎﾞﾀﾝを押してください	ファイルシステムに空き容量がなくなりました。
ﾌｧｲﾙｼｽﾃﾑへの書き込みは禁止されています	書き込みが禁止されているファイルに対して書き込みしようとしています。
丁合印刷ｴﾗｰです ｽﾀｰﾄﾎﾞﾀﾝを押してください	丁合印刷中にメモリがいっぱいになりました。エラーメッセージを消すには、スタートボタンを押してください。
用紙を入れてください 手差し [ﾒﾃﾞｨｱｻｲｽﾞ]	LCD に表示されている用紙を手差しトレイにセットしてください。
ｶﾗｰ調整中です	自動色ずれ補正中です。
[ｶﾗｰ] ﾄﾅｰ不足	トナーが少なくなっています。
Fax 送信失敗 ﾍﾟｰｼﾞ : ## nnnnnnnnnn	Fax 送信に失敗しました。 ページ : ## は総送信枚数、 nnnnnnnnnn は相手先の Fax 番号を示します。

操作パネルに表示されるメッセージ	説明
Fax 受信失敗 ページ : ## nnnnnnnnnn	Fax 受信に失敗しました。 ページ : ## は総受信枚数、 nnnnnnnnnn は相手先の Fax 番号を示します。
電話中 しばらくお待ちください。	Fax モード待機状態で、外付け電話がオフフック状態中に表示されます。 外付け電話のオンフックを検出すると、Fax モード待機状態へ移行し、Fax 操作が可能となります。
ﾈｯﾄﾜｰｸ設定を保存中です	ネットワークの設定を保存しています。
ｶﾊﾞｰを閉めてください [ｶﾊﾞｰ]	カバーが開いています。カバーを閉じてください。
ﾄﾅｰを入れてください [ｶﾗｰ]	トナーが無くなりました。新しいトナーカートリッジと交換してください。
ﾍﾞﾙﾄﾕﾆｯﾄを確認してください	ベルトユニットが正しくセットされていません。セットしなおしてください。
(機能名) ﾄｯﾌﾟｶﾊﾞｰを開けてください 用紙ｼﾞｬﾑ	紙づまりが発生しました。原稿台を持ち上げてトップカバーを開け、つまった用紙を取り除いてください。
ｺﾋﾟｰ ﾄﾚｲ 1 に用紙を入れてください 継続するにはｽﾀｰﾄﾎﾞﾀﾝを押してください ｷｬﾝｾﾙするにはｽﾄｯﾌﾟﾎﾞﾀﾝを押してください	用紙トレイ 1（用紙カセット）に用紙がありません。用紙をセットしてください。
ﾈｯﾄﾜｰｸ PC ｻｰﾊﾞ管理者に連絡してください ﾃﾞｨﾚｸﾄﾘに入れません ｽﾄｯﾌﾟﾎﾞﾀﾝを押してください	ディレクトリに入ることができません。サーバの管理者に連絡してください。
ﾈｯﾄﾜｰｸ PC 送信失敗 nnnnnnnnnn ｽﾄｯﾌﾟﾎﾞﾀﾝを押してください	ファイル送信に失敗しました。 nnnnnnnnnn はファイルサーバアドレスまたは、IP アドレスを示します。
再起動してください ｽｷｬﾅを確認してください 検出失敗 左 [<] ｷｰを押してください	スキャナを確認し、電源を再投入してください。
Fax 受信失敗 ﾒﾓﾘｵｰﾊﾞｰﾌﾛｰ ｽﾄｯﾌﾟﾎﾞﾀﾝを押してください	Fax 受信中にメモリオーバーフローが発生しました。 エラーメッセージを消すには、ストップボタンを押してください。
E ﾒｰﾙ 送信失敗 nnnnnnnnnn ｽﾄｯﾌﾟﾎﾞﾀﾝを押してください	E メール送信に失敗しました。 nnnnnnnnnn は E メールサーバアドレスまたは、IP アドレスを示します。エラーメッセージを消すには、ストップボタンを押してください。
他機能動作中です 左 [<] ｷｰを押してください	他機能を実行中です。
Fax ﾎﾞｰﾄﾞ I/F ｴﾗｰ	Fax ボード I/F エラーが発生しました。 電源を再投入してください。

操作パネルに表示されるメッセージ	説明
ﾒﾓﾘ USB ﾒﾓﾘｰを確認してください 書き込み失敗 ｽﾄｯﾌﾟﾎﾞﾀﾝを押してください	USB メモリへの書き込みに失敗しました。ストップボタンを押すとスキャン To 機能選択画面を表示します。
ﾒﾓﾘ ｽｷｬﾝを中止しました USB ﾒﾓﾘがいっぱいです ｽﾄｯﾌﾟﾎﾞﾀﾝを押してください	USB メモリの容量が不足しているため、書き込みを中断します。
再起動してください スキャナのメモリ枯渇 左 [<] ｷｰを押してください	メモリがいっぱいになりました。電源を再投入してください。
ﾈｯﾄﾜｰｸ PC ﾈｯﾄﾜｰｸ管理者に連絡してください CIFS 接続失敗 ｽﾄｯﾌﾟﾎﾞﾀﾝを押してください	CIFS サーバへの接続に失敗しました。 ネットワーク管理者に連絡してください。
ﾈｯﾄﾜｰｸ PC ﾈｯﾄﾜｰｸ管理者に連絡してください ﾌｧｲﾙ書き込み失敗 ｽﾄｯﾌﾟﾎﾞﾀﾝを押してください	ファイルの書き込みに失敗しました。 ネットワーク管理者に連絡してください。
ﾈｯﾄﾜｰｸ PC 共有名を確認してください CIFS 接続失敗 ｽﾄｯﾌﾟﾎﾞﾀﾝを押してください	ネットワークの共有フォルダ名が正しくありません。
ﾈｯﾄﾜｰｸ PC ﾈｯﾄﾜｰｸ管理者に連絡してください CIFS がｻﾎﾟｰﾄされていません ｽﾄｯﾌﾟﾎﾞﾀﾝを押してください	サーバが CIFS をサポートしていません。 ネットワーク管理者に連絡してください。
ﾈｯﾄﾜｰｸ PC ﾌｧｲﾙ名を変更してください ﾌｧｲﾙ名ｴﾗｰ ｽﾄｯﾌﾟﾎﾞﾀﾝを押してください	指定した送信ファイルのファイル名が許可されませんでした。 ファイル名を変更してください。
ﾈｯﾄﾜｰｸ PC ﾈｯﾄﾜｰｸ管理者に連絡してください 保存領域がいっぱいです ｽﾄｯﾌﾟﾎﾞﾀﾝを押してください	FTP サーバの保存領域の空きが不足していることを示します。
ﾈｯﾄﾜｰｸ PC ﾈｯﾄﾜｰｸ管理者に連絡してください ﾌｧｲﾙ書き込み失敗 ｽﾄｯﾌﾟﾎﾞﾀﾝを押してください	ファイルの書き込みに失敗しました。エラーメッセージを消すには、ストップボタンを押してください。
ﾈｯﾄﾜｰｸ PC ﾈｯﾄﾜｰｸ管理者に連絡してください ﾃﾞｰﾀ転送方法を変更してください ｽﾄｯﾌﾟﾎﾞﾀﾝを押してください	データの転送方法を変更してください。エラーメッセージを消すには、ストップボタンを押してください。
ﾈｯﾄﾜｰｸ PC ﾈｯﾄﾜｰｸ管理者に連絡してください ﾌｧｲﾙﾘｽﾄ取得失敗 ｽﾄｯﾌﾟﾎﾞﾀﾝを押してください	FTP において、現在ログインしているフォルダのファイル一覧を取得できませんでした。エラーメッセージを消すには、ストップボタンを押してください。

操作パネルに表示されるメッセージ	説明
ｽｷｬﾅ ﾀｲﾑｱｳﾄ ｴﾗｰ %n% 左 [<] ｷｰを押してください	スキャナユニットでタイムアウトエラーが発生しました。
ﾒﾓﾘｵｰﾊﾞｰﾌﾛｰ ｽﾄｯﾌﾟﾎﾞﾀﾝを押してください	メモリオーバフローが発生しました。エラーメッセージを消すには、ストップボタンを押してください。
ｺﾋﾟｰ 用紙を取り除いてください 手差しﾄﾚｲに用紙を入れてください ｽﾄｯﾌﾟﾎﾞﾀﾝを押してください	手差しトレイに用紙をセットしてください。エラーメッセージを消すには、ストップボタンを押してください。
ﾈｯﾄﾜｰｸ PC ID とﾊﾟｽﾜｰﾄﾞを確認してください ｻｰﾊﾞ ﾛｸﾞｲﾝ失敗 ｽﾄｯﾌﾟﾎﾞﾀﾝを押してください	サーバのログインに失敗しました。エラーメッセージを消すには、ストップボタンを押してください。
ﾈｯﾄﾜｰｸ PC ｻｰﾊﾞ設定を確認してください ｻｰﾊﾞ接続失敗 ｽﾄｯﾌﾟﾎﾞﾀﾝを押してください	サーバとの接続に失敗しました。エラーメッセージを消すには、ストップボタンを押してください。
DNS 設定を確認してください 対象の IP ｱﾄﾞﾚｽ取得失敗 ｽﾄｯﾌﾟﾎﾞﾀﾝを押してください	DNS サーバとの接続に失敗しました。エラーメッセージを消すには、ストップボタンを押してください。
LDAP LDAP ｻｰﾊﾞ使用中 ｱﾄﾞﾚｽ検索ﾀｲﾑｱｳﾄ ｽﾄｯﾌﾟﾎﾞﾀﾝを押してください	LDAP サーバでの検索中にタイムアウトが発生しました。エラーメッセージを消すには、ストップボタンを押してください。
LDAP 検索元をﾁｪｯｸしてください DN 名ｴﾗｰ ｽﾄｯﾌﾟﾎﾞﾀﾝを押してください	LDAP サーバ内に存在しない DN 名を指定しています。エラーメッセージを消すには、ストップボタンを押してください。
LDAP ﾈｯﾄﾜｰｸ管理者に連絡してください LDAP 通信ｴﾗｰ ｽﾄｯﾌﾟﾎﾞﾀﾝを押してください	LDAP サーバとの通信中にエラーが発生しました。エラーメッセージを消すには、ストップボタンを押してください。
LDAP ID とﾊﾟｽﾜｰﾄﾞを確認してください LDAP ﾛｸﾞｲﾝ失敗 ｽﾄｯﾌﾟﾎﾞﾀﾝを押してください	LDAP サーバへのログインに失敗しました。エラーメッセージを消すには、ストップボタンを押してください。
LDAP LDAP 設定を確認してください LDAP ｻｰﾊﾞ接続失敗 ｽﾄｯﾌﾟﾎﾞﾀﾝを押してください	LDAP サーバとの接続に失敗しました。エラーメッセージを消すには、ストップボタンを押してください。
E ﾒｰﾙ ﾛｸﾞｲﾝ名とﾊﾟｽﾜｰﾄﾞを確認してください POP3 ﾛｸﾞｲﾝ失敗 ｽﾄｯﾌﾟﾎﾞﾀﾝを押してください	POP3 サーバへのログインに失敗しました。エラーメッセージを消すには、ストップボタンを押してください。

操作パネルに表示されるメッセージ	説明
E ﾒｰﾙ ﾈｯﾄﾜｰｸ管理者に連絡してください SMTP 認証非ｻﾎﾟｰﾄ ｽﾄｯﾌﾟﾎﾞﾀﾝを押してください	SMTP サーバが認証に対応していません。エラーメッセージを消すには、ストップボタンを押してください。
E ﾒｰﾙ ﾛｸﾞｲﾝ名とﾊﾟｽﾜｰﾄﾞを確認してください SMTP ﾛｸﾞｲﾝ失敗 ｽﾄｯﾌﾟﾎﾞﾀﾝを押してください	SMTP サーバへのログインに失敗しました。エラーメッセージを消すには、ストップボタンを押してください。
E ﾒｰﾙ POP3 設定を確認してください ｻｰﾊﾞ接続失敗 ｽﾄｯﾌﾟﾎﾞﾀﾝを押してください	POP3 サーバへの接続に失敗しました。エラーメッセージを消すには、ストップボタンを押してください。
E ﾒｰﾙ SMTP 設定を確認してください ｻｰﾊﾞ接続失敗 ｽﾄｯﾌﾟﾎﾞﾀﾝを押してください	SMTP サーバへの接続に失敗しました 。エラーメッセージを消すには、ストップボタンを押してください。
E ﾒｰﾙ POP3 ｱﾄﾞﾚｽを確認してください POP3 ｱﾄﾞﾚｽ登録無し ｽﾄｯﾌﾟﾎﾞﾀﾝを押してください	POP3 サーバが設定されていません。エラーメッセージを消すには、ストップボタンを押してください。
E ﾒｰﾙ SMTP ｱﾄﾞﾚｽを確認してください SMTP ｱﾄﾞﾚｽ登録無し ｽﾄｯﾌﾟﾎﾞﾀﾝを押してください	SMTP サーバが設定されていません。エラーメッセージを消すには、ストップボタンを押してください。
Scanner Line Error 左 [<] ｷｰを押してください	スキャナにエラーが発生しました。エラーメッセージを消すには、ストップボタンを押してください。
Scanner Invalid Data Length 左 [<] ｷｰを押してください	スキャナ通信エラーが発生しました。エラーメッセージを消すには、ストップボタンを押してください。
Scanner Invalid Command Length 左 [<] ｷｰを押してください	スキャナ通信エラーが発生しました。エラーメッセージを消すには、ストップボタンを押してください。
Scanner Invalid Data 左 [<] ｷｰを押してください	スキャナ通信エラーが発生しました。エラーメッセージを消すには、ストップボタンを押してください。
Scanner Invalid Parameter 左 [<] ｷｰを押してください	スキャナ通信エラーが発生しました。エラーメッセージを消すには、ストップボタンを押してください。
Scanner Invalid Value 左 [<] ｷｰを押してください	スキャナ通信エラーが発生しました。エラーメッセージを消すには、ストップボタンを押してください。
Scanner Invalid Command 左 [<] ｷｰを押してください	スキャナ通信エラー：無効なコマンドがスキャナへ送信されました。 メッセージを消すには、ストップボタンを押します。

操作パネルに表示されるメッセージ	説明
ｺﾋﾟｰ 用紙ｻｲｽﾞを確認してください 用紙ｻｲｽﾞｴﾗｰ ｽﾄｯﾌﾟﾎﾞﾀﾝを押してください	コピー機能でサポートしていない用紙サイズへコピーしようとしています。用紙を確認してください。
ｽｷｬﾅ ﾗﾝﾌﾟ ｴﾗｰ 左 [<] ｷｰを押してください	スキャナのランプにエラーが発生しました。
ｽｷｬﾅ ﾎｰﾑｾﾝｻｰ ｴﾗｰ 左 [<] ｷｰを押してください	スキャナのホームセンサにエラーが発生しました。
ｽｷｬﾅ ｾﾝｻｰ ｴﾗｰ 左 [<] ｷｰを押してください	スキャナのセンサにエラーが発生しました。
ｽｷｬﾅ ﾕﾆｯﾄ ｴﾗｰ 左 [<] ｷｰを押してください	スキャナ内部エラーが発生しました。
Scanner Calibration Error 左 [<] ｷｰを押してください	キャリブレーションエラーが発生しました。
ｽｷｬﾅ RAM ｴﾗｰ 左 [<] ｷｰを押してください	スキャナ RAM チェックエラーが発生しました。
ｽｷｬﾅ ｺﾝﾄﾛｰﾗ ｴﾗｰ 左 [<] ｷｰを押してください	スキャナコントローラーエラーが発生しました。
ｽｷｬﾅ ﾎｰﾑ ﾎﾟｼﾞｼｮﾝ ｴﾗｰ 左 [<] ｷｰを押してください	ホームポジションエラーが発生しました。
ｾﾝｻｰ ﾛｯｸ ｽｲｯﾁを確認してください ｽｷｬﾅ ｾﾝｻｰがﾛｯｸされています 左 [<] ｷｰを押してください	原稿カバーを開け、センサーロックスイッチをスライドさせてロックを解除してください。
ADF ｶﾊﾞｰを開けてください ADF 用紙ｼﾞｬﾑ	ADF（オートドキュメントフィーダ）で原稿読み込み中に紙づまりが発生しました。ADF カバーを開け、つまった原稿を取り除いてください。
[トレイ名] はｻﾎﾟｰﾄ外の用紙ｻｲｽﾞです 継続 ｽﾀｰﾄﾎﾞﾀﾝを押してください	用紙カセットまたは手差しトレイにサポートしていないサイズの用紙がセットされています。
手差しﾄﾚｲに用紙を入れてください 継続するにはｽﾀｰﾄﾎﾞﾀﾝを押してください ｷｬﾝｾﾙするにはｽﾄｯﾌﾟﾎﾞﾀﾝを押してください	手差しトレイに用紙をセットし、スタートボタンを押してください。操作を中止するには、ストップボタンを押してください。

操作パネルに表示されるメッセージ	説明
DHCP 設定を確認してください IP ｱﾄﾞﾚｽの取得に失敗 左 [<] ｷｰを押してください	DHCP サーバの検索に失敗しました。
管理者に連絡してください この機能は利用できません 左 [<] ｷｰを押してください	この機能は利用できません。
ﾒｯｾｰｼﾞ ﾃﾞｰﾀ処理中	アップデートするメッセージデータを処理しています。
ﾒｯｾｰｼﾞ ﾃﾞｰﾀ書き込み中	アップデートするメッセージデータを書き込み中です。
ﾒｯｾｰｼﾞ ﾃﾞｰﾀ受信完了	アップデートするメッセージデータの書き込みが完了しました。
ﾃﾞｰﾀを確認してください ﾒｯｾｰｼﾞ ﾃﾞｰﾀ書き込みｴﾗｰ [CODE]	アップデートするメッセージデータの書き込みに失敗しました。 [CODE] は失敗の原因を示します。 1 ... 理由不明。 2 ... データの読み書き時のハッシュチェックエラー、フラッシュROM異常。 3 ... 言語ファイル書き込み時あるいは書き込み途中にフラッシュROM容量がいっぱいになってしまったことによるダウンロード失敗。 4 ... メモリ確保失敗。 5 ... プリンタ未対応データのダウンロード。
用紙を入れてください [ﾄﾚｲ] 両面の用紙を入れてください ｽﾀｰﾄﾎﾞﾀﾝを押してください	手動で両面印刷をしているとき、用紙の再セットを要求します。 トレイに用紙を再セットしたら、スタートボタンを押します。
用紙を入れてください [ﾄﾚｲ] 両面の用紙を入れてください	手動で両面印刷しているとき、用紙の再セットを要求します。 手差しトレイに用紙を再セットします。
ｲﾒｰｼﾞﾄﾞﾗﾑを交換してください ｲﾒｰｼﾞﾄﾞﾗﾑ寿命です [ｶﾗｰ]	イメージドラムカートリッジが寿命になりました。新しいイメージドラムカートリッジと交換してください。
ﾄﾅｰが認識できません [ｶﾗｰ]	トナーカートリッジが純正品ではありません。純正品と交換してください。
ﾄﾅｰｶｰﾄﾘｯｼﾞが正しくありません [ｶﾗｰ]	トナーカートリッジが純正品ではありません。純正品と交換してください。
(機能名) ﾄﾅｰを交換してください [ｶﾗｰ] 廃棄ﾄﾅｰがいっぱいです	廃棄トナーがいっぱいになったので、新しいトナーカートリッジと交換してください。
ﾄﾅｰｶｰﾄﾘｯｼﾞを確認してください [ｶﾗｰ] ﾄﾅｰ ｾﾝｻｰ ｴﾗｰ	トナーセンサーエラーが発生しました。トナーカートリッジをセットしなおしてください。
ﾍﾞﾙﾄを交換してください ﾍﾞﾙﾄ寿命	ベルトユニットが寿命になりました。新しいベルトユニットと交換してください。

操作パネルに表示されるメッセージ	説明
定着器を交換してください 定着器寿命です	定着器ユニットが寿命になりました。新しい定着器ユニットと交換してください。
定着器を確認してください	定着器が正しくセットされていません。セットしなおしてください。
ｲﾒｰｼﾞﾄﾞﾗﾑを交換してください ｲﾒｰｼﾞﾄﾞﾗﾑ寿命 [ｶﾗｰ]	イメージドラムカートリッジが寿命になりました。新しいイメージドラムカートリッジと交換してください。
ｺﾋﾟｰがｷｬﾝｾﾙされました [ﾄﾚｲ]に用紙がありません ｽﾄｯﾌﾟﾎﾞﾀﾝを押してください	用紙カセットに用紙がありません。エラーメッセージを消すには、ストップボタンを押してください。

WindowsXP Service Pack 2、Windows Server 2003 Service Pack1 に関する制限事項

Windows ファイアウォールの設定による制限事項について

Windows XP Service Pack 2、Windows Server 2003 Service Pack 1 セキュリティ強化機能搭載では、Windows ファイアーウォールの機能が強化されておりますが、それに伴いプリンタドライバ・ユーティリティに以下の制限事項が生じる場合があります。

項　目	発生する制限事項	詳細、回避方法
プリンタドライバ全般	PC ネットワーク共有時、印刷ができません。	サーバ側で[Windows ファイアウォール]-[例外]を開き、「ファイルとプリンタの共有」にチェックを入れてください。
プリンタドライバインストーラ	プリンタ /MFP 検索が行えません。	ファイアウォールの設定で「例外を許可しない」にチェックがついている場合は、ルータを超えるセグメントに対してプリンタ /MFP の検索ができなくなります。同一セグメント内に接続されたプリンタは問題あ りません。プリンタ /MFP の検索ができない場合でも、「TCP/IP 接続」画面で「IP アドレス」を選択し、IP アドレスを直接入力することで設定で きます。
NIC 設定ツール	プリンタ /MFP 検索、NIC の設定が行えません。	ルータを超えるセグメントに対してプリンタ /MFP の検索、NIC の設定ができなく なります。 同一セグメント内に接続されたプリンタ /MFP は問題ありません。 ルータを超えるプリンタ /MFP の検索、NIC の設定を行う場合は、[Windows ファイアウォール] -［例外］-［プログラムの追加］ を開き、NIC 設定ツールを追加し、チェックを入れてください。
OKILPR ユーティリティ	プリンタ /MFP 検索が行えません。	ファイアウォールの設定で「例外を許可しない」にチェックがついている場合は、ルータを超えるセグメントに対してプリンタ /MFP の検索ができなくなります。同一セグメント内に接続されたプリンタ /MFP は問題ありません 。プリンタ /MFP の検索ができない場合でも、「プリンタの追加」や「プリンタの再設定」画面で IP アドレスを直接入力することで設定できます。
Web ブラウザ	ポップアップウインドウがブロックされます。	Internet Explorer の［ツール］ メニューの［ポップアップブロックの設定］ を開き、［許可する Web サイトのアドレス］ にプリンタ /MFP の IP アドレスを追加してください。
Print Job Account-ing	プリンタ /MFP 検索が行えません。	ファイアウォールの設定で「例外を許可しない」にチェックがついている場合は、ルータを超えるセグメントに対してプリンタ /MFP の検索ができなくなります。同一セグメント内に接続されたプリンタ /MFP は問題ありません 。プリンタ /MFP の検索ができない場合でも、ログ取得プリンタの追加ウィザードで「プリンタを接続先で指定する」を選択し、「接続先」で「TCP/IP ネットワーク」を選択し、IP アドレスを直接入力することで設定できます。
	ログ取得スケジュールに従ってログが取得されていません。また、「プリンタ」-「ログを直ちに取得」を行っても、「ログ取得スケジュールに従って、ログを取得中のためできません。」が表示され、取得ができません。	WindowsXP Service Pack1 以前に、プリントジョブアカウンティングにプリンタ /MFP を登録し、ログの取得を開始している状態で、WindowsXP Service Pack2 にアップデートを行うと、左記の現象が発生する場合があります。このような場合は、Windows を再起動します。
Print Super Vision	リモート PC からアクセスできません。	[Windows ファイアウォール]-[例外]-[プログラムの追加]を開き、[参照]をクリックします。 以下のファイルを選択し、[OK］ボタンをクリックします。 "J2EE のインストール先 "¥jdk¥bin¥java.exe "J2EE のインストール先 "¥jdk¥bin¥javaw.exe "J2EE のインストール先 "¥jdk¥jre¥bin¥java.exe "J2EE のインストール先 "¥jdk¥jre¥bin¥javaw.exe
	ポップアップウインドウがブロックされます。	Internet Explorer を使用している場合、ポップアップウインドウがブロックされることがあります。 以下のことを確認してください。 Internet Explorer を起動し、[ツール] - [インターネットオプション…] - [プライバシー] を開き、[ポップアップ ブロック] の [設定] ボタンをクリックします。 [許可する Web サイトのアドレス]に PrintSuperVision の URL を入力し、[追加]ボタンをクリックします。
Web Driver Installer	プリンタ /MFP 検索が行えません。	ファイアウォールの設定で「例外を許可しない」にチェックがついている場 合は、ルータを超えるセグメントに対してプリンタ /MFP の検索ができなくなります。同一セグメント内に接続されたプリンタは問題ありません 。プリンタ /MFP の検索ができない場合でも、グループの検索範囲の 4 桁目を * （例：192.168.0.*）にすると、検索できます。
	リモート PC からアクセスできません。	[Windows ファイアウォール] - [例外] - [ポートの追加] を開き、Web Driver Installer がインストールされている Web サイトのポート番号を追加し、[管理ツール] - [コンポーネント サービス] で Web Driver Installer 用コンポーネントのアクセス権を変更してください。 ※設定方法は、[すべてのプログラム] - [沖データ] - [Web Driver Installer] - [お読みください] をご覧ください。

※ 詳細は弊社ホームページ「http://www.okidata.co.jp/」をご覧ください。

4 困ったとき

Windows Vista に関する制限事項

項　目	発生する制限事項	詳細、回避方法
プリンタドライバ Network Extension	ヘルプが表示されない。	Windows Vista でのヘルプの表示には対応しておりません。
プリンタドライバ カラー調整ユーティリティ 色見本印刷ユーティリティ Network Extension MFP セットアップツール	「ユーザアカウント制御」画面が表示される。	インストーラやユーティリティの起動時などで、「ユーザアカウント制御」画面が表示される場合があります。インストーラやユーティリティを管理者権限で実行するために必要ですので、[続行]をクリックしてください。[キャンセル]をクリックすると、インストーラやユーティリティは起動されません。
カラー調整ユーティリティ 色見本印刷ユーティリティ Network Extension MFP セットアップツール	「プログラム互換性アシスタント」画面が表示される。	インストール完了後（インストールを途中で中止した場合も含みます）、「プログラム互換性アシスタント」画面が表示された場合は、必ず［このプログラムは正しくインストールされました］をクリックしてください。
Network Extension MFP セットアップツール	「OKI Network Extension のアンインストール中にエラーが発生しました。既にアンインストールされている可能性があります。［プログラムと機能］の一覧から OKI Network Extension を削除しますか？」というメッセージが表示される。 （MFP セットアップツール時） 「OKI C3500 シリーズ MFP セットアップツールのアンインストール中にエラーが発生しました。既にアンインストールされている可能性があります。［プログラムと機能］の一覧から OKI C3500 シリーズ MFP セットアップツールを削除しますか？」というメッセージが表示される。	アンインストール時、「Install Wizard の完了」画面で［はい、今すぐコンピュータを再起動します］を選択し、［完了］をクリックすると、左記のメッセージが表示される場合がありますが、自動的に再起動され、アンインストールが正しく行われますので、問題ありません。
スキャン To ネットワーク PC	「ネットワーク PC ID とパスワードを確認してください サーバログイン失敗」 または 「ネットワーク PC ネットワーク管理者に連絡してください ファイル書き込み失敗」 と表示され、ファイルの保存に失敗する。	“スキャン To ネットワーク PC” 機能は Windows Vista に対応していません。

スキャナドライバに関する制限事項

スキャナドライバ・Hotkey ユーティリティに以下の制限事項が生じる場合があります。

一般的な制限事項

・OS・スキャンニングソフトに最新のアップデートを適用していない場合、正しいスキャン結果が得られない場合があります。
・スキャンニングソフトの制限事項
・スキャンニングソフトによっては、高解像度での読込みができない場合があります。
・スキャンニングソフトによっては、スキャン実行時のプログレスバーにスキャンニングソフト名が正しく表示されない場合があります。
・スキャンニングソフトによっては、スキャナドライバの画面がスキャンニングソフトの背後に隠れてしまう場合があります。
・スキャンニングソフトによっては、スキャナドライバ画面を非表示にしてスキャンした場合、正しいスキャン結果が得られない場合があります。
・スキャンニングソフトによっては、スキャナのテストを実行した時にテスト結果がエラーになる場合があります。
・スキャンニングソフトによっては、Hotkey ユーティリティのアプリケーション -1/ アプリケーション -2 の「アプリケーションの指定」に指定しても正しく起動しない場合があります。
・スキャンニングソフトによっては、WIA を使用して ADF から複数原稿をスキャンすると全頁がスキャンニングソフトに表示されない場合があります。その場合は TWAIN ドライバを使用して下さい。

Windows Vista の制限事項

・Hotkey ユーティリティの「メールに添付」を実行時、既定のプログラムが「Windows メール」の時に「Microsoft Office Outlook」が起動する場合があります。その場合は「プログラムのアクセスとコンピュータの既定の設定」で「Windows メール」を既定のプログラムに設定してください。
・Hotkey ユーティリティの設定画面で、「メールに添付」を実行した場合に起動するメールクライアントソフトは選択できません。Hotkey ユーティリティの「メールに添付」を実行した場合は OS の既定のメールクライアントソフトが起動されます。

Windows Server 2003 の制限事項

・Terminal Server（Windows コンポーネント）がインストールされている場合、スキャンニングソフトにスキャナドライバが認識されない場合があります。
・Windows Server2003 で WIA を使用する場合、スキャナドライバのインストール後 WIA サービスを手動で開始する必要があります。

Windows 2000 の制限事項

・スキャナドライバ・Hotkey ユーティリティをインストールした直後、Push スキャンができない場合があります。その場合は MFP を再起動してください。

Hotkey メールクライアントソフト Outlook との共存時の制限事項

・Microsoft Office Outlook と他メールクライアントソフトが共存した環境で Microsoft Office Outlook 以外のメールクライアントソフトを Hotkey で指定して、「メールに添付」を実行した場合「既定のﾒｰﾙｸﾗｲｱﾝﾄが設定されていないか、現在のﾒｰﾙｸﾗｲｱﾝﾄがﾒｰﾙを受け取れない状態にあります。Microsoft Office Outlook を起動して、既定のﾒｰﾙｸﾗｲｱﾝﾄに指定してください。」のメッセージが表示されます。OK ボタンで指定のメールクライアントソフトが起動します。

5 メンテナンスします

トナーカートリッジを交換します

トナーカートリッジの交換の目安

トナーが少なくなると操作パネルに［*トナー不足］（*は各色を表わします）のメッセージが表示されますので、新しいトナーカートリッジを準備してください。そのまま印刷を続けると［*トナー無し］を表示して印刷を停止しますので、トナーカートリッジを交換してください。
お使いの環境によっては、メッセージが表示される前に印刷が薄くなることもあります。このようなときは、トナーカートリッジを外して、イメージドラムカートリッジ内のトナーを確認し、空の場合は新しいトナーカートリッジに交換してください。
トナーカートリッジ交換の目安は、5%の印刷密度の場合（1 ページの印刷可能領域でトナーのついている面積の割合）、A4 サイズの用紙（片面印刷時）で以下の通りです。

- 標準カラートナーカートリッジの場合　：約 2,000 枚
- 標準ブラックトナーカートリッジの場合　：約 2,500 枚
- 小容量カラートナーカートリッジの場合　：約 1,000 枚
- 小容量ブラックトナーカートリッジの場合　：約 1,000 枚
- イメージドラムカートリッジ（単色）添付のトナーカートリッジの場合：約 500 枚

新しいドラムカートリッジに 1 本目のトナーカートリッジを取りつけたときの交換の目安は以下のようになります。これは、新しいイメージドラムカートリッジ内にトナーが入っていないので、1 本目のトナーカートリッジからトナーを充填するためです。

- 標準カラートナーカートリッジの場合　：約 1,200 枚
- 標準ブラックトナーカートリッジの場合　：約 1,700 枚
- 小容量カラートナーカートリッジの場合　：約 500 枚
- 小容量ブラックトナーカートリッジの場合　：約 500 枚
- イメージドラムカートリッジ（単色）添付のトナーカートリッジの場合：約 500 枚

メモ ［*トナー不足］を表示してから［*トナー無し］になるまでの目安は、約 200 枚です。（A4 サイズ、片面印刷、5%印刷密度の場合）

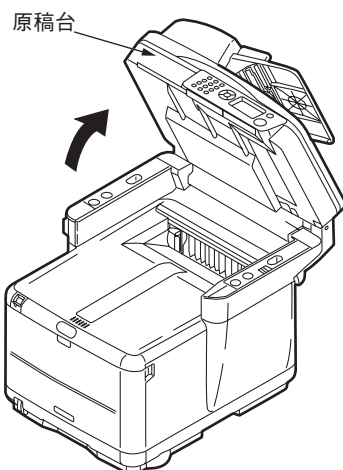
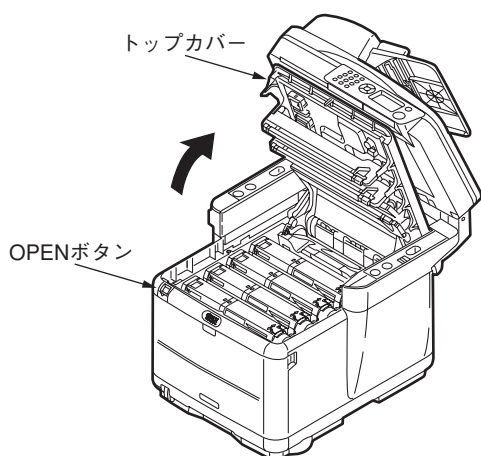
注
- スタータトナー（製品購入時に添付されているトナーカートリッジ）は、A4, 5% の印刷密度の場合、約 1,000 枚印刷可能です。
- 開封後 1 年以上経過すると印刷品質が低下しますので、新しいトナーカートリッジを準備してください。
- ［*トナー無し］表示の後も、トップカバーを開閉するとしばらくは印刷を続けることはできますが、イメージドラムカートリッジの故障の原因となりますので、トナーカートリッジを交換してください。
- 商品本来の性能を発揮させるために、沖データ純正の消耗品をご使用ください。
  純正品以外の消耗品をご使用になると、印刷品質の低下をはじめ本来の性能を発揮できない場合があります。
  純正品以外の消耗品をご使用になって生じた不具合の対応は、無償保障期間中あるいは保守契約期間中であっても有償となります。（純正品以外の消耗品の使用が全て不具合を起こすわけではありませんが、ご使用にあたっては十分にご留意ください。）

トナーカートリッジを交換します

1 トップカバーを開けます。

⚠注意	やけどのおそれがあります。

定着器ユニットは高温になっていますので、触らないでください。

原稿台

❶ 原稿台を持ち上げます。

トップカバー

OPENボタン

❷ OPEN ボタンを押し、トップカバーを開けます。

2 使用済みのトナーカートリッジを取り出します。

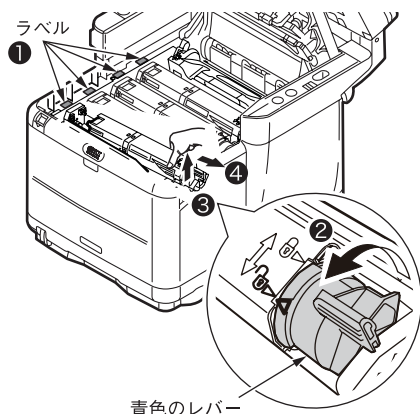
⚠警告	使用済みトナーカートリッジは絶対に火の中に入れないでください。中に入っているトナーが飛び散り爆発し、やけどのおそれがあります。

ラベル

❶

❷

❸

❹

青色のレバー

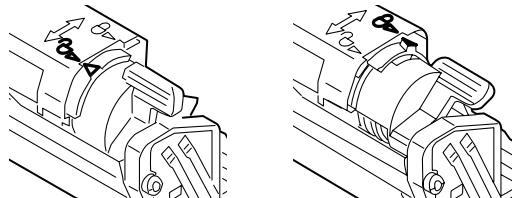
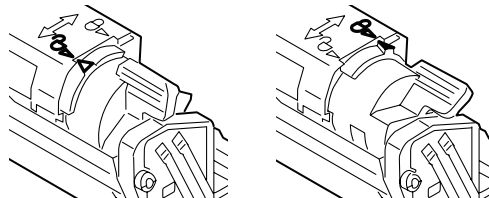
❶ 交換するトナーカートリッジをラベルの色で確認します。

❷ トナーカートリッジのレバー（青色）を矢印の方向に動かし、 の位置にレバーの◁を合わせます。

❸ トナーカートリッジのレバー側の端を持って、斜めに持ち上げます。

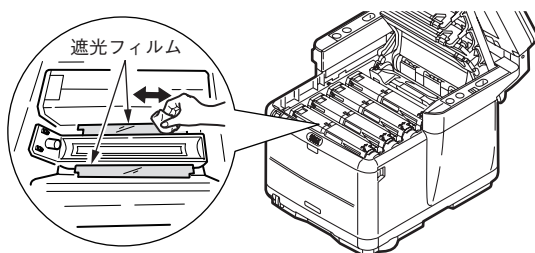
❹ トナーカートリッジを斜めにしたまま、横方向に引き抜きます。

【トナーカートリッジのレバー位置】

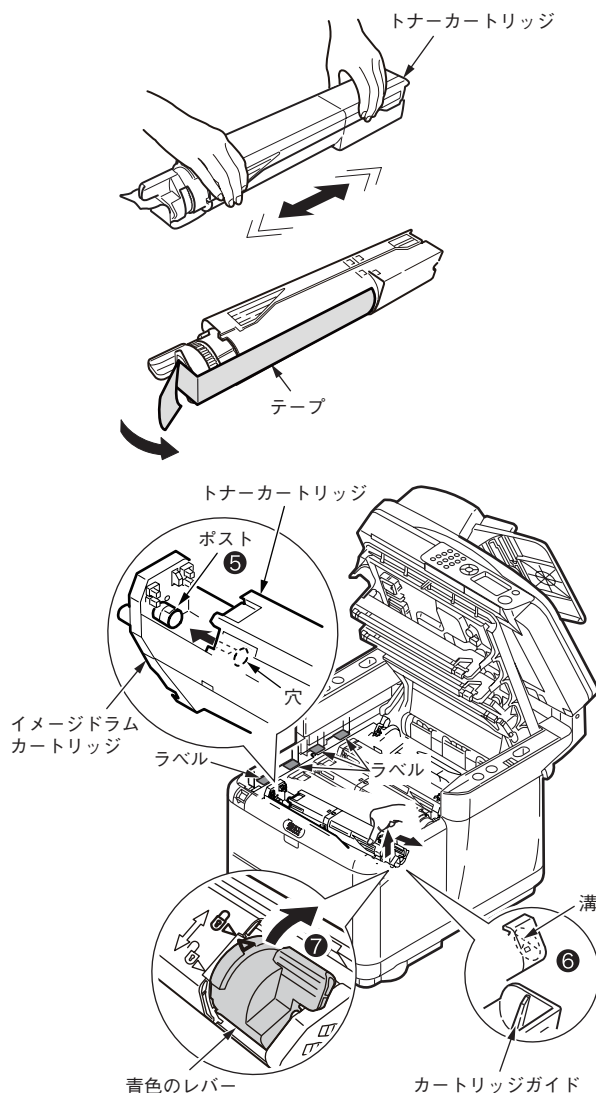
スタータトナーを外す位置　スタータトナーを取り付けた状態　通常のトナーを外す位置　通常のトナーを取り付けた状態

スタータトナーカートリッジの場合　通常のトナーカートリッジの場合

メモ　使用済みトナーカートリッジの回収を行っています。詳しくは「使用済み消耗品の回収について」（165 ページ）をご覧ください。やむを得ず処分される場合は、ポリ袋などに入れて、必ず地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

注

- トナーカートリッジのレバーと反対側はイメージドラムカートリッジのポストが差し込まれています。無理に持ち上げたり、引き抜くと、ポストが破損することがあります。
- スタータトナーがセットされている場合は、［*のトナーがなくなりました］になってから通常のトナーカートリッジと交換してください。

遮光フィルム

注　トナー交換時にイメージドラムカートリッジの遮光フィルムにトナーを落とした場合は、LED レンズにトナーがつく可能性があります。柔らかいティッシュペーパーで拭きとってください。

3 新しいトナーカートリッジをセットします。

❶ 新しいトナーカートリッジを包装袋から取り出します。新しいトナーカートリッジの色に間違いがないことを確認してください。

❷ 縦と横に数回振ります。

❸ トナーカートリッジを水平にして、テープをゆっくりとはがします。

❹ トナーカートリッジのラベルの色とイメージドラムカートリッジのラベルの色が合っていることを確認します。

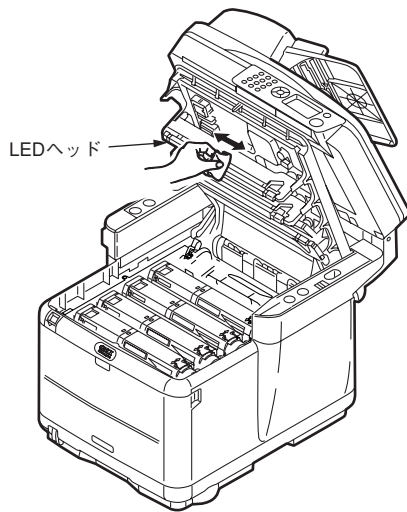
❺ テープをはがした面を下にして、トナーカートリッジの穴をイメージドラムカートリッジのポストにはめ込みます。

❻ トナーカートリッジの右側の溝をカートリッジガイドの突起にしっかり押し込みます。

❼ トナーカートリッジのレバー（青色）を矢印の方向に動かし、🔒▷ の位置にレバーの◁を合わせます。

注

- トナーカートリッジを無理に押し込まないでください。きちんと入らないときは、トナーカートリッジのレバーとイメージドラムカートリッジのラベルの色が合っているか確認してください。色が一致しないとトナーカートリッジは取り付けられないようになっています。
- トナーカートリッジがきちんと固定されていないと、印刷品質が低下することがあります。

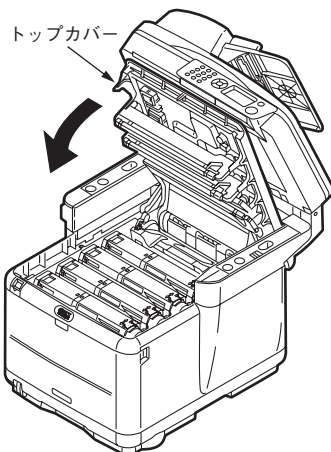
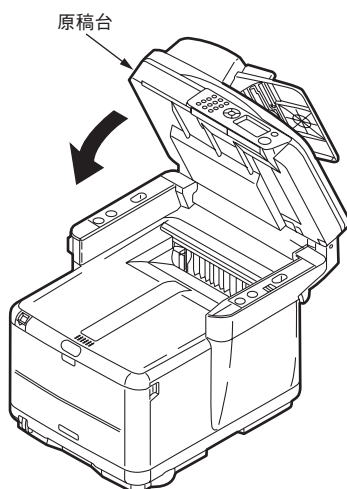
4 柔らかいティッシュペーパーで LED ヘッドのレンズ面を軽く拭きます。

LEDヘッド

注 メチルアルコールやシンナーなどの溶剤は、LED ヘッドを傷めますので使用しないでください。

5 トップカバーを閉じます。

トップカバー

❶ トップカバーを閉じます。

原稿台

❷ 原稿台を元の位置に戻します。原稿台を上から押さえ、プリンタ部に固定します。

メモ トナーカートリッジを交換しても、［＊のトナーがなくなりました］のメッセージが消えないときは、トナーカートリッジを取り付け直してください。

イメージドラムカートリッジを交換します

イメージドラムカートリッジ交換の目安

イメージドラムカートリッジの寿命が近づくと操作パネルに［＊イメージドラム交換準備］（＊は各色を表わします）のメッセージが表示されます。そのまま印刷を続けると［＊イメージドラム寿命］と表示されますが、しばらくは印刷可能です。更に印刷を続けると［＊イメージドラム寿命］を表示したまま印刷を停止します。

イメージドラムカートリッジ交換の目安は、A4 サイズの用紙（片面印刷時）で約 15,000 枚です。ただし、これは一般的な使用状況（一度に 3 枚ずつ）で印刷した場合の枚数です。1 枚ずつ印刷する場合には、約半分でドラム寿命になります。（連続印刷で約 20,000 枚に相当します。）

メモ ［＊イメージドラム交換準備］を表示してから［＊イメージドラム寿命］になるまでの目安は、約 500 枚です。（A4 サイズ、片面印刷、一度に 3 枚ずつ印刷した場合）

注

- トナーが残り少ない場合は、［＊イメージドラム交換準備］を表示した後、500 枚印刷する前に［＊イメージドラム寿命］と表示します。また、お使いの環境によっては、［＊イメージドラム寿命］を表示する前に、印刷が薄くなることがあります。
- 開封後 1 年以上経過すると印刷品質が低下しますので、新しいイメージドラムカートリッジを準備してください。
- 「＊イメージドラム寿命」表示の後も、トップカバーを開閉するとトナーが残っていれば印刷を続けることはできますが、印刷品質が低下することがありますので、早めに交換してください。（トナーがほとんど無くなっている場合は、トップカバーを開閉しても印刷はできません。）
- 封筒、はがき、ラベル紙、ごく厚い紙の場合、モノクロ印刷でもカラードラムを消費する場合があります。
- 商品本来の性能を発揮させるために、沖データ純正の消耗品をご使用ください。
  純正品以外の消耗品をご使用になると、印刷品質の低下をはじめ本来の性能を発揮できない場合があります。
  純正品以外の消耗品をご使用になって生じた不具合の対応は、無償保障期間中あるいは保守契約期間中であっても有償となります。（純正品以外の消耗品の使用が全て不具合を起こすわけではありませんが、ご使用にあたっては十分にご留意ください。）

イメージドラムカートリッジを交換します

1 トップカバーを開けます。

⚠注意	やけどのおそれがあります。

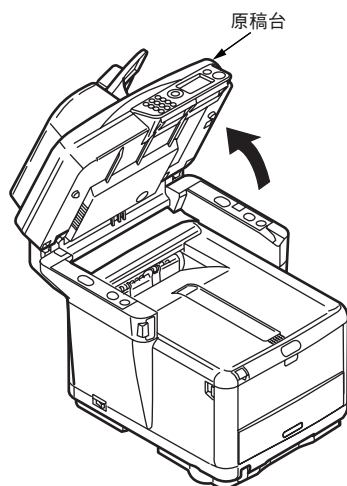
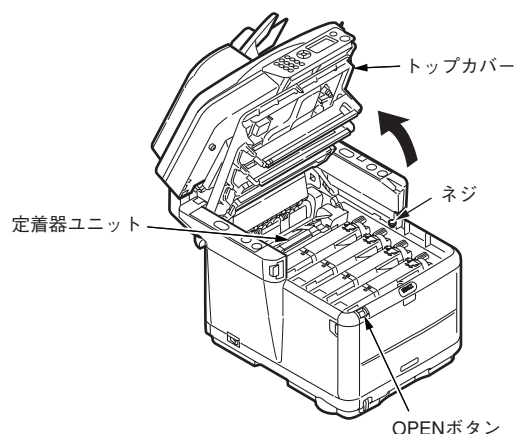
定着器ユニットは高温になっていますので、触らないでください。

原稿台

❶ 原稿台を持ち上げます。

トップカバー

ネジ

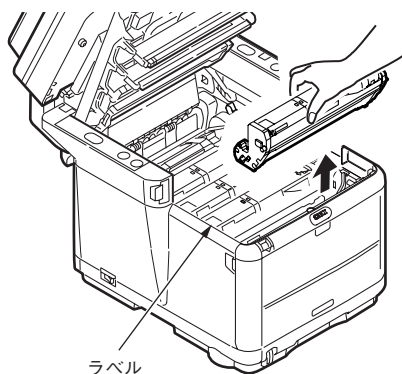
定着器ユニット

OPENボタン

❶ OPEN ボタンを押し、トップカバーを開けます。

❷ ネジに手を触れて、静電気を逃がします。

2 使用済みのイメージドラムカートリッジを取り出します。

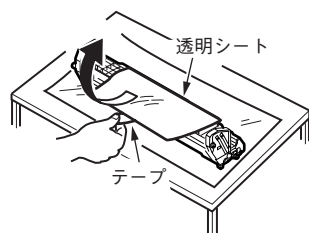
⚠警告	使用済みイメージドラムカートリッジとトナーカートリッジは絶対に火の中に入れないでください。中に入っているトナーが飛び散り爆発し、やけどのおそれがあります。

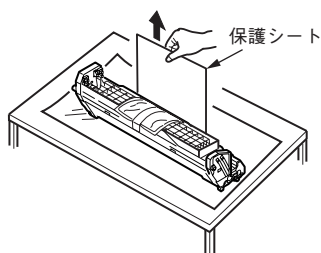
ラベル

❶ 交換するイメージドラムカートリッジをラベルの色で確認します。

❷ トナーカートリッジをつけたまま、イメージドラムカートリッジを取り出します。

メモ　使用済みイメージドラムカートリッジとトナーカートリッジの回収を行っています。詳しくは「使用済み消耗品の回収について」（165ページ）をご覧ください。やむを得ず処分される場合は、ポリ袋などに入れて、必ず地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

3 新しいイメージドラムカートリッジを準備します。

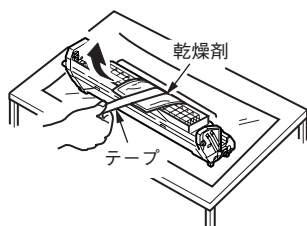
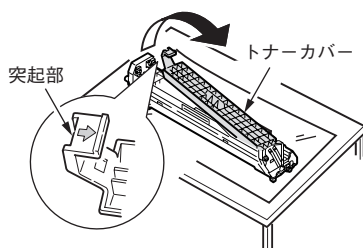
注
- イメージドラムを傾けないでください。トナーがこぼれる場合があります。
- イメージドラム（緑の筒の部分）は、非常に傷つきやすいため取り扱いには十分注意してください。
- イメージドラムカートリッジは、直射日光や強い光（約 1500 ルクス以上）に当てないでください。室内の照明の下でも 5 分間以上は放置しないでください。

透明シート
テープ

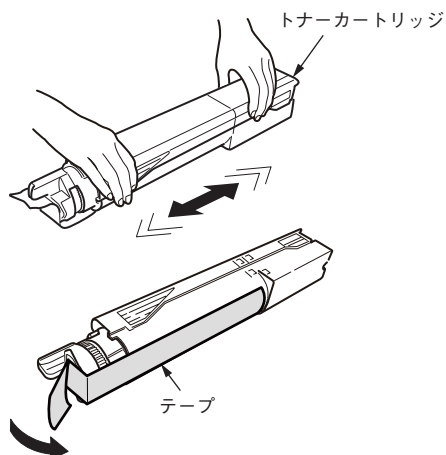
❶ 透明シートを止めているテープをはがし、矢印の方向に引き抜きます。

保護シート

❷ 保護シートを矢印の方向に引き抜きます。

乾燥剤
テープ

❸ 乾燥剤を取り外します。

突起部
トナーカバー

❹ トナーカバーの突起部を矢印の方向に押し、トナーカバーを取り外します。

4 新しいトナーカートリッジをイメージドラムカートリッジに取り付けます。

トナーカートリッジ
テープ

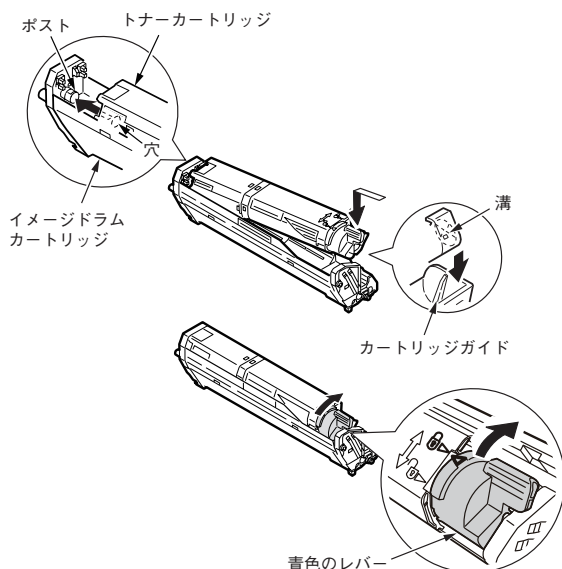
❶ 新しいトナーカートリッジを包装袋から取り出します。

❷ 新しいトナーカートリッジの色を確認します。

❸ 縦と横に数回振ります。

❹ トナーカートリッジを水平にして、テープをゆっくりとはがします。

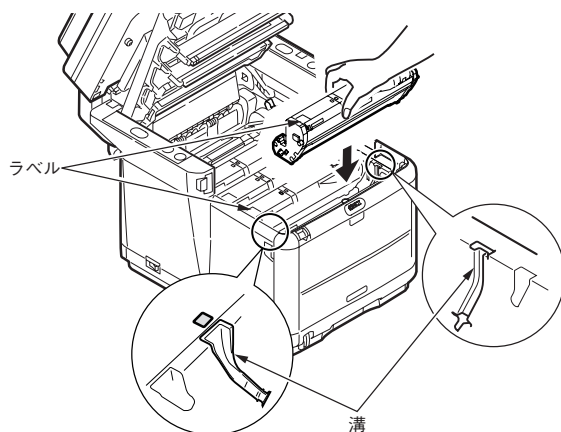
❺ トナーカートリッジのラベルの色とイメージドラムカートリッジのラベルの色が合っていることを確認します。

ポスト
トナーカートリッジ
穴
イメージドラム
カートリッジ
溝
カートリッジガイド
青色のレバー

❻ テープをはがした面を下にして、トナーカートリッジの穴をイメージドラムカートリッジのポストにはめ込みます。

❼ トナーカートリッジの右側の溝をカートリッジガイドの突起にしっかり押し込みます。

❽ トナーカートリッジのレバー（青色）を矢印の方向に動かし、🔒▷ にレバーの◁を合わせます。

5 イメージドラムカートリッジをセットします。

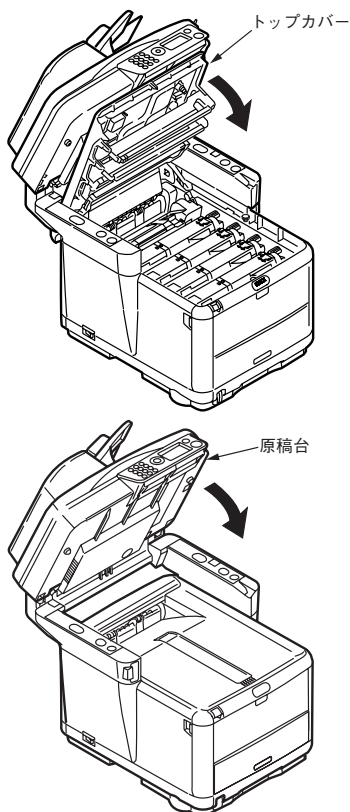
ラベル
溝

❶ イメージドラムカートリッジのラベルの色と MFP のラベルの色が合っていることを確認します。

❷ イメージドラムカートリッジの左右の突起（銀色）を MFP 本体の溝に合わせて、静かにセットします。

6 トップカバーを閉じます。

トップカバー

❶ トップカバーを閉じます。

原稿台

❷ 原稿台を元の位置に戻します。原稿台を上から押さえ、プリンタ部に固定します。

ベルトユニットを交換します

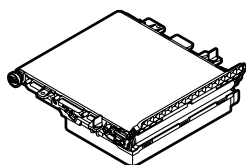
ベルトユニット交換の目安

ベルトユニットの交換時期になると、操作パネルに［ベルトユニット交換準備］のメッセージが表示されます。そのまま印刷を続けると［ベルトを交換してください］を表示し印刷を停止しますので、新しいベルトユニットに交換してください。

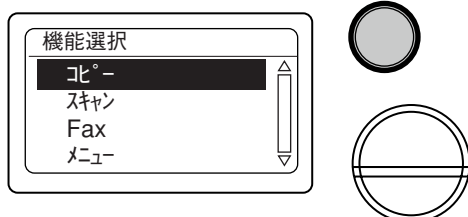
ベルトユニット交換の目安は、A4 サイズの用紙（片面印刷時）で約 50,000 枚です。ただし、これは一般的な使用状況で印刷した場合（一度に 3 枚ずつ）の枚数です。1 枚ずつ印刷する場合には、約半分でベルトユニットの寿命になります。

メモ ［ベルトユニット交換準備］を表示してから［ベルトを交換してください］になるまでの目安は、約 750 枚です。（A4 サイズ、片面印刷、一度に 3 枚ずつ印刷した場合）

注 「ベルトを交換してください」表示の後も、トップカバーを開閉するとしばらくは印刷を続けることはできますが、MFP の故障の原因となりますので、ベルトユニットを交換してください。

ベルトユニット

ベルトユニット：型名 BLT-C4E

ベルトユニットを交換します

1 MFP の電源を切ります。

機能選択
コピー
スキャン
Fax
メニュー

❶ 機能選択画面を表示していることを確認します。機能選択画面を表示していないときは、ストップボタンを押し、機能選択画面を表示します。

機能選択
コピー
スキャン
Fax
メニュー

❷ 操作パネルの キーまたは キーを押して［メニュー］を選択し、キーを押します。

機能選択
スキャナ メニュー
Fax メニュー
装置調整メニュー
システムシャットダウン

❸ キーまたは キーを押して［システムシャットダウン］を選択し、キーを押します。

システムシャットダウン
実行

❹［実行］が選択されているので、キーを押します。

❺ 操作パネルに［電源を切ってください］と表示されたら、電源スイッチのOFF（○）を押します。

注 いきなり電源を切ると、プリンタに損傷を与え、使用不能になることがあります。

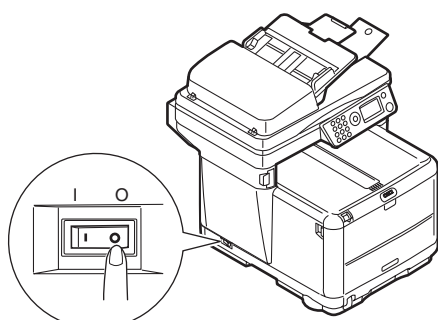
注
- 印刷中は電源を切らないでください。
- 電源コードを外すときは、最初にコンセントから電源プラグを抜き、次にアース線を外してください。
- 連休や旅行で長期間使用しない場合は、電源コードを抜いてください。また、定着器にストッパリリースを取り付けてください。

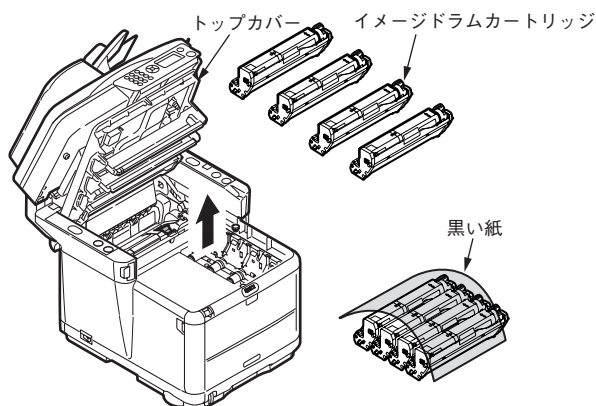
2 トップカバーを開けます。

⚠注意	やけどのおそれがあります。

定着器ユニットは高温になっていますので、触らないでください。

❶ 原稿台を持ち上げます。

❷ OPEN ボタンを押し、トップカバーを開けます。

❸ ネジに手を触れて、静電気を逃がします。

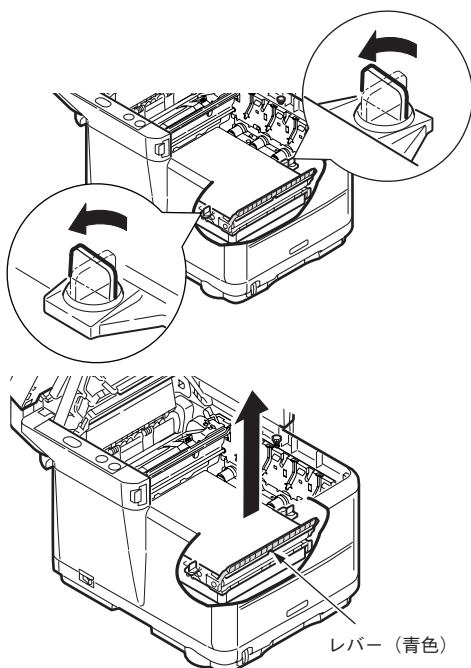
3 イメージドラムを取り出します。

トップカバー イメージドラムカートリッジ 黒い紙

❶ イメージドラムカートリッジ（4 個）を取り出し、平らなテーブルの上に置きます。

❷ 取り出したイメージドラムカートリッジに黒い紙をかぶせます。

注
- イメージドラム（緑の筒の部分）は、非常に傷つきやすいため、取り扱いには十分注意してください。
- イメージドラムカートリッジは直射日光や強い光（約 1500 ルクス以上）に当てないでください。室内の照明の下でも 5 分間以上は放置しないでください。

4 使用済みのベルトユニットを取り外します。

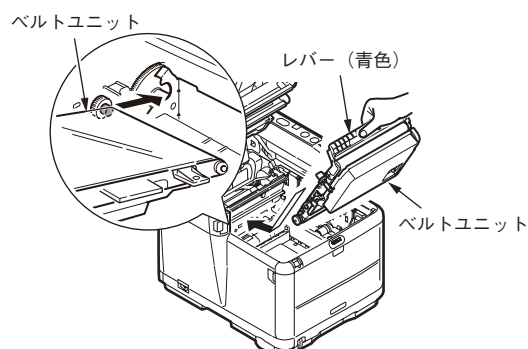
⚠警告	使用済みベルトユニットは絶対に火の中に入れないでください。中に入っているトナーが飛び散り爆発し、やけどのおそれがあります。

❶ ロックレバー（青色、2 ヶ所）を の方向に回転し、ロックを解除します。

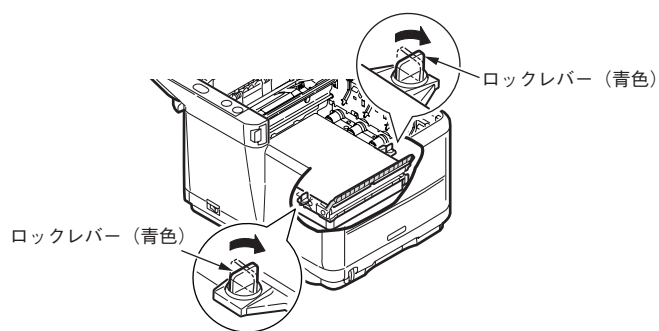
❷ ベルトユニットのレバー（青色）を持ち、静かに取り出します。

レバー（青色）

メモ 使用済みベルトユニットの回収を行っています。詳しくは「使用済み消耗品の回収について」（165 ページ）をご覧ください。やむを得ず処分される場合は、ポリ袋などに入れて、必ず地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

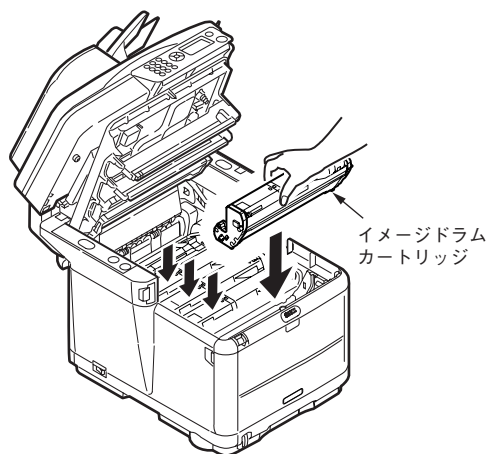
5 新しいベルトユニットをセットします。

ベルトユニット レバー（青色） ベルトユニット

❶ 新しいベルトユニットを包装袋から取り出します。

❷ ベルトユニットのレバー（青色）を持ち、ベルトユニットをセットします。

ロックレバー（青色）

ロックレバー（青色）

❸ ロックレバー（青色、2ヶ所）を の方向に回転し、ベルトユニットが確実に固定されたことを確認します。

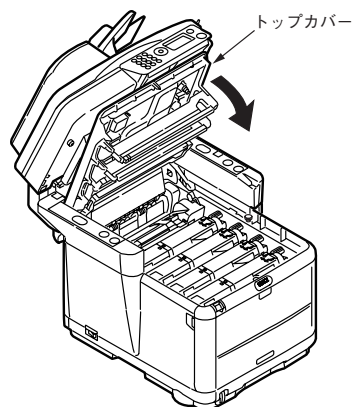
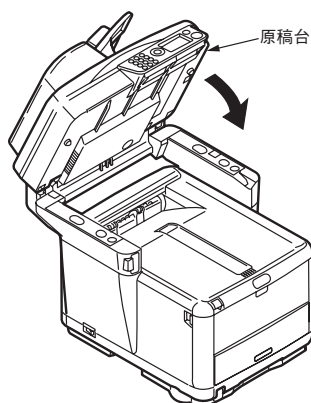
6 イメージドラムカートリッジをセットします。

イメージドラム
カートリッジ

❶ イメージドラムカートリッジ４本を元の位置に戻します。

7 トップカバーを閉じます。

トップカバー

❶ トップカバーを閉じます。

原稿台

❷ 原稿台を元の位置に戻します。原稿台を上から押さえ、プリンタ部に固定します。

注 イメージドラムカートリッジがセットできなかったり、トップカバーが閉まらない場合は、ベルトユニットのロックレバーの位置を確認してください。

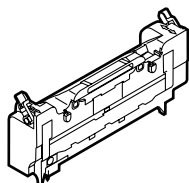
定着器ユニットを交換します

定着器ユニット交換の目安

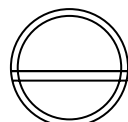
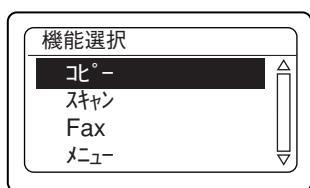
定着器ユニットの交換時期になると、操作パネルに[定着器の寿命が近づいています]のメッセージが表示されます。そのまま印刷を続けると[定着器を交換してください]のメッセージが表示され、印刷を停止しますので、新しい定着器ユニットに交換してください。
定着器ユニット交換の目安は、A4 サイズの用紙（片面印刷時）で約 50,000 枚です。

メモ ［定着器の寿命が近づいています］を表示してから［定着器を交換してください］になるまでの目安は、A4 サイズ（片面印刷）で約 750 枚です。

注 「定着器を交換してください」表示の後も、トップカバーを開閉するとしばらくは印刷を続けることはできますが、MFP の故障や紙づまりの原因となりますので、定着器ユニットを交換してください。

定着器ユニット

定着器ユニット : 型名 FUS-C4F

定着器ユニットを交換します

1 MFP の電源を切ります。

機能選択
コピー
スキャン
Fax
メニュー

❶ 機能選択画面を表示していることを確認します。機能選択画面を表示していないときは、 ストップボタンを押し、機能選択画面を表示します。

機能選択
コピー
スキャン
Fax
メニュー

❷ 操作パネルの キーまたは キーを押して［メニュー］を選択し、 キーを押します。

機能選択
スキャナ メニュー
Fax メニュー
装置調整メニュー
システムシャットダウン

❸ キーまたは キーを押して［システムシャットダウン］を選択し、 キーを押します。

システムシャットダウン
実行

❹［実行］が選択されているので、 キーを押します。

❺ 操作パネルに［電源を切ってください］と表示されたら、電源スイッチのOFF(○)を押します。

注 いきなり電源を切ると、プリンタに損傷を与え、使用不能になることがあります。

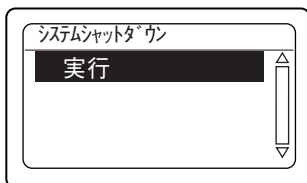
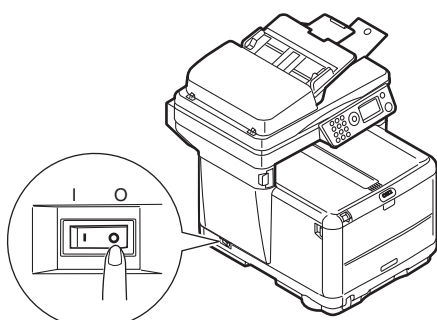
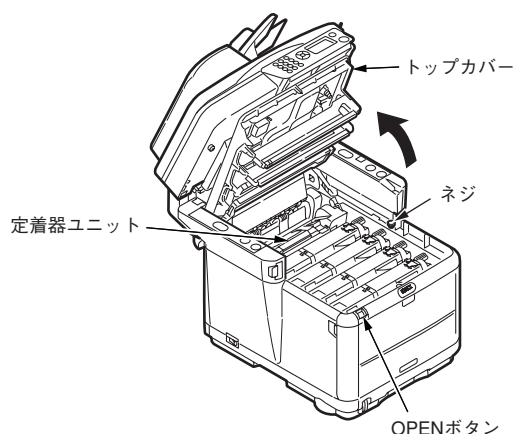
注
- 印刷中は電源を切らないでください。
- 電源コードを外すときは、最初にコンセントから電源プラグを抜き、次にアース線を外してください。
- 連休や旅行で長期間使用しない場合は、電源コードを抜いてください。また、定着器にストッパリリースを取り付けてください。

2 トップカバーを開けます。

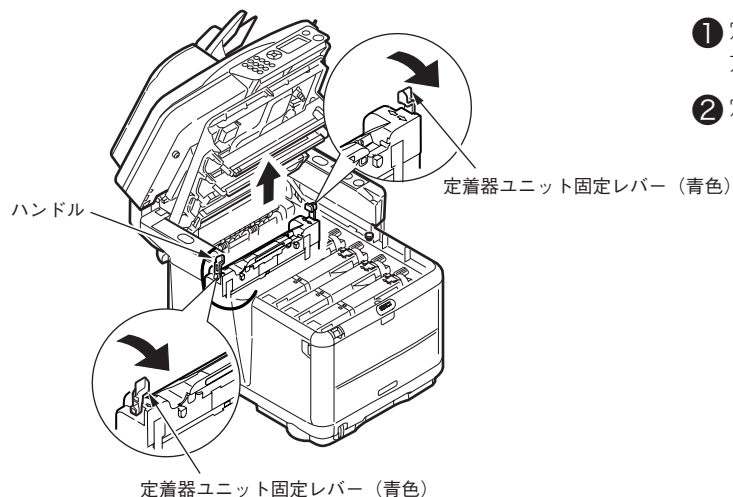
⚠注意	やけどのおそれがあります。	⚠

定着器ユニットは高温になっていますので、触らないでください。

❶ 原稿台を持ち上げます。

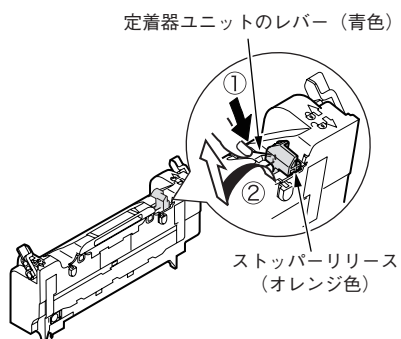
❶ OPEN ボタンを押し、トップカバーを開けます。

❷ ネジに手を触れて、静電気を逃がします。

3 使用済みの定着器ユニットを取り出します。

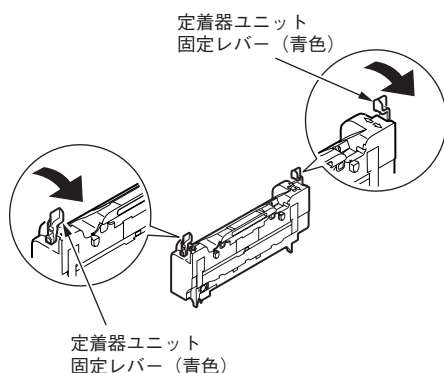
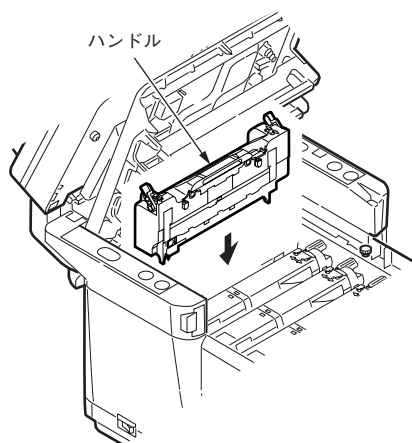
⚠注意	やけどのおそれがあります。

定着器ユニットは高温になっています。手を触れないよう十分注意をしてください。熱いときは無理をせず、冷めるまで待ってから作業を行ってください。

❶ 定着器ユニット固定レバー（青色、2ヶ所）を矢印の方向へ起します。

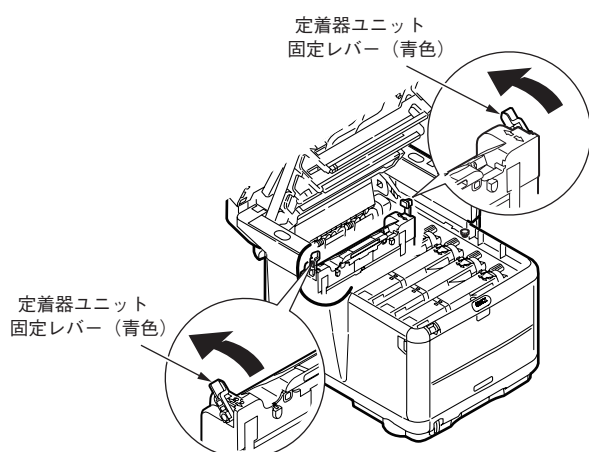
❷ 定着器ユニットのハンドルを持ち、取り出します。

メモ 使用済みの定着器ユニットの回収を行っています。詳しくは、「使用済み消耗品の回収について」（165 ページ）をご覧ください。やむを得ず処分される場合は、ポリ袋などに入れて、必ず地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

4 新しい定着器ユニットをセットします。

❶ 新しい定着器ユニットを包装袋から取り出します。

❷ 定着器ユニットのレバー（青色）を矢印①の方向へ押し下げながら、ストッパーリリース（オレンジ色）を矢印②の方向へ取り外します。

❸ 定着器ユニット固定レバー（青色、2ヶ所）が倒れている場合は起こします。

ハンドル

❹ 定着器ユニットのハンドルを持ち、定着器ユニットをMFP の中へ静かに入れます。

定着器ユニット
固定レバー（青色）

定着器ユニット
固定レバー（青色）

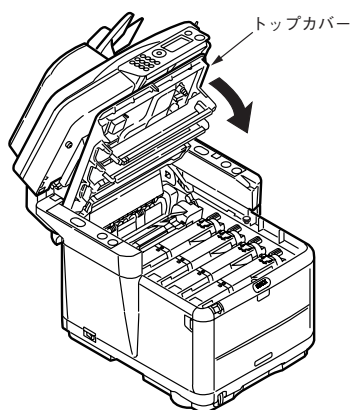
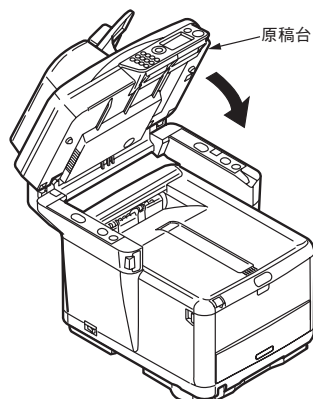
❺ 定着器ユニット固定レバー（青色、2 ヶ所）を奥側に倒し、固定します。

注 ストッパーリリースは MFP を輸送するときに使います。必ず保管してください。

5 トップカバーを閉じます。

トップカバー

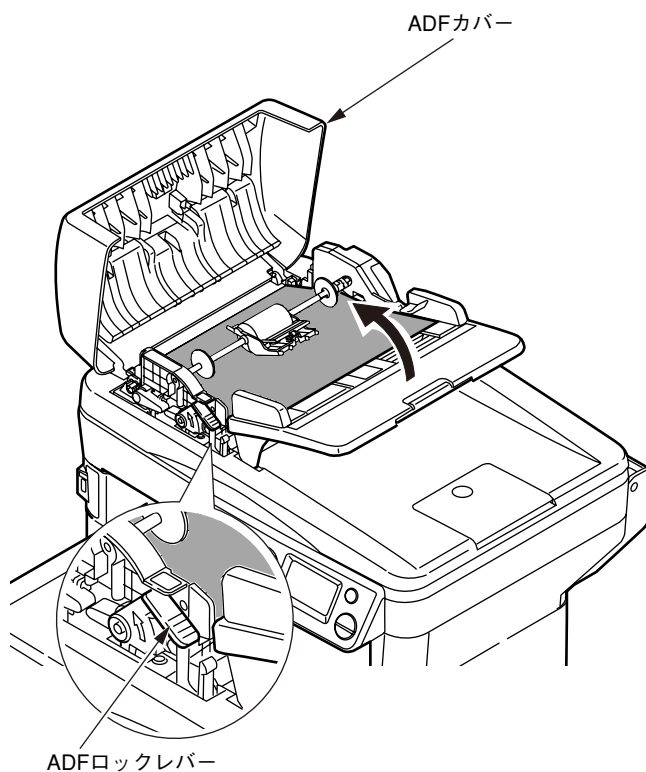
❶ トップカバーを閉じます。

原稿台

❷ 原稿台を元の位置に戻します。原稿台を上から押さえ、プリンタ部に固定します。

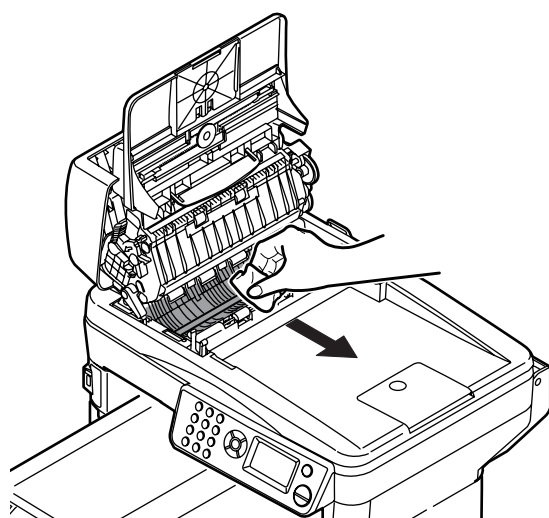
ADF(オートドキュメントフィーダ)の原稿走行路を清掃します

ADF（オートドキュメントフィーダ）から読み取ったデータに汚れがあるときは、以下の方法で原稿走行路を清掃してください。

ADFカバー

ADFロックレバー

1 MFP の電源を切ります。

2 ADF（オートドキュメントフィーダ）のカバーを開けます。

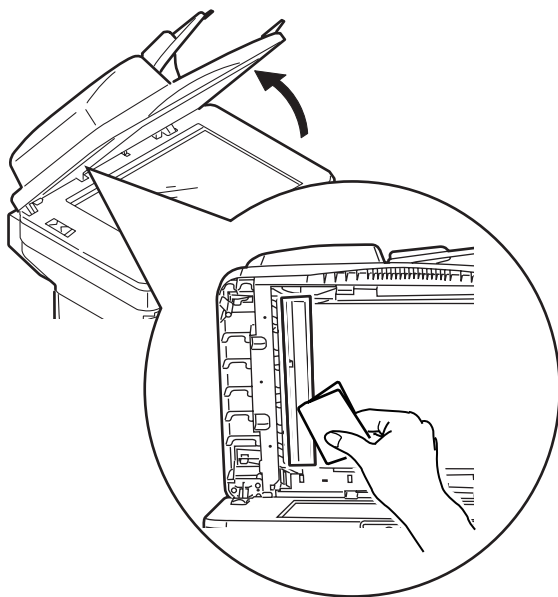
3 ADFのロックレバーをつまみ、原稿トレイを起こします。

4 柔らかい布を使って、原稿走行路（透明な部分）を矢印の方向にはき出すように拭きます。

注 ベンジンやシンナー、アルコールなどは使わないでください。

5 原稿トレイを元の位置に戻します。

6 ADFカバーを閉じます。

ADF(オートドキュメントフィーダ)の原稿走行路を清掃します

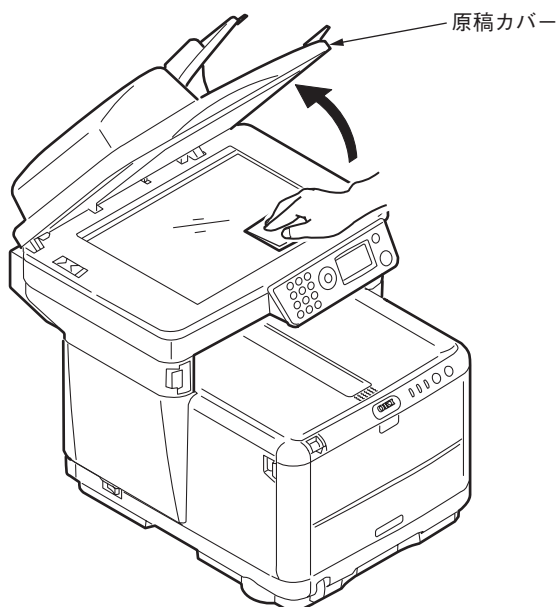
ADF(オートドキュメントフィーダ)から読み取ったデータに汚れがあるときは、以下の方法で原稿走行路を清掃してください。

❶ 原稿カバーを開けます。

❷ 柔らかい布を使って、原稿カバーの裏側の透明な部分を拭きます。

注 ベンジンやシンナー、アルコールなどは使わないでください。

❸ 原稿カバーを閉じます。

原稿台ガラスを清掃します

原稿台やADF(オートドキュメントフィーダ)から読み取ったデータに汚れがあるときは、以下の方法で原稿台ガラスを清掃してください。

原稿カバー

❶ 原稿カバーを開けます。

❷ 柔らかい布を使って、原稿台ガラスを拭きます。

注 ベンジンやシンナー、アルコールなどは使わないでください。

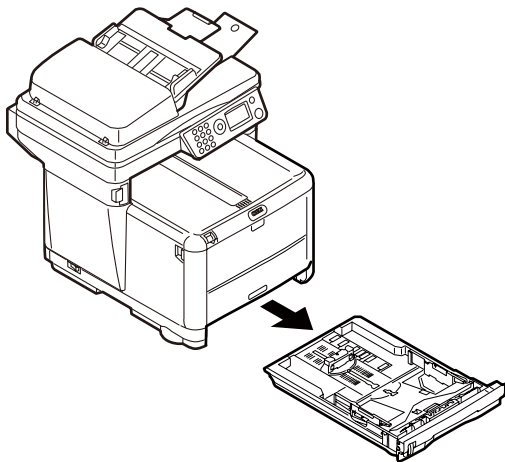
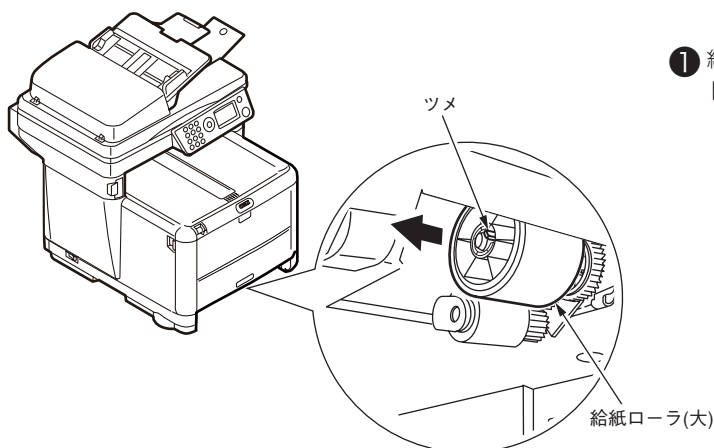
❸ 原稿カバーを閉じます。

給紙ローラとパッドを清掃します

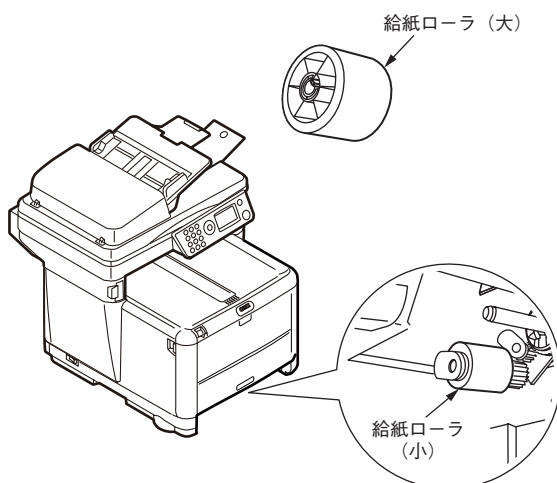
［給紙ジャム］が頻発する場合に行ってください。

1 用紙カセットを抜きます。

2 給紙ローラ(大)を外します。

ツメ

給紙ローラ(大)

❶ 給紙ローラ（大)のツメを広げ、矢印の方向にスライドして外します。

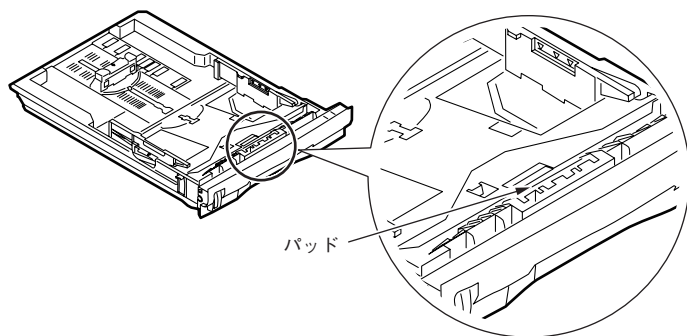
3 給紙ローラ(大)、(小)を拭きます。

給紙ローラ（大）

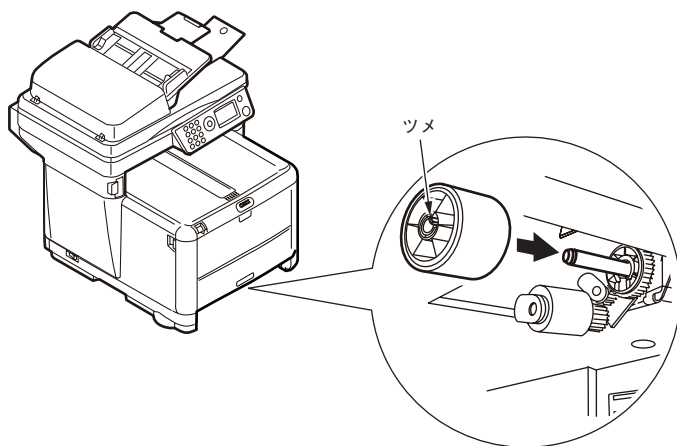
給紙ローラ（小）

❶ 水を含ませてかたく絞った布で給紙ローラ（大)を拭きます。

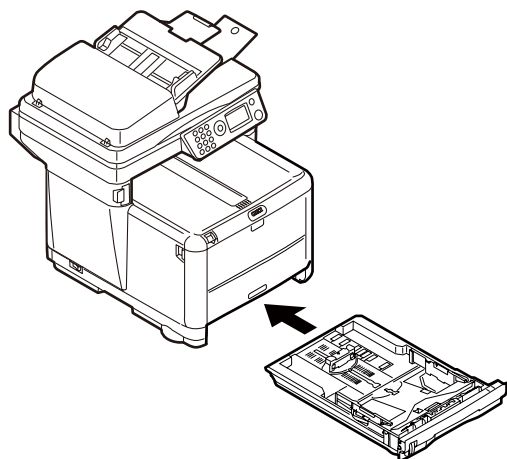
❷ 同様に、MFP 内部の給紙ローラ（小)を拭きます。

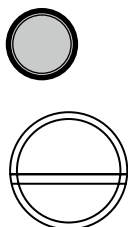
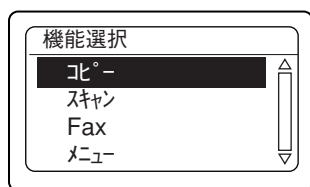
注 給紙ローラ（小)は外れません。取り付けたまま拭いてください。

4 用紙カセットのパッド部分を拭きます。

❶ 水を含ませてかたく絞った布で、用紙カセットのパッド部分を拭きます。

5 給紙ローラ(大)を取り付けます。

❶ 給紙ローラ（大）を軸に差し込み、固定します。

しっかり固定しない場合は、ローラをゆっくり回転させながら差し込みます。

6 用紙カセットを MFP に戻します。

LED ヘッドを清掃します

印刷時にかすれや白いすじが入ったり、文字がにじんだりする場合に行ってください。

1 MFP の電源を OFF にします。

機能選択
コピー
スキャン
Fax
メニュー

❶ 機能選択画面を表示していることを確認します。機能選択画面を表示していないときは、ストップボタンを押し、機能選択画面を表示します。

機能選択
コピー
スキャン
Fax
メニュー

❷ 操作パネルの キーまたは キーを押して［メニュー］を選択し、 キーを押します。

機能選択
スキャナ メニュー
Fax メニュー
装置調整メニュー
システムシャットダウン

❸ キーまたは キーを押して［システムシャットダウン］を選択し、 キーを押します。

システムシャットダウン
実行

❹［実行］が選択されているので、 キーを押します。

❺ 操作パネルに［電源を切ってください］と表示されたら、電源スイッチの OFF(○)を押します。

注 いきなり電源を切ると、プリンタに損傷を与え、使用不能になることがあります。

注
- 印刷中は電源を切らないでください。
- 電源コードを外すときは、最初にコンセントから電源プラグを抜き、次にアース線を外してください。
- 連休や旅行で長期間使用しない場合は、電源コードを抜いてください。また、定着器にストッパリリースを取り付けてください。

2 トップカバーを開けます。

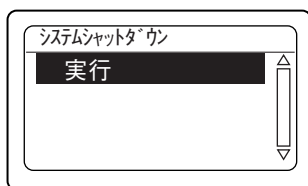
⚠注意	やけどのおそれがあります。

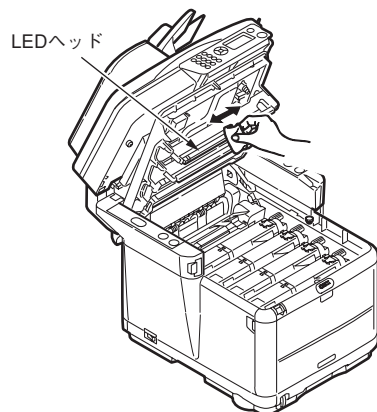
定着器ユニットは高温になっていますので、触らないでください。

原稿台

❶ 原稿台を持ち上げます。

トップカバー

OPENボタン

❷ OPEN ボタンを押し、トップカバーを開けます。

3 LED ヘッドのレンズ面（4 ヶ所）を軽く拭きます。

LEDヘッド

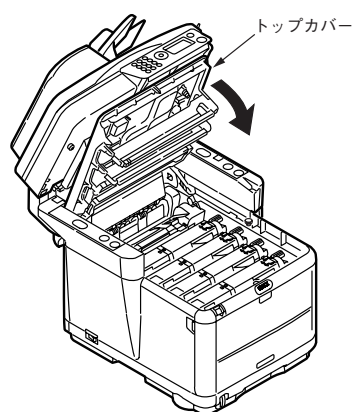
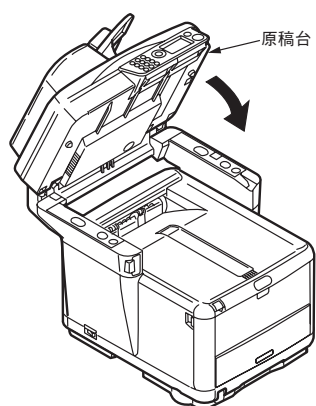
❶ 柔らかいティッシュペーパーで、LED ヘッドのレンズ面（4 ヶ所）を軽く拭きます。

注 メチルアルコールやシンナーなどの溶剤は、LED ヘッドを傷めますので使用しないでください。

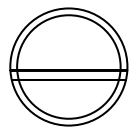
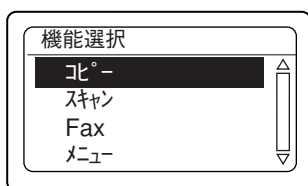
4 トップカバーを閉じます。

トップカバー

❶ トップカバーを閉じます。

原稿台

❷ 原稿台を元の位置に戻します。原稿台を上から押さえ、プリンタ部に固定します。

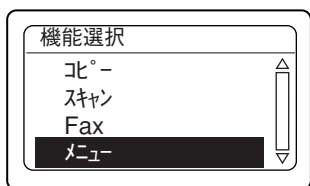
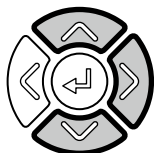
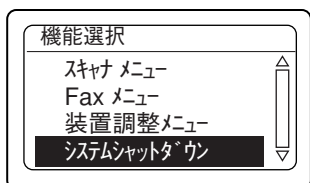
MFP 表面を清掃します

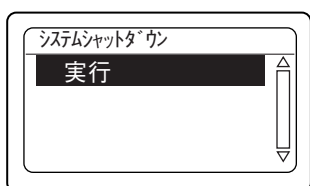
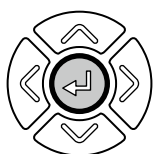
1 MFP の電源を切ります。

機能選択
コピー
スキャン
Fax
メニュー

❶ 機能選択画面を表示していることを確認します。機能選択画面を表示していないときは、ストップボタンを押し、機能選択画面を表示します。

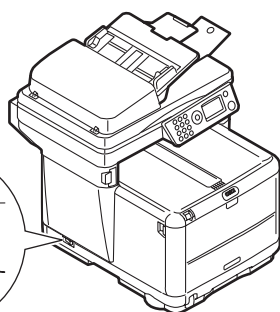
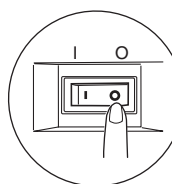
機能選択
コピー
スキャン
Fax
メニュー

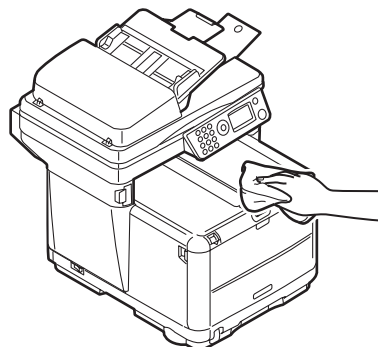
❷ 操作パネルの キーまたは キーを押して［メニュー］を選択し、 キーを押します。

機能選択
スキャナ メニュー
Fax メニュー
装置調整メニュー
システムシャットダウン

❸ キーまたは キーを押して［システムシャットダウン］を選択し、 キーを押します。

システムシャットダウン
実行

❹［実行］が選択されているので、 キーを押します。

❺ 操作パネルに［電源を切ってください］と表示されたら、電源スイッチのOFF(○)を押します。

注 いきなり電源を切ると、プリンタに損傷を与え、使用不能になることがあります。

注
- 印刷中は電源を切らないでください。
- 電源コードを外すときは、最初にコンセントから電源プラグを抜き、次にアース線を外してください。
- 連休や旅行で長期間使用しない場合は、電源コードを抜いてください。また、定着器にストッパリリースを取り付けてください。

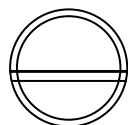
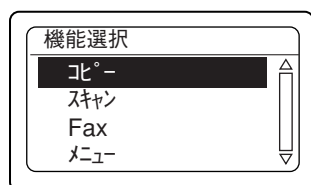
2 MFP の表面を拭きます。

❶ 水または中性洗剤を含ませて、かたく絞った布で拭きます。

❷ 柔らかい乾いた布で拭きます。

注
- 水または中性洗剤以外は使用しないでください。
- 本機は油をさす必要はありません。注油しないでください。

MFP 内部を清掃します

印刷パターンにより定着器とシアンイメージドラムカートリッジの間の金属シャフトにトナーが付着する場合があります。
金属シャフトにトナーが付着した場合に行ってください。

1 MFP の電源を OFF にします。

機能選択
コピー
スキャン
Fax
メニュー

❶ 機能選択画面を表示していることを確認します。機能選択画面を表示していないときは、 ストップボタンを押し、機能選択画面を表示します。

❷ 操作パネルの キーまたは キーを押して［メニュー］を選択し、 キーを押します。

機能選択
スキャナ メニュー
Fax メニュー
装置調整メニュー
システムシャットダウン

❸ キーまたは キーを押して［システムシャットダウン］を選択し、 キーを押します。

システムシャットダウン
実行

❹［実行］が選択されているので、 キーを押します。

❺ 操作パネルに［電源を切ってください］と表示されたら、電源スイッチの OFF（○）を押します。

注 いきなり電源を切ると、プリンタに損傷を与え、使用不能になることがあります。

注
- 印刷中は電源を切らないでください。
- 電源コードを外すときは、最初にコンセントから電源プラグを抜き、次にアース線を外してください。
- 連休や旅行で長期間使用しない場合は、電源コードを抜いてください。また、定着器にストッパリリースを取り付けてください。

2 トップカバーを開けます。

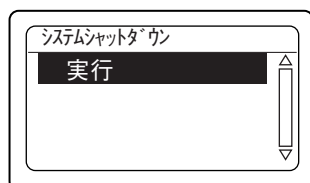
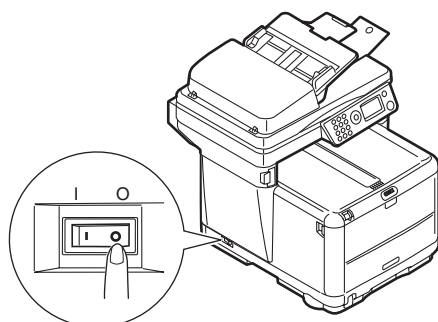
⚠注意	やけどのおそれがあります。

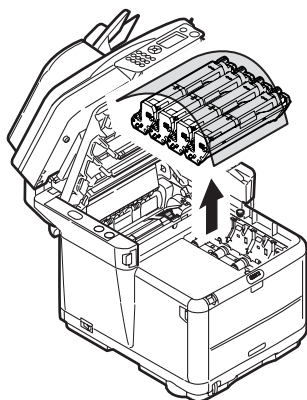
定着器ユニットは高温になっていますので、触らないでください。

原稿台

❶ 原稿台を持ち上げます。

トップカバー

OPENボタン

❷ OPEN ボタンを押し、トップカバーを開けます。

3 イメージドラムカートリッジを取り出します。

❶ イメージドラムカートリッジ（4 個）を取り出し、平らなテーブルの上に置きます。

❷ 取り出したイメージドラムカートリッジに黒い紙をかぶせます。

注

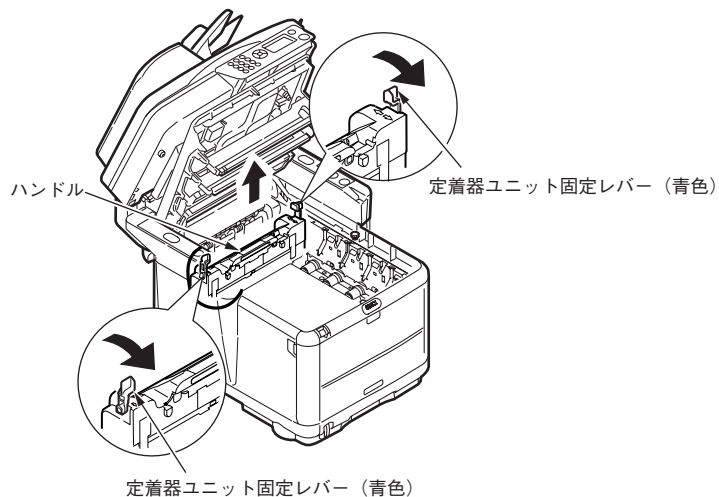
- イメージドラム（緑の筒の部分）は、非常に傷つきやすいため、取り扱いには十分注意してください。
- イメージドラムカートリッジは直射日光や強い光（約 1500 ルクス以上）に当てないでください。室内の照明の下でも 5 分間以上は放置しないでください。

4 定着器ユニットを取り出します。

⚠注意	やけどのおそれがあります。	

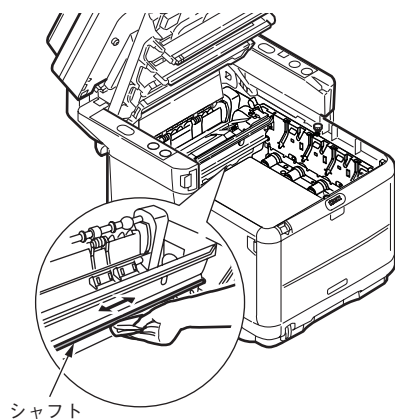
定着器ユニットは高温になっています。手を触れないよう十分注意をしてください。熱いときは無理をせず、冷めるまで待ってから作業を行ってください。

ハンドル

定着器ユニット固定レバー（青色）

定着器ユニット固定レバー（青色）

❶ 定着器ユニット固定レバー（青色、2ヶ所）を矢印の方向へ起します。

❷ 定着器ユニットのハンドルを持ち、取り出します。

5 金属シャフトを拭きます。

シャフト

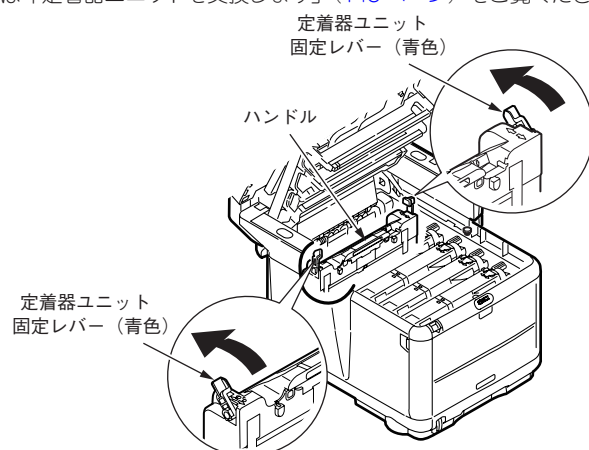
❶ 柔らかい布、またはティッシュペーパーで、金属シャフトを拭きます。

6 定着器ユニットをセットします。

詳しくは「定着器ユニットを交換します」（143 ページ）をご覧ください。

定着器ユニット
固定レバー（青色）

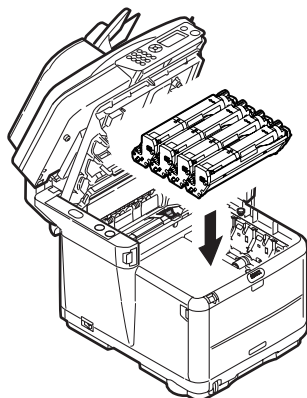
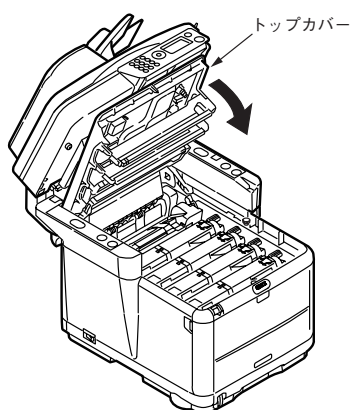
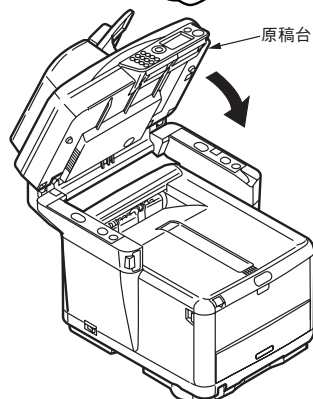
ハンドル

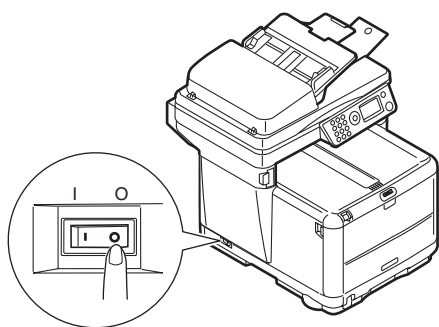
定着器ユニット
固定レバー（青色）

7 イメージドラムカートリッジ(4 個)を静かに MFP に戻します。

8 トップカバーを閉じます。

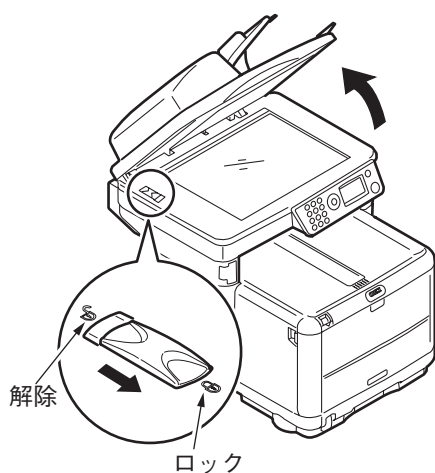
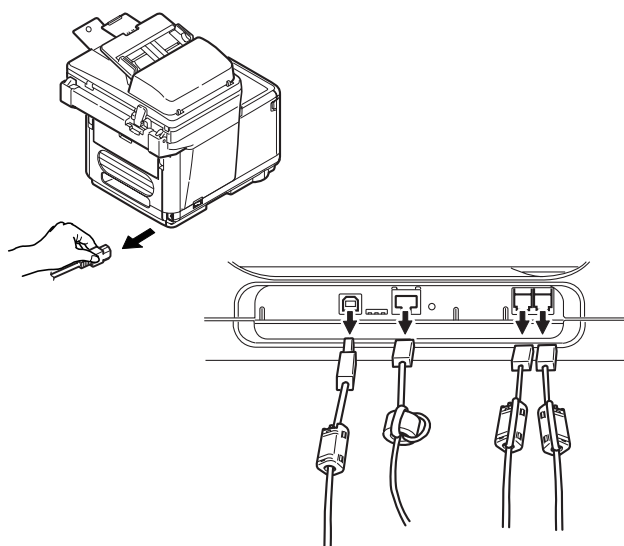
トップカバー

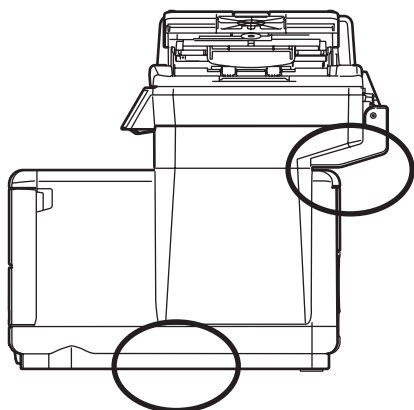
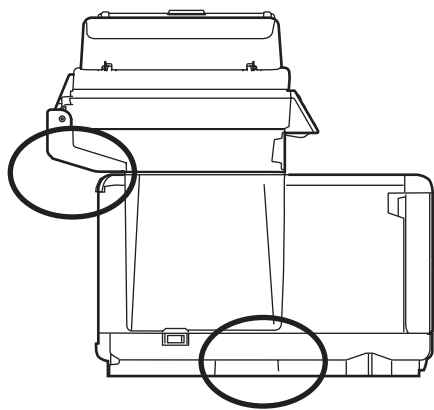
❶ トップカバーを閉じます。

原稿台

❷ 原稿台を元の位置に戻します。原稿台を上から押さえ、プリンタ部に固定します。

C3530MFP を移動するとき

❶「シャットダウンメニュー」を実行します。

メモ　詳しくは 25 ページをご覧ください。

❷ MFP の電源スイッチの OFF（○）を押します。

❸ 原稿カバーを開け、原稿台のセンサーロックスイッチをスライドさせ、ロックします。

❹ MFP から電源コード、イーサネットケーブル、電話線、外付け電話、USB ケーブルを外します。

右側から見た図

左側から見た図

❺ 必ず２人で、図の位置を持ち、移動します。

注 1人では移動しないでください。けがの恐れがあります。

6 ユーザーサポートサービスについて

お客様相談センターのご案内

MFP の操作方法がわからない、故障かもしれない、修理をして欲しい、商品について聞きたいなど、MFP に関するお問い合わせをお受けします。
次の「お問い合わせチェックシート」に記入してからお電話ください。

お客様相談センター　0120-654-632
（携帯電話からは 03-5833-5710）

受付時間　9 : 00 ～ 20 : 00 月曜日～金曜日
9 : 00 ～ 17 : 00 土曜日
(但し　祝日を除く)

※ 月曜日～金曜日の 17:30 ～ 20:00 及び土曜日のお問い合わせで、訪問修理が必要な場合は、翌営業日に改めてご連絡をさしあげます。
※ 上記以外にも弊社都合によりお休みをいただくことがあります。

◆ MFP のサポートサービスは（株）沖電気カスタマアドテック（OCA）とそのグループ会社が担当しております。

（個人情報の取り扱いについて）

当社はお客様の個人情報を厳正に管理し、以下の場合を除き、第三者への開示や、提供はしないものとします。

a) 当社が指定する業務提携会社に対して、お客様の氏名・住所・電話番号など保守サービス等の業務を委託するために必要な限度でお客様情報を提供すること。
b) お客様情報を統計的に集計・分析し、個人を識別、特定できない形態に加工した統計データを作成させていただき、製品開発、サービス向上の判断材料として利用すること。
c) 予め登録時に同意頂いたお客様に対して、当社または当社の提携会社より、サービス提供，アンケートその他の告知等のため電子メールや郵便物の郵送、または営業担当者からコンタクトを取らせて頂くこと。
d) 裁判所の発行する令状、捜査事項照会書その他法令に基づいてお客様情報を開示すること。

— お問い合わせに回答できない場合について —

1. UNIX 環境でのお問い合わせ
2. アプリケーションの使い方
3. 問題解決に必要な情報が不足している場合
4. お客様固有のシステム環境のアドバイスやコンサルティング
5 MFP の非公開仕様に関するお問い合わせ

お問い合わせチェックシート

具体的な症状

MFP環境

機種名：＿＿＿＿＿＿　製造番号：＿＿＿＿＿＿　購入月：＿＿年＿＿月

追加オプション：　なし　・　あり（　　　　　　　　）

コンピュータ環境

☐Windows　バージョン：＿＿＿＿＿＿＿＿

☐Mac OS　バージョン：＿＿＿＿＿＿＿＿

接続方法

☐パラレル　☐USB　☐ネットワーク(有線)　☐ネットワーク(無線)　☐TCP/IP

☐IPX/SPX　☐EtherTalk　☐NetBEUI　☐Rendezvous　☐その他(　　　)

プリンタドライバ

プリンタドライバ名：＿＿＿＿＿＿　バージョン：＿＿＿＿＿＿

アプリケーションソフト

アプリケーションソフト名：＿＿＿＿＿＿　バージョン：＿＿＿＿＿＿

使用フォント名：＿＿＿＿＿＿

エラー表示（正確に）

コンピュータの画面に表示される内容　：＿＿＿＿＿＿＿＿

MFPの操作パネルに表示される内容：＿＿＿＿＿＿＿＿

MFPのLEDランプの状態：＿＿＿＿＿＿＿＿

その他

他のアプリケーションからの印刷：☐正常　☐印刷できない

他のコンピュータからの印刷　：☐正常　☐印刷できない

消耗品・オプション・推奨紙一覧

これらの消耗品、オプションは、MFP をお買い求めの販売店よりご購入ください。弊社ホームページに掲載の販売店でもご購入いただけます。

品　名	型　名	内　容
トナーカートリッジ　ブラック	TNR-C4DK1	標準トナーカートリッジ
トナーカートリッジ　イエロー	TNR-C4DY1	
トナーカートリッジ　マゼンタ	TNR-C4DM1	
トナーカートリッジ　シアン	TNR-C4DC1	
トナーカートリッジ　ブラック S	TNR-C4DK3	小容量トナーカートリッジ
トナーカートリッジ　イエロー S	TNR-C4DY3	
トナーカートリッジ　マゼンタ S	TNR-C4DM3	
トナーカートリッジ　シアン S	TNR-C4DC3	
イメージドラムカートリッジ　ブラック	ID-C4EK	イメージドラムカートリッジ 小容量トナーカートリッジ
イメージドラムカートリッジ　イエロー	ID-C4EY	
イメージドラムカートリッジ　マゼンタ	ID-C4EM	
イメージドラムカートリッジ　シアン	ID-C4EC	
ベルトユニット	BLT-C4E	ベルトユニット
定着器ユニット	FUS-C4F	定着器ユニット
256MB 増設メモリ	MEM-256D	増設メモリ（256MB）
エクセレントホワイト A4	PPR-CA4NA	OKI カラーページプリンタ用紙
エクセレントホワイト A4（厚口）	PPR-CA4DA	
エクセレントホワイト A4 長尺	PPR-CT4DA	
プリントジョブアカウンティング	MLSFT-PJA01	プリントジョブアカウンティングソフトウェア

注

- 消耗品、オプションは、商品本来の性能を発揮させるために、沖データ純正の消耗品をご使用ください。
  純正品以外の消耗品をご使用になると、印刷品質の低下をはじめ本来の性能を発揮できない場合があります。
  純正品以外の消耗品をご使用になって生じた不具合の対応は、無償保障期間中あるいは保守契約期間中であっても有償となります。（純正品以外の消耗品の使用が全て不具合を起こすわけではありませんが、ご使用にあたっては十分にご留意ください。）
- トナーカートリッジ、イメージドラムカートリッジは、開封後 1 年以上経過すると印刷品位が低下しますので、新しい消耗品を準備してください。
- ご使用になるまで、開封しないでください。
- 直射日光をさけ、温度 : 0 ～ 35 ˚ C、湿度 : 20 ～ 85%RH 範囲にある場所で保管してください。
- 周囲の温度や湿度が高すぎたり、急激に変化する場所では保管しないでください。
- 幼児の手が届かない所に保管してください。

使用済み消耗品の回収について

沖データでは環境保全と再資源化を目的として、使用済みの沖データ製 MFP の消耗品とメンテナンスユニットの無料回収を行っています。下の用紙をコピーし、必要事項を記入して FAX、または、弊社のホームページ（http://www.okidata.co.jp）よりご連絡いただければ、お客様のところまで指定の宅配業者が回収におうかがいいたします。

（お願い）

- 包装箱やビニール袋は捨てずに保管し、ご使用済みの消耗品およびメンテナンスユニットの回収時に利用してください。
- カートリッジ 1 本でも回収にうかがいますが、地球環境への負荷をできるだけ低減させるためまとめ回収にご協力ください。
- できましたら、回収品の数が多い場合、不要になったダンボール箱などにまとめて頂くようお願いいたします。

皆様のご協力をお願いします。

FAX 0120-107995

沖データ回収センタ　宛

受付 No.　：

＊ 弊社にて記入いたしますので、お客様の記入は不要です。

西暦　　　年　　月　　日

お客様名（会社名）：__________

ご担当者名　　：__________

ご住所　　：__________

お電話番号　　：__________

回収ご希望日　　：　　年　　月　　日

【お断り：受付時間以降にFAXされた場合、回収日がずれる場合があります。】

回収依頼品

品名		数量
イメージドラムカートリッジ	：	個
トナーカートリッジ	：	個
定着器オイルローラ	：	個
廃棄トナーボックス	：	個
転写ベルトユニット	：	個
定着器ユニット	：	個
インクリボンカートリッジ	：	個
その他沖データ製消耗品	：	個

【*不要となったダンボール箱などにまとめて入れてください。】

まとめた箱の荷姿で合計　：　　個□

ご不明な点は下記へご連絡ください。
沖データ回収センタ
TEL 024-594-2185
フリーダイヤル 0120-640991（携帯電話からもご利用いただけます）
受付時間：月～金曜日（祝日、弊社休日を除く）
9：00～12：00、13：00～17：00

付　　録

仕様

基本仕様

型式	N34114C
CPU	PowerPC405PSプロセッサ(266MHz)
RAM容量	標準 128MB(64MB内蔵、オプションスロットに64MB装着済) オプション 256MB(64MBと交換)
フラッシュROM容量	4MB
装置重量	約29kg(消耗品含む)
電源	AC100V±10%, 50/60Hz±2%
消費電力	動作時: 最大980W,平均400W
	待機時: 110W以下
	節電モード時: 30W以下
使用環境条件	動作時: 10℃～32℃ / 20%～80%RH(最高湿球温度25℃、最高乾球湿球温度差2℃)
	停止時: 0℃～43℃ / 10%～90%RH(最高湿球温度26.8℃、最高乾球湿球温度差2℃)
外部インタフェース	ローカルエリアネットワーク(LAN)インタフェース: RJ45,
	ホストコンピュータインタフェース: USB 2.0 (Type B), Hi-Speed
	公衆交換電話回線インタフェース: RJ11,外部電話機インタフェース: RJ11
	USBメモリインタフェース： USB 2.0 相当 (Type A, 装置前面に配置)
操作パネル	グラフィックLCDパネル(128x64dot,白色バックライト)、テンキー、方向キー、スタート・ストップキー
対応OS	WindowsVista/Server2003/XP/2000 日本語版 MacOS 10.1 ～ 10.4.9 日本語版 MacOS 9.0、9.0.4、9.1、9.2、9.2.1、9.2.2、Mac OS X Classic 環境 日本語版 詳しくは「ユーザーズマニュアルCD-ROM」内のユーザーズマニュアル応用編の動作環境をご覧ください。

印刷部仕様

印刷方式	LED(発光ダイオード) を露光光源とする乾式電子写真記録方式
解像度	600 ドット/ インチ(LED ヘッド)、600 × 600dpi/600 × 1200dpi(印刷解像度)
印刷色	イエロー、マゼンタ、シアン、黒の 4 色
印刷言語	HIPER-C(High Performance Color)
印刷速度*1	カラー: 16 ページ/ 分(普通紙, A4 コピーモード時) 12 ページ/ 分(90 ～103Kg(105 ～120g/m2) の厚紙) モノクロ: 19ページ/ 分(普通紙, A4 コピーモード時)
用紙サイズ*2	A4、A5、A6、B5、レター、リーガル(13 インチ、13.5 インチ、14 インチ)、エグゼクティブ、カスタム、はがき、往復はがき、封筒(9 種)
用紙種類*2	普通紙(連量55 ～172kg)、郵政公社製はがき、封筒、ラベル紙
給紙方法*2	用紙カセットによる自動給紙、手差しによる1 枚給紙
給紙容量*3	用紙カセット : 普通紙250 枚／連量70kg　総厚25mm 以下
排出方法*2	フェイスアップ(表排出)／フェイスダウン(裏排出)
排出容量*4	フェイスアップ:1 枚　　フェイスダウン:約150 枚／連量70kg
印刷保証範囲	用紙の端から6.35mm 以上(封筒などの特殊な用紙は除く)
印刷精度	書き出し位置精度 ±2mm　用紙の斜行 ±1mm/100mm　画像伸縮 ±1mm/100mm(連量70kgの場合)
ウォームアップ時間	電源投入後60 秒以内(25℃)
平均印刷枚数	5,000 枚/月
印刷品質保証条件	湿度10℃時　湿度30 ～73%RH、温度32℃時　湿度30 ～54%RH、 湿度30%RH 時　温度10 ～32℃、湿度80%RH 時　温度10 ～27℃、 カラー印刷時　温度17 ～27℃、湿度50 ～70%RH
消耗品･メンテナンスユニット	トナーカートリッジ、イメージドラムカートリッジ、ベルトユニット、定着器ユニット
ユニット寿命	5 年または30 万枚

*1　用紙のサイズ、種類、厚さ、給紙方法により、印刷速度は変わります。
*2　用紙のサイズ、種類、厚さにより、給紙方法、排出方法に制限があります。
*3　はがきの用紙カセットからの最大給紙容量は 50 枚です。
*4　はがき、往復はがきのフェイスアップの最大排出容量は 10 枚です。

スキャナ部仕様

スキャナタイプ	自動原稿送り装置(ADF)付きフラットベッドスキャナ
イメージセンサ	カラーCCD(R,G,B 3Line)
ADF原稿用紙厚さ	60～105g/m2
ADF原稿トレイ容量	50枚(80g/m2)
可能読取範囲	原稿台: 最大215.9x296.9mm ADF: 105x148 ～216x355.6mm
読取速度	20 ページ/分 (300x300dpi,モノクロモード,A4読取時、紙間含まず)
ウォームアップ時間	15秒以下
ユニット寿命	原稿台:5年または50,000回スキャン ADF: 5 年または240,000ページスキャン
蛍光灯寿命	10,000時間以上

ファクス部仕様

互換性	ITU-T　スーパーG3
圧縮方式	MH/MR/MMR
通信速度	33600ｂｐｓ(自動フォールバック)
原稿サイズ	Ａ４､レター､リーガル
電送時間	約3秒　＊5
代行受信枚数	送信　：　約95枚　＊6
	受信　：　約100枚　＊6
走査線密度	主走査　：　8ドット/mm
	副走査　：　3.85本/mm(標準)
	：　7.7本/mm(高画質)
	：　15.4本/mm(より高画質)
適用回線	電話回線
回線接続方式	通信コネクタ　(RJ-11)
網制御機能	自動及び手動
選択信号方式	PB/DP　(10/20PPS)　ソフトウェア切り替え
直流抵抗	最大約250Ω
最大収容回線数	1

＊5　Ａ４判700字程度の原稿１枚を標準的画質（8ドット×3.85本/mm）で高速モードで送った時の電送時間です（MMR圧縮時)。これは、画像情報のみの電送時間で、通信の制御時間は含みません。　実際は原稿の内容、相手機種、回線状態により異なります。

＊6　Ａ４判700字程度の原稿１枚を標準的画質（8ドット×3.85本/mm）で蓄積した場合です（MMR圧縮時)。

コピー仕様

原稿サイズ	リーガル(ADFのみ)､レター､A4､A5､B5

ユーザーズマニュアル CD-ROM の内容

ユーザーズマニュアル CD-ROM には、C3530MFP　ユーザーズマニュアル セットアップ編（pdf 版）と応用編が格納されています。応用編の内容は以下のとおりです。

1 プリンタとして使う

色々な用紙に印刷する

はがき、往復はがき、封筒に印刷したい
ラベル紙に印刷したい
任意の用紙サイズに印刷したい（カスタムページ･長尺印刷）

色々な機能を使って印刷する

複数ページを 1 枚に印刷したい
両面印刷したい
複数枚に拡大して印刷したい（ポスター印刷）
用紙サイズを変更したい
印刷品位を変更したい
写真画像を鮮明に印刷したい（フォトモード）
トナーをセーブして試し印刷したい
写真やイラストをきれいに印刷したい
ウォーターマークを印刷したい（スタンプ印刷）
文書を部単位で印刷したい（丁合印刷）
表紙のみ別のトレイから給紙したい（表紙印刷）
細線がかすれるのを防ぎたい
プリンタドライバの設定を保存して、繰り返し使用したい
プリンタドライバの初期値を変更したい

カラーについて

カラーマッチングについて
簡単にカラーマッチングしたい
カラー調整ユーティリティを使う（Windows をお使いの方）
カラー調整ユーティリティを使う（Macintosh をお使いの方）
色見本印刷ユーティリティを使う（Windows をお使いの方）
モノクロ（白黒）で印刷したい
モノクロ（白黒）の印刷速度を切り替えたい
黒の部分の仕上りを変更したい
文字と背景の間の白すじをなくしたい（ブラックオーバープリント）
色ずれ補正調整をします
濃度補正調整をします
色ずれ補正を微調整したい

MFP の設定項目について

コンピュータから MFP のユーザメニューを変更したい
ユーザメニュー一覧

2 ファクスとして使う

便利にダイヤルする

同じ相手にもう一度送信する（リダイヤル）
自動的にリダイヤルする
リダイヤルする間隔を変更する

ファクスの便利な送りかた

画質を変更する
濃度を変更する
同じ原稿を数ヶ所に送信する〔同報送信〕
指定時刻に送信する〔タイマー送信〕
送信時間設定をキャンセルする

ファクスを受信する

常に手動でファクスを受信したい

その他の設定

送信者名を変更したい
呼び出し時間を変更したい
結果レポートを印刷したい
スピーカー音量を変更する

3 スキャナとして使う

スキャナドライバをインストールします
Hotkey アプリケーションを使ってスキャンする
コンピュータから E メールアドレス帳を編集したい
メールアドレス帳から検索して宛先を設定したい
LDAP から検索して宛先を設定したい
スキャンしてサーバに転送したい（スキャン To FTP）
スキャンして Windows の共有フォルダに転送したい（スキャン To CIFS）
スキャン To E メールの解像度を変更したい
スキャン To ネットワーク PC の解像度を変更したい
添付ファイル名を変えて E メールで送信したい
メール送信時にファイル名を指定しなかった場合に使用されるファイル名を、変更する
発信者名を設定して E メールを送信したい
返信先アドレスを設定して E メールを送信したい
ADF を使わずに、複数枚の原稿をまとめてスキャンしたい
スキャンする原稿のサイズを変更したい
メール送信時に指定しない場合に、初期値として使用される原稿サイズを変更する
保存形式を変更してスキャンしたい
TWAIN ドライバを使ってスキャンする
WIA ドライバを使ってスキャンする
スキャナとカメラウィザードからスキャンする（WindowsXP）
PC スキャンの画像を読込み時に調整したい
スキャン画像を E メールで直接送る
スキャン画像をコンピュータに直接送る（Push スキャン）
アドレス帳について（E メールアドレス帳）

索　引

[ひ]

[ふ]

[へ]

[ほ]

[ま]

[め]

[も]

[ゆ]

[よ]

[ら]

[り]

オキカラーマルチファンクションプリンタ
C3530MFP

ユーザーズマニュアル（セットアップ編）

発行日　2007 年 6 月　第 1 版
発行者　株式会社 沖データ

43834301EE

このマニュアルは再生紙を使用しています。

株式会社 沖データ

お客様相談センター
0120-654-632
（携帯電話からは03-5833-5710）

受付時間　9:00～20:00 月曜日～金曜日
9:00～17:00 土曜日
（但し 祝日を除く）